横浜市立大学附属病院重症系病床改修工事
（建築工事）

伊藤喜三郎建築研究所
KITO Architects & Engineers Inc.

代表取締役社長　森　嶋　　浩

設 計 本 部 長

品 質 管 理 部 長

日　付

意　匠			構　造								
番号	図 面 名	縮尺	番号	図 面 名	縮尺	番号	図 面 名	縮尺	番号	図 面 名	縮尺
1	改修特記仕様書-1	-	1	改修補強鉄骨図	図示						
2	改修特記仕様書-2	-									
3	改修特記仕様書-3	-									
4	改修特記仕様書-4	-									
5	改修特記仕様書-5	-									
6	工事区分表	-									
7	配置図	1/1000（A3）									
8	表示略号・記号、仕上共通事項	-									
9	仕上表-1【撤去・新設】	-									
10	仕上表-2【撤去・新設】	-									
11	3階全体平面図（改修後）	1/400（A3）									
12	4階全体平面図（改修前）	1/400（A3）									
13	4階全体平面図（改修後）	1/400（A3）									
14	5階全体平面図（改修前）	1/400（A3）									
15	4階平面図【撤去】	1/200（A3）									
16	4階平面図【新設】	1/200（A3）									
17	4階天井伏図【撤去】	1/200（A3）									
18	4階天井伏図【新設】	1/200（A3）									
19	HCU展開図【新設】	1/100（A3）									
20	建具表（共通事項編）	-									
21	建具表【撤去】	1/200（A3）									
22	建具表【新設】	1/200（A3）									
23	サインキープラン【新設】	1/200（A3）									
24	部分詳細図1【撤去・新設】	図示									
25	部分詳細図2【新設】	図示									
26	部分詳細図3【新設】	図示									
27	部分詳細図4【撤去】	図示									
28	部分詳細図5【新設】	図示									
29	部分詳細図6【新設】	図示									
30	部分詳細図7【新設】	図示									
31	工事手順図	1/400（A3）									

株式会社 伊藤喜三郎建築研究所
一級建築士事務所
東京都知事登録番号　第2215号
設 計 者　赤 岩 重 信
一級建築士登録番号　第281032号

設　計　者				
総括責任者 赤岩重信 一級建築士 第281032号	担当者 山寺美知子 一級建築士 第309931号	担当者 山奇興 一級建築士 第364029号	担当者 山本岩也 一級建築士 第333045号	担当者 大室真悟 一級建築士 第380799号
担当者 岡澤加代子 一級建築士 第348007号				

件　名　横浜市立大学附属病院重症系病床改修工事（建築工事）　Job-No. 22060

図　名　図面リスト

日　付　2023/06/30（令和5年）

伊 藤 喜 三 郎 建 築 研 究 所

Ⅰ 設計概要

1.建物概要

1. 工事件名　横浜市立大学附属病院重症系病床改修工事

2. 建築主
- 氏　名　公立大学法人　横浜市立大学　理事長　小山内　いづ美
- 郵便番号　236-0004
- 住　所　神奈川県横浜市金沢区瀬戸22-2
- 電話番号　045-787-2800

3. 工事場所及び敷地条件
- 地名地番
- 住居表示　神奈川県横浜市金沢区福浦3-9
- 都市計画区域　●　都市計画区域内　（　●　市街化区域　・　市街化調整区域　・　区域区分非設定　）
- 区域の区分の別等　・　準都市計画区域内　・　都市計画区域及び準都市計画区域外
- 防火地域　・　防火地域　●　準防火地域　・　指定なし
- その他の区域　・　法第22条区域　・　法第52条第7項適用区域
- 地域、地区、街区　●　第五種高度地区、駐車場整備地区、自動車ふくそう地区
- 道　路　幅　員　西側道路22.0 m　敷地と接している部分の長さ　680.00 m
- 敷地面積　94,469.80 ㎡
- 用途地域等　準工業
- 許容容積率　200 %
- 許容建ぺい率　60 %
- 敷地面積合計　94,469.80 ㎡
- 建築可能な容積率　　%
- 建築可能な建ぺい率　　%
- 備考

4. 建築物
- 主要用途　病　院　（区分　08260　）
- 工事種別　改　築

建築面積

	計画部分	計画以外の部分	合計
【建築面積】	8,915.99 ㎡	㎡	㎡
【ネ゛ベい率】			%

延べ面積

	計画部分	計画以外の部分	合計
【建築物全体】	㎡	㎡	57,007.91 ㎡
【　　】	㎡	㎡	㎡
【　　】	㎡	㎡	㎡
【容積率対象延べ面積】			㎡
【容積率】			%

- 高　さ　最高の高さ　49.95 m　最高の軒の高さ　49.35 m
- 階　数　地　上　10 階　地　下　1 階　塔　屋　1 階
- 構　造　鉄　骨　造　一部　鉄骨鉄筋コンクリート　造

建物別概要　　耐震安全性の分類：「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説平成25年版」

建物名称	構造	階数	延べ面積(㎡)	消防法施行令別表第一	耐震安全性の分類	
					構造体	建築非構造部材

2.工事概要

1. 工事種目
- 1.既存改修工事　1）解体工事
- 　　2）改修工事
- 2.設備　1）電気設備
- 　　2）機械設備

2.工事範囲
- ※「1.工事種目」全てを工事範囲とする
- ・「1.工事種目」のうち下記の工事を除いたすべてを工事範囲とする
- 病院　4階重症系病床（対象改修面積：925㎡）
- 工事範囲外にナースコール更新有

3.案内図

Ⅱ 建 築 改 修 工 事 仕 様

1.共通仕様

(1) 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版」による。ただし、建築改修工事標準仕様書に規定されている項目以外は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版」による以下、それぞれを「改修標準仕様書」「標準仕様書」という

(2) 図中の【0-00-0】内の数字は建築工事標準詳細図の詳細番号を示す

(3) 図中の【△○○】内の数字は部分詳細図の詳細図番号を示す（△はアルファベットとする）。

(4) 「標準仕様書」及び「改修標準仕様書」で規定している「監督職員」は「監理者」と読み替える

2.特記仕様

(1) 項目は、番号の前に●印の付いたものを適用する

(2) 特記事項は、●印の付いたものを適用する
●印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する
●印と※印の付いた場合は、共に適用する

(3) 特記事項に記載の[　.　.　]内表示番号は、「改修標準仕様書」の当該項目、当該表及び当該図を示す

(4) 特記事項に記載の(　.　.　)内表示番号は、「標準仕様書」の当該項目、当該表又は当該図を示す

(5) 製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また、（　）内は製品名を示す

3.工事についての注意事項

(1) 工事期間中における本病院の診療業務は平常通り行われている為、工事エリア以外には患者が在院しているので、施工計画の検討作成に当たっては、他のエリアの診療業務に支障がないよう、充分注意をして計画する。

(2) 工事に先立ち、安全・衛生・騒音・振動・資材搬入等に対し充分な対策を講じた施工計画書を作成し、病院担当者及び監理者と協議をして承諾を得る。

(3) 解体・切り図し改修工事に際しては、事前に充分現場調査をし、病院業務に支障のないよう施工する。

(4) 床スラブにアンカー打ち、解体工事等のある場合、事前に非破壊検査を実施する。
図面及び調査でも確認できない活線等が発見された場合は必要に応じて盛り替える。
電気・医療ガ ス・給排水等活線の切断が発生しないよう施工する。万が一発生した場合は受注者の責で速やかに修復する。
なお、すべて受注者の費用負担とする。

(5) 工事に当たっては、騒音・振動・塵埃を抑制する工法を採用する。内容によっては手作業にて行う。

(6) 病院内周知期間を必要とするため、工事着手前に工事内容、工程、施工方法等を病院担当者及び監理者に報告する。
着手前期間についても病院担当者及び監理者との協議による。

(7) 工事範囲と使用部分は原則として仮設間仕切りを設置し、人の不用意な出入や埃、塵等の飛散の無いように明確に区画する。
仮設間仕切は遮所により密閉性、遮音性のあるものとする。

(8) 工事工程の検討に当たっては、検査及び引越期間の調整を図ったものとする。

(9) 予期し難い事項が発生した場合は、病院担当者及び監理者と協議する。

(10) 工事に当たっては「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」「再生資源の利用の促進に関する法律」「建設副産物適正処理実施要領」に留意する。

(11) 建築請負業者が電気設備及び機械設備の調整を行い、工程等充分に調整を行う。

(12) 分離発注の場合においては、建築施工者が設備との調整を行うこと。

(13) 改修部分と改修対象外との取り合い部分で、必要と思われる部分については適宜補修を行う。

(14) 建築非構造部材についても、耐震安全性に配慮し施工する。

(15) 工事期間中の防災対策は、病院側の消防計画書に準拠するとともに、防災管理組織を編成、責任者を定め、病院防火関係者との連携を保つ。

(16) 緊急時の対応策、連絡体制が、現場のみならず当該工事請負会社内にも周知徹底する。

(17) 工事関係者は工事従事者であることを証明する名札等を着用する。

(18) 現地と図面において、既存状況が異なる場合は現地を優先する。

(19) 搬入・搬出は、病院ルートを使用して平日の早朝に行うこと。

(20) 騒音・振動工事は、必ず事前に施主へ工事時間帯を報告調整の上実施のこと。

(21) 施主と協議の上、現場の状況を判断し、養生を行うこと。また、終了後は清掃を行うこと。

(22) 3階：平日日中工事、4階：夜間工事又は土日工事とする。

(23) 工事期間は、令和5年度中から開始し、13ヶ月とする。

(24) 柱部分のボード下地は、既存の状態を確認して、適宜新設すること。

(25) ビニル床シートは、工事完了後にワックスがけを行うこと。

項　目	特　記　事　項
● 1.一般共通事項	
● 1. 適用基準等	● 建築工事標準詳細図（令和4年版）　国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修 ● 工事写真撮影ガイドブック　建築工事編及び解体工事編（平成30年版）　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 ・
● 2. 工事実績情報の登録	※ 適用する　[1.1.4]
● 3. 風圧力等算定基準	・ 建築基準法に基づく風圧力区分等を必要とする場合は次による ・ 3章　・ 5章　・ 9章 ● 風速（Vo=　34m/秒　） ・ 地表面粗度区分（　・Ⅰ　●Ⅱ　・Ⅲ　・Ⅳ　） ・ 積雪区分　平成12年　建告示第1455号　別表（　）
4. 電気保安技術者	※ 適用する　[1.3.3]
5. 条件明示項目	※［1.3.5(1)］による　[1.3.5] ・［1.3.5(1)］による、但し、12/29～1/3および国民の祝日を除く土曜日は施工を行うことができる
● 6. 発生材の処理等	・ 現場説明書による　● 構外搬出適切処理　[1.3.12] ・ 引渡しを要するもの（　　） ・ 特別管理産業廃棄物（　　） 処理方法（　　） ・ 現場において再利用を図るもの（　　） ・ 再資源化を図るもの ・ アスファルトコンクリート塊　・ セメントコンクリート塊　・ 建設発生木材 受入れ施設名（　　） 受入れ場所（　　） 仮置場所（　　） ・ その他再資源化を図るもの ・ 受入れ施設名（　　） 受入れ場所（　　） 仮置場所（　　） ● ひ素、カドミウム含有せっこうボードの処理 ※ 適用する ● 石綿含有せっこうボードとひ素・カドミウム含有せっこうボード以外のせっこうボードの処理 ※ 適用する ・ PCB含有シーリング材 ・ 分析調査 ・ 撤去
● 7. 石綿含有建材の有無調査等	● 行う（下表による）　・ 行わない　[1.5.1]

材料名	調査方法	1材料あたりの試料数
床：長尺シート	※ X線回析分析	※ 3
壁：壁紙、石膏ボード	・ 定性分析方法	・
天井：岩綿吸音板		

石綿含有建材の有無の調査　※ 行う　[1.5.1]

● 8. 環境への配慮
(1) 環境負荷の低減
国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成12 年法律第100 号。以下「グリーン購入法」という。）に基づき、環境負荷を低減できる材料の選定に努める。
(2) 化学物質を放散させる建築材料等
使用する材料は、揮発性有機化合物の放散による健康への影響に配慮し、かつ、石綿を含有しないものとする。
次の1)～5)を満たすものとする。
1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単層積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする
2) 保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする
3) 接着剤はフタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする
4) 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする
5) 1)、3)及び4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする
また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」は次のとおりとする。
規制対象外　① JIS及びJASのF☆☆☆☆品
② 建築基準法施工令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品
③ 下記表示のあるJAS適合品
a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用
b. 接着剤等不使用
c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用
d. ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用
e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用
f. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用
第三種　① JIS及びJASのF☆☆☆品
② 建築基準法施工令第20条の7第3項による国土交通大臣認定品
③ IBJASのEo品
④ IBJASのFco品

● 9. 材料の品質等
本工事に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質計画及び性能を有するものとし、JIS及びJASマークの表示のない材料及びその製造者等は、次の(1)～(6)の事項を満たすものとする
(1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること
(2) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること
(3) 安定的な供給が可能であること
(4) 法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること
(5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること
(6) 販売、保守等の営業体制が整えられていること
なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関（(社)公共建築協会　他）が発行する資料等の写しを監理者に提出して承諾を受けるものとする
また、商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監理者の承諾を受ける

● 10. 特別な材料の工法　改修標準仕様書及び標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、当該製造所の指定工法による

● 11. 技能士　[1.7.2][1.7.3]

適用工事種類	技能検定職種（選択作業）
防水改修工事	防水施工 ・ アスファルト防水工事作業　・ 合成ゴム系シート防水工事作業 ● 塗膜防水工事作業　● シーリング防水工事作業 ・ 左官　・ 建築板金
石工事	・ 石材施工（石張り施工）
外壁改修工事	・ 左官　・ タイル張り　● 塗装（建築塗装作業）　・ 樹脂接着剤注入施工
建具改修工事	● サッシ施工　● ガラス施工　● 自動ドア施工
塗装改修工事	● 塗装（建築塗装作業）
内装改修工事	内装仕上げ施工 ● プラスチック系床仕上げ工事作業　・ カーペット系床仕上げ工事作業 ● ボード仕上げ工事作業　● 鋼製下地工事作業 ● 建築大工（大工工事作業）　・ タイル張り　・ 左官 ● 表装（壁装作業）
耐震改修工事	・ 鉄筋施工（鉄筋組立て作業）　・ 型枠施工　・ とび ・ コンクリート圧送施工　・ 鉄工（構造物鉄工作業）
コンクリートブロック、ALCパネル及び押出成形セメント板工事	・ ブロック建築（コンクリートブロック工事作業） ・ エーエルシーパネル施工 ● 押出成形セメント板施工
植栽工事	・ 造園

● 12. 化学物質の濃度測定　施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの濃度を測定し、報告すること　[1.7.9]
測定はパッシブ型採取機器により行う
測定対象室　・ 図示　● 4階看護師休憩室、4階SS 測定箇所数　・ 図示　● 2ヶ所
濃度測定の具体的方法
官庁営繕部におけるホルムアルデヒド等の室内空気中の化学物質の抑制に関する措置について（平成24年4月5日　国営整第4号）に準する

● 13. 製本製図の提出　受注者の負担で、下記設計図を製本（表紙及び背表紙には、年度、工事名などを明朝体文字明記）し、指定部数を監理者に提出する
・ 設計図A1版陽画複写図製本　（　・ 1部　・　部　）
● 設計図A3版陽画複写図製本　（　・ 1部　● 6　部　）

● 14. 提出書類　● 監理者の指示するもの
・

● 15. 立会検査、試験等　● 監理者の指示するもの
・
なお、場外立会検査に要する諸費用は、全て受注者の負担とする

16. 試験機関　コンクリート及び鋼材の試験
※ 公的機関　・ 監理者の承諾する機関
なお、試験に要する諸費用は、全て受注者の負担とする

● 17. 施工図等の取扱い　当該建築物に限る施工図等の著作権に係わる使用権は、発注者に移譲するものとする

● 18. 設備工事との取合い　施工図（製作図を含む）
各設備機器の位置、各設備工事との取合いなどの検討ができる資料及び図面を提出して、監理者の承諾を受けること
総合図［複合図］　※ 作成する　・ 作成しない
監理者の指示により、備品、機器等の配置と必要な設備記号（電気・空調・衛生設備等）をプロットした施工図（平面詳細図、天井伏図、展開図等）（縮尺1/50）
（総合図作成に必要な資料収集、製造者等との打合せ含む）

● 19. 技術検査
・ 中間検査
（　・ 1回　・ 2回　・　　）
※ 完成検査

● 20. 完成図（竣工図）等
※ 完成図を受注者の責任において作成する　(1.9.1～1.9.3)(表1.9.1)
※（表1.9.1)による
・（表1.9.1)による他（　・ 特定天井図　・ 昇降機設備　・ 機械式駐車場　・　　）を作成する
完成図全員（完成図に含まれる施工図、施工計画書は除く）に以下の注意書きを記載する
「本完成図は、完成建物の基本情報を記載したものです。工事に際して作成された施工図等の詳細情報と合わせてご利用ください」
※ 完成図の製本提出

・ 完成図（原図）	A-1サイズ3ツ折図面ケース入	部数	※ 1部
※ 完成図（製本）	A-1サイズ2ツ折白焼黒文字	部数	※ 2部　・
・ 完成図（縮小版第2原図）	A-3サイズ2ツ折図面ケース入	部数	※ 1部
※ 完成図（縮小版製本）	A-3サイズ2ツ折白焼黒文字	部数	※ 2部　・
※ 完成図（データ）	※ DWG　※ PDF　・ DXF	部数	※ 3部　・

※ 施工図、総合図［複合図］の製本提出（内容については監理者の指示による）

※ 施工図（製本）	A-1サイズ2ツ折白焼黒文字	部数	※ 1部　・
・ 施工図（縮小版製本）	A-3サイズ2ツ折白焼黒文字	部数	※ 2部　・
・ 施工図（データ）	・ DWG　・ PDF　・ DXF	部数	※ 3部　・
・ 総合図［複合図］（製本）	A-1サイズ2ツ折白焼黒文字	部数	※ 1部　・
・ 総合図［複合図］（縮小版製本）	A-3サイズ2ツ折白焼黒文字	部数	※ 2部　・
・ 総合図［複合図］（データ）	・ DWG　・ PDF　・ DXF	部数	※ 3部　・
・ 施工計画書等	適宜	部数	※ 1部　・

※ 保全に関する資料
※［1.9.3(1)の(ア)～(エ)］　部数　※ 2部　・
・ 上記のものの他に予備品一覧表　部数　※ 2部　・
・ 上記のものの他に工事関係者一覧表　部数　※ 2部　・

● 21. 完成写真
下記の物を監理者に提出する。ただし、原版は撮影業者の保管とする
製本形式　※ 中折れ包み製本（A4版）　・ アルバム金文字製本

分類・規格	撮影箇所数	部数	原板の大きさ(mm)
・ モノクローム	※ キャビネ版 ※ ベた焼	外部（　）　内部（　）	※ 2　・	※ 100×125以上 ・
・ カラー	※ キャビネ版 ※ ベた焼	外部（　）　内部（　）	※ 2　・ 6	※ 100×125以上 ・
・ カラーパネル　・ 全紙　・ 半切 ・ イレパネ　・ 四切　・	外部（　） 外部（　）	※ 1　・	
● 電子データ（デジタルカメラ）	外部（　）　内部（ 30 ）	※ 2　・	※ CD-R保存
・			

・ 他に外観正面1カット（カラーキャビネ版）のみ（　　）枚提出
100×125以上の原板を使う場合は、監理者にあらかじめベた焼を提出し確認を受ける
撮影業者　※ 監理者の承諾する撮影業者（ただし、建築完成写真撮影の実績のある業者とする）
電子データはCD-R保存とし、解像度：300dpi、写真幅（長辺方向）：1,800ピクセル、
データ形式：TIFF又はJPEGとする

22. 設計GL　※ 図示　・ 設計GL＝現状GL

● 23. 調査
● 解体部分については事前に調査を行った上で解体を実施する。
● 各設計寸法については、各部事前調査を行って既存寸法と異なる場合においては、施工図にて調整を行い監理者の承諾を受ける。

● 2.仮 設 工 事

● 1. 騒音・粉塵等の対策　[2.1.3]
※ 防音パネル　・ 防音シート(防炎処理品)
設置範囲及び高さ
※ 図示（　図による）　・

● 2. 足場その他
内部足場　種別　※ 脚立、足場板等　・　[2.2.1]
外部足場　※ 図示（　図）による　・（　[2.2.1]
防護シートによる養生　※ 行わない　・ 行う
材料、撤去材等の運搬　・ A種　※ B種　・ C種　・ D種　・ E種　[2.2.1][表2.2.1]

● 3. 養生
既存部分の養生　※ ビニルシート、合板等の適切な方法　・ 行う（図示）　[2.3.1]
既存家具等の養生　※ ビニルシート等　・　[2.3.1]
既存ブラインド、カーテン等　※ 監理者の指定した保管場所で一時保管する　[2.3.1]
・
固定家具等の移動　※ 行わない　・ 行う（図示）　[2.3.1]

● 4. 仮設間仕切
仮設間仕切り等の種別　[2.3.2(1)][表2.3.1]

種別	下地	仕上材(厚さ㎜)	充てん材	塗装
● A種	※ 軽量鉄骨	・ 合板　（ ※ 9.0　・　）	厚さ　㎜	※ 無し
・ B種	・ 木下地	※ せっこうボード　（ ※ 9.5　・　）		・ 片面
※ C種	単管下地	防炎シート		

仮設扉　[2.3.2(2)]

種別	仕上の程度	塗装	設置個所
※ 木製扉	※ 合板張り程度　・	※ 無し	
● 鋼製扉	※ 片面フラッシュ程度　● アルミ製引違い	・ 有り	

● 5. 監理者事務所
・ 既存建物内の一部を使用する　[2.4.1]
・ 構内に新設する
監理者事務所の規模
・ 10㎡程度　・ 20㎡程度　・ 35㎡程度　・ 65㎡程度　・ 100㎡程度　・　㎡程度
監理者事務所の仕上げ
・ 受注者事務所同程度　・
● 設けない
監理者事務所の備品　[2.4.1]
● 監理者事務所備品（ 5 人分）
備品は[2.4.1(2)]によるほか、下記の物を備える
・ 外線電話機　・ ファクシミリ　・ コピー機（　・ A3カラー　・ A1モノクロ　）
・ パーソナルコンピューター　）
（ モニター　・
（ アプリケーション　・ Office　・ AutoCAD　・　）
（ ネットワーク接続　・　）
・ プリンター（　）
・ デジタルカメラ　（ ※ 300万画素以上　・　）
● 安全靴　● 上ばき　・ 防毒服　● 帽子　● ヘルメット

株式会社 伊藤喜三郎建築研究所
一級建築士事務所
東京都知事登録番号　第2215号
設 計 者　赤岩重信
一級建築士登録番号　第281032号

設　計　者				
総括責任者 赤岩重信 一級建築士 第281032号	担当者 山寺美和子 一級建築士 第309931号	担当者 山蓜舞 一級建築士 第364029号	担当者 山本哲也 一級建築士 第333045号	担当者 大室真悟 一級建築士 第380799号
担当者 岡澤加代子 一級建築士 第348007号				

件名　横浜市立大学附属病院重症系病床改修工事（建築工事）		Job-No. 22060
図名　改修特記仕様書ー1　（令和４年版）		意匠
縮尺　—	日付　2023/06/30（令和5年）	1
伊 藤 喜 三 郎 建 築 研 究 所		

・長靴　・安全帯
・その他（　　）
・常備図書
・公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）
・建築工事標準詳細図
・建築改修工事監理指針（上下巻）
・工事写真撮影ガイドブック　建築工事編及び解体工事編
・

連絡員
※ おかない　・おく

連絡用機材等
・WEB会議用機材
※ 機器・設置場所・運用方法等は監理者と協議による
・（　　）

・クラウドサーバー等による情報共有
※ 機器・運用方法等は監理者と協議による
・（　　）

● 6. 工事用水　構内既存の施設　※ 利用できない　● 利用できる　（ ※ 有償　・無償 ）

● 7. 工事用電力　構内既存の施設　※ 利用できない　● 利用できる　（ ※ 有償　・無償 ）

● 3.防水改修工事

1. アスファルト防水　[3.1.4][3.3.3][表3.1.1][表3.3.3～表3.3.10]

改修工法の分類	新規防水層の種別	施工個所
屋根保護防水絶縁工法 ・P1B	・B-1　・B-2　・B-3	
屋根保護防水絶縁断熱工法 ・P1BI	・BI-1　・BI-2　※ BI-3	
屋根保護防水密着断熱工法 ・P2AI	・AI-1　・AI-2　※ AI-3	
屋根保護防水密着工法 ・P2A	・A-1　・A-2　※ A-3	
屋根露出防水密着工法 ・M4C	・C-1　・C-2 ・C-3　・C-4	
屋根露出防水絶縁工法 ・M3D　・POD	・D-1　・D-2 ・D-3　・D-4	
屋根露出防水絶縁断熱工法 ・POD I ・M3D I　・M4D I	・DI-1　※ DI-2	
屋内防水 ・P1E　・P2E	・E-1　※ E-2	

アスファルトの種類　※ 3種(防水工事用アスファルト)　[3.2.2][3.3.2]
保護コンクリートのコンクリート種類　※ 無筋コンクリート　[3.3.2]
・改質アスファルトルーフィングシート　[3.3.2]
※（表3.3.3～表3.3.9）による　・（　　）
改修用ドレン（POD、POD I 工法の場合）※ 設けない　・設ける　[3.2.5]
脱気装置（M3D、POD工法の場合）　[3.3.3]
種類　※ アスファルトルーフィング類製造所の指定とする
・（　　）
設置数量　※ アスファルトルーフィング類製造所の指定とする
・（　　）箇 ／（　　）m2
既存露出防水層表面の仕上げ塗装（M4C、M4D I 工法の場合）　・除去する　[3.2.6]
断熱工法　[3.3.2]
※ 屋根保護防水断熱工法の場合　[3.3.2]
断熱材　※ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材３種bA（スキン層付き）
断熱材の厚さ ※ 25　・
※ 屋根露出防水断熱工法の場合
断熱材　・硬質ウレタンフォーム断熱材２種１号
・（　　）
断熱材の厚さ ※ 25　・
※ 屋根保護防水密着工法又は屋根保護防水絶縁工法の場合
絶縁用シート ※ ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm 以上
※ 屋根保護防水密断熱工法又は屋根保護防水絶縁断熱工法の場合
絶縁用シート ※ ポリプロピレン、ポリエチレン等を平織りしたフラットヤーンクロス（70g/㎡程度）
※ 屋内防水工法の場合
保護層　※ 図示による　・なし
※ ただし、断熱材等は特定フロンを含まないもの
絶縁用シート
立上り部の保護
・乾式保護材の材料　※ 押出成形セメント板 厚さ15㎜　[3.3.2]
製造所

2. 改質アスファルトシート防水　[表3.1.1][3.4.3][表3.4.1～表3.4.3]

防水改修工法の種別	新規防水層の種別	厚さ(㎜)	施工箇所
・M4AS工法	・AS-T1　・AS-T2 ・AS-J2		
・M3AS工法 ・P0AS工法	・AS-T3　・AS-T4 ・AS-J1　・AS-J3		
・M3ASI工法 ・M4ASI工法 ・P0ASI工法	・ASI-T1 ・ASI-J1		

改修用ドレン（POAS、POASI工法の場合）※ 設けない　・設ける　[3.2.5]
脱気装置（M3AS、POAS、M3ASI、M4ASI、POASI工法の場合）　種類（　　）　設置数量（　　）箇 ／（　　）m2　[3.3.3]
種類　※ 改質アスファルトシート製造所の指定とする
・（　　）
設置数量　※ 改質アスファルトシート製造所の指定とする
・（　　）箇 ／（　　）m2
既存露出防水層表面の仕上げ塗装（M4AS、M4ASI工法の場合）　・除去する　[3.2.6]

3. 合成高分子系ルーフィングシート防水　[表3.1.1][3.5.3][表3.5.1～表3.5.3]

防水改修工法の種別	新規防水層の種別	仕上塗料等	使用分類	施工箇所
・P0S工法 ・S4S工法	・S-F1　・S-M1	・カラー ・シルバー	※ 非歩行 ・軽歩行	
	・S-F2　・S-M2 ・S-M3			
・S3S工法	・S-F1	・カラー ・シルバー		
	・S-F2			
・P0SI工法 ・S4SI工法	・SI-F1　・SI-M1	・カラー ・シルバー		
	・SI-F2　・SI-M2			
・S3SI工法	・SI-F1	・カラー ・シルバー		
	・SI-F2			
・M4SI工法	・S-M1　・S-M3 ・S-M2			
・M4SI工法	・SI-M1 ・SI-M2			
・P1S工法	・S-C1			(屋内のみ)

改修用ドレン（POS、POSI工法の場合）　※ 設けない　・設ける　[3.2.5]
脱気装置（S3S、S3SI工法の場合、及び、接着工法によるPOS、POSI、S4S、S4SI工法の場合）　※ ルーフィングシートの製造所の仕様による　・設けない　・設ける　[3.5.3]
プレキャストコンクリート下地の入隅部の増張り　※ 増張りする　・増張りしない　[3.5.4]
（種別S-F1、SI-F1の場合）
目地処理（プレキャストコンクリートの場合）・　[3.5.4]

● 4. 塗膜防水　[表3.1.1][3.6.3][表3.6.1][表3.6.2]

防水改修工法の種別	新規防水層の種別	仕上げ塗料塗り	施工箇所
● P0X工法	・X-1	・シルバー	
・L4X工法	● X-2	● カラー	
・P1Y工法	・Y-2		
・P2Y工法	・Y-2		

二重ドレン（POX工法の場合）　※ 設けない　・設ける　[3.2.5]
既存塗膜防水層表面の仕上げ塗装（L4X工法の場合）　・除去する　[3.2.6]
脱気装置（種別X-1の場合）　※ ルーフィングシートの製造所の仕様による　・設けない　・設ける　[3.5.3]
保護層（P1Y、P2Y工法の場合）　※ 設けない　・設ける　[3.6.3]

5. 脱気装置　[3.3.3][3.4.3][3.5.3][3.6.3]

種類	材質		設置数量
・平面部脱気型	・ポリエチレン樹脂 ・ステンレス	・ABS樹脂 ・鋳鉄	（　　） ㎡当たり１箇所
・立上がり部脱気型	・合成ゴム ・ステンレス	・塩化ビニル樹脂 ・銅	（　　） ㎡当たり１箇所

6. セメント系防水　・モルタル防水　・水和凝固型塗膜防水　・けい酸質系塗布防水材
施工箇所：　製造所（製品名）

7. ステンレス防水

種別	厚さ(㎜)	表面処理	備考	施工箇所
・SUS304	・	・		
・SUS316	・	・		

シーム溶接後の仕上部の処理
・ジョイントキャップ　・両はぜ折り　・片はぜ折り
下地シートの種別　・合成ゴム系シート（接着工法）　・アスファルトルーフィング

8. 複合防水　組成　＋
施工箇所：　製造所（製品名）

9. 各種槽内の防水　内装仕様（床、壁、天井とも）

工法	ライニング工法						コーティング工法							断熱防水工法
下図仕様による種別	D種			C種			一般防食仕様							
材料名 厚さ(㎜)	ビニルエステル樹脂系ガラスマット2プライライニング t>2.0	エポキシ樹脂系ガラスクロス2プライライニング t>1.3		ビニルエステル樹脂系ガラスマット1プライライニング t>1.0	エポキシ樹脂系ガラスクロス1プライライニング t>0.7		無溶剤型エポキシ樹脂系コーティング	無溶剤型ターエポキシ樹脂系コーティング	水性エポキシ樹脂モルタル t>2.4	ポリマーセメント系塗膜防水	天井・壁 床・モルタル防水金コテ	コンクリート打ち放し コンクリート打放し		専門業者による蓄熱断熱仕様（　）
・検査排水槽	・	※												
・透析排水槽	・	※												
・厨房排水槽	※	・												
・排水処理放流槽				・	・		※	・	・					
・汚水槽	・	・		・	※									
・雑排水槽	・	・		・	・		※	・	・					
・雑用水槽				・	・		・	・	・	※	・	・		
・工業用排水槽							・	・	・	※	・	・		
・消火水槽										※	・	・		
・雨水貯留槽										※	・	・		
・自家発冷却槽										※	・	・		
・補給水槽										※	・	・		
・駐車場排水槽							・	・	・	・	※	・		
・湧水槽													※	
・蓄熱槽														・
・設備排水槽							・	・	・	※	・	・		
・ボイラー排水槽														
・オートクレーブ排水槽														
製造所（製品名）	ABS樹脂系（プロテクリート-D）相当	ABS樹脂系（プロテクリート-E）相当					ABS樹脂系（プロテクリート-E I）相当							

日本下水道事業団の腐食環境条件による分類
1）D種：硫化水素の滞留が多く、腐食が厳しい環境
2）D種：C種の環境条件で構造上の条件により、事実上補修等のメンテナンスが困難と考えられる施設、部位
流入水が55℃を超えることがある場合はビニルエステル樹脂系を使用する

● 10. シーリング　シーリング改修工法の種類　[3.7.4～3.7.7][表3.7.1]
● シーリング充填工法　・シーリング再充填工法
・拡幅シーリング再充填工法　・ブリッジ工法
シーリング材の種類、施工箇所　[3.1.4][3.7.2][4.2.2][表3.7.1]
※ 下表以外は、改修共仕表3.7.1を標準とする

施工箇所	シーリング材の種類（記号）

シーリング材の目地寸法　・（　　）　[3.7.3]

● 11. 防水の保証期間

防水種別	保証期間	備考
・アスファルト防水	※ 10年　・	
・改質アスファルトシート防水	※ 10年　・	
・合成高分子ルーフィングシート防水	※ 10年　・	
● 塗膜防水	※ 10年　・7年	
・ステンレス防水	※ 15年　・	
・セメント系防水	※ 5年　・	
● シーリング材	※ 5年　・7年	
・		

12. とい　といの材種・とい受金物・取付け間隔　[3.8.2][表3.8.1～表3.8.2]

といの種類	とい径(mm)	といの材種[表3.8.1]	とい受金物	取付け間隔
たてどい	※ 図示 ・図示なきものは（　　）mm	※ 配管用鋼管 ・硬質ポリ塩化ビニル管 ・表面処理鋼管 ・硬質塩化ビニル雨どい	※ [表3.8.2] ・（	※ [表3.8.2] ・（　　）
		・ステンレス鋼管 ・（　　）	※（　　）	※（　　）
横走り管	※ 図示 ・図示なきものは（　　）mm	※ 配管用鋼管 ・硬質ポリ塩化ビニル管 ・表面処理鋼管 ・硬質塩化ビニル雨どい	※ [表3.8.2] ・（	※ [表3.8.2] ・（　　）
		・ステンレス鋼管 ・（　　）	※（　　）	※（　　）
軒どい	※ 図示 ・図示なきものは（　　）mm	※ 表面処理鋼管 ・硬質塩化ビニル雨どい	※ [表3.8.2] ・（	※ [表3.8.2] ・0.5m(多雪地域)（　　）
		・ステンレス鋼管 ・（　　）	※（　　）	※（　　）

鋼管・鋼板類の溶融亜鉛めっき　※ 行なったもの
・次の箇所は行わない（　　）
鋼管製といの防露　※ [表3.8.3～3.8.4]　[3.8.3][表3.8.4]
・次の箇所は行わない（　　）
防露材のホルムアルデヒドの放散量
※ F☆☆☆☆　・F☆☆☆
掃除口　※ 有り　・無し
縦どい受け金物の取付け　・図示　※（13.5.3(4)(イ)）による　[3.8.3][13.5.3]
ルーフドレイン　材種は[表3.8.1]による他下記による　[3.8.2][表3.8.1]
個所数　※ 図面表示による　・下表による

種類	材種		径(φ)	個所数	施工箇所
・ろく屋根用（縦型）	※ 鋳鉄製 ・SCS製	・SUS製			
・ろく屋根用（横型）	※ 鋳鉄製 ・SCS製	・SUS製			
・バルコニー用	※ 鋳鉄製 ・SCS製	・SUS製			
・バルコニー中継用	※ 鋳鉄製 ・SCS製	・SUS製			
・	※ 鋳鉄製 ・SCS製	・SUS製			

SCS製: ステンレス鋼鋳鋼品　SUS製: ステンレス鋼
既存ルーフドレイン回りの処理は[3.2.5]等により検討し、監理者と協議を行い、必要に応じて、交換・改修を行う　[3.2.5]

13. オーバーフロー管　材種　※ ステンレス　・
径(φ)　※ 50　・　施工箇所：

14. 防じん網　材種　※ ステンレス　・
種類　・縦型用　・横型用　・バルコニー用　・バルコニー中継用
施工箇所：

15. アルミバンドレスとい　丸形 (呼称)　・60φ　・89φ　・114φ　・140φ　・165φ　・210φ
各形 (呼称)　・75角　・100角　・125角　・150角
支持金物　・高強度支持金物　・簡易支持金物
電解着色　・シルバー　・ステンカラー　・ブラック　・（　　）
管内面塗装　・エポキシ樹脂塗装40μm以上
製造所（製品名）

16. アルミニウム製笠木　[3.9.2][3.9.3][表3.9.1]

種類	呼称肉厚(㎜)	表面処理	固定間隔	下地補修
・250形	1.6以上	※ AB-1種又はBB-1種	固定方法及び間隔は品質計画で定めたもの	※ 行う（図示） ・行わない
・300形	1.8以上	・BB-2種（　　）		
・350形	2.0以上	・C種（ふっ素樹脂焼付）		
・				

板材折曲げ形の取付工法　※ [3.9.3(2)の(ア)～(オ)]による　・図示　[3.9.3]
陽極酸化皮膜　※ 二次電解着色
の着色方法　（陽極酸化皮膜厚　※ 9μm以上+合成樹脂塗料皮膜厚　※ 7μm以上　・12μm以上）

17. 折板葺き　(13.3.2) (13.3.3) (表13.2.1)

形式	※ 重ね形　・はぜ締め形　・かん合形
形状(㎜)	山高（　）㎜　山ピッチ（　）㎜　板厚　※ 0.6　・
材料（規格等）	※ 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯(CGLCCR-20-AZ150) ・
軒先面戸板	※ 有り　・無し
断熱材	※ 有り（種別 ：　厚さ：　㎜）　・無し
防火性能	※ 屋根30分耐火　・無し

18. 樋受石　製造所（製品名）

● 5.建具改修工事

● 1. 改修工法　[5.1.3][5.2.5][5.3.5][5.4.5][5.5.5][5.6.5]

建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	備考
● アルミニウム製建具	・	●	
・鋼製建具 ・外部	・	・	
・内部	・	・	
・鋼製軽量建具	・	・	
・ステンレス製建具	・	・	

2. 見本の製作等　・見本の製作等　（建具番号：　）　[5.1.5]
・特殊な建具の仮組　（建具番号：　）　[5.1.5]

● 3. 建具の性能及び構造　[5.2.2]
ドアセット　※ JIS A 4702（ドアセット）　・（普及品　）
サッシ　※ JIS A 4706（サッシ）　・（普及品　）

4. 網戸等　防虫網　[5.2.3]
形式　※ 外部可動式　・内部可動式　・固定式
網の種別　※ ガラス繊維入り合成樹脂製　・ステンレス（SUS316）製　・合成樹脂製
網目　※ #16～18　・#20　・
防鳥網　[5.2.3]
網の種類　※ ステンレス（SUS304）線材　・（　　）
線径　※ 1.5mm　・（　）mm
網目寸法　※ 15mm　・（　）mm

● 5. アルミニウム製建具　外部に面する建具の性能等級等（コンクリート系下地及び鉄骨下地）　[表5.2.1]

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(㎜)	施工箇所
● A種	S-4	※ A-3	※ W-4	※ 70	※ 図示
・B種	S-5	・	・	・100	※ 図示
・C種	S-6	・A-4	・W-5	※ 100　・	※ 図示

外部に面する建具
表面処理　無着色　※ BB-1種　・（　　）　[5.2.4][表5.2.2]
着色　● BB-2種　・（　　）
着色色（ ※ ブラウン系　・ブラック　● ステンカラー ）
屋内建具　[5.2.4][表5.2.2]
表面処理　無着色　※ AC-1種又はBC-1種　・AC-1種　・BC-1種　・（　　）
着色　・AC-2種又はBC-2種　・AC-2種　・BC-2種　・（　　）
着色色（ ※ ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー ）

陽極酸化皮膜の着色方法　※ 二次電解着色　・三次電解着色　(14.2.1)

防音ドア、防音サッシとする場合の遮音性　[5.2.2]
※ 該当する建具は等級を図示　・該当する建具なし
断熱ドア、断熱サッシとする場合の断熱性　[5.2.2]
※ 該当する建具は等級を図示　・該当する建具なし
耐震ドアとする場合の面内変形追随性　[5.2.2]
※ 該当する建具は等級を図示　・該当する建具なし
結露水の処理方法　[5.2.4]
※ 製造所の標準仕様で設ける　・図示（　　）による
水切り板、ぜん板等　[5.2.5]
※ 製造所の標準仕様で設ける　・図示（　　）による

6. 樹脂製建具　[5.3.2～5.3.4]
外部に面する建具の性能等級等（コンクリート系下地及び鉄骨下地）　[表5.3.1]

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(㎜)	施工箇所
・A種	S-4	※ A-4	※ W-4	・	※ 図示
・B種	S-5	・	※ W-5	・	※ 図示
・C種	S-6			・	※ 図示

外部に面する樹脂製建具の遮音性能等級　[5.3.2]

遮音性能 性能等級	施工箇所
・T−1	※ 図示
・T−2	※ 図示

外部に面する樹脂製建具の断熱性能等級　[表5.3.2]

断熱性能 性能等級	熱貫流率(W/(㎡·K))	施工箇所
・H−4	2.9 以下	※ 図示
・H−5	2.3 以下	※ 図示
・H−6	1.9 以下	※ 図示
・H−7	1.5 以下	※ 図示
・H−8	1.1 以下	※ 図示

表面色　※ 標準色　・特注色

● 7. 鋼製建具　簡易気密扉の簡易気密型ドアセット性能値　[5.4.2][表5.4.1]
※ 適用する（適用箇所は建具表による）　・適用しない
特定防火設備の戸　● 適用する

外部に面する建具の性能等級等（コンクリート系下地及び鉄骨下地）　[表5.2.1][表5.4.1]

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(㎜)	施工箇所
・A種	S-4	※ A-3	※ W-1	※ 70	※ 図示
・B種	S-5	・	・	・100	※ 図示
・C種	S-6			※ 100　・	※ 図示

● 8. 鋼製軽量建具　品質規格　※ 建築改修工事標準仕様書(5.5節)による
・製造所標準仕様による（製造所：　）
簡易気密扉の簡易気密型ドアセット性能値　[5.5.2]
※ 適用する（適用箇所は建具表による）　・適用しない
召合わせ、縦小口包み板等の材質　[5.5.3]
※ 鋼板　・ステンレス鋼板　・アルミニウム合金の押出形材
鋼製軽量建具に使用する鋼板類の厚さ　[5.5.4][表5.5.1]

区分	使用箇所		厚さ(㎜)
枠類	一般部分		※ 1.6　・
	くつずり		※ 1.5　・
戸	表面板		※ 0.6以上　・
	力骨、中骨		※ 1.6　・
	召合わせ	鋼板	※ 0.6以上　・
	縦小口包み板	ステンレス鋼板	※ 0.6以上　・
	押縁	アルミニウム押出形材	・
その他	額縁、添え枠		※ 1.6　・
補強板の類			※ 2.3以上　・

● 9. ステンレス製建具　材質　※ SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1（屋外はSUS304）　・SUS316L
表面仕上げ　※ HL仕上げ　・鏡面仕上げ　・　[5.6.4]
曲げ加工　※ 普通曲げ　・角出し曲げ（補強有り）　[5.6.5]
種類　※ スライディングドア　・回転ドア
・スイングドア　・大型回転ドア
特定防火設備の戸　・適用する
製造所（製品名）
ナブコシステム同等品

10. 木製建具　建具材の加工及び組立時の含水率　[5.7.2][表5.7.1]

種別	加工及び組立時の含水率（質量百分率）	建具符号
・A種	15%以下	
※ B種	18%以下	

かまち戸の桟種　かまち（　　）　鏡板（　　）　[5.7.2]
フラッシュ戸の普通合板の板面の品質　※ 広葉樹１等　・（　　）　[5.7.2]
ふすまの種別　・Ⅰ型　※ Ⅱ型　・適用種別は図示　[表5.7.3]
ふすまの上張り　※ 新鳥の子又はビニル紙程度（押入等の裏面は除く）　・鳥の子　[表5.7.3]
材料等のホルムアルデヒドの放散量 ※ F☆☆☆☆　・F☆☆☆　[5.7.2]
フラッシュ戸の表面板の厚さ　[5.7.3][表5.7.6]

表面材	厚さ(㎜)
・普通合板	※ 2.5 以上　・　・図示
・天然木化粧合板	※ 3.2 以上　・　・図示
・特殊加工化粧合板	※ 2.4 以上　・　・図示

各木製建具の見込み寸法　[5.7.3][表5.7.7]

名称	見込み寸法(㎜)
・かまち戸	※ 36　・　・図示
・ふすま戸	※ 19.5　・　・図示

株式会社 伊藤喜三郎建築研究所
一級建築士事務所
東京都知事登録番号　第2215号
設計者　赤岩重信
一級建築士登録番号　第281032号

設計者
総括責任者 赤岩重信 一級建築士 第281032号
担当者 岡澤加代子 一級建築士 第348007号
担当者 山寺美和子 一級建築士 第309931号
担当者 山嵜舞 一級建築士 第364029号
担当者 山本哲也 一級建築士 第333045号
担当者 大室真悟 一級建築士 第380799号

件名 横浜市立大学附属病院重症系病床改修工事（建築工事）	Job-No. 22060	
図名 改修特記仕様書ー2 （令和４年版）	意匠	
縮尺 ―	日付 2023/06/30（令和5年）	2

伊藤喜三郎建築研究所

・戸ぶすま	※ 30　・　・図示	
・紙張り障子	※ 30　・　・図示	

フラッシュ戸引戸の定規縁 召合せかまち　※ いんろう付き　・適用しない　[5.7.4][表5.7.8]

● 11. 建具用金物

下記以外は建具表による　[5.8.2][表5.8.1]

マスターキー　※ 製作する　・製作しない　[5.8.4]

種類・個数

※ マスターキー（MK）　4 個

・グランドマスターキー（GMK）　個

・グレートグランドマスターキー（GGMK）　個

・逆マスターキー（RMK）　個

建具金物（下記以外は建具表、標準仕様書による）

ヒンジ	・ロングヒンジ	製造所（製品名）
	・	
取手	● レバーハンドル	製造所（製品名）　ユニオン（UL022）同等品
	・引き手	製造所（製品名）
	● 押棒	製造所（製品名）　ユニオン（H5601）同等品
	・押板	製造所（製品名）
	・	
	・	

シリンダーサイド　建具表に特記なき場合は、外側シリンダー、内側サムターンとする。

軸吊りヒンジ　建具表に特記なき場合は、自閉装置なしとする。

ドアクローザー　建具表に特記なき場合は、ドアクローザーのディレードアクション機能なしとする。

戸当り　建具表に特記なき場合は、あおり止め(フック)なしとする。

● 12. 自動ドア開閉装置及び自動ドアガード

自動ドア開閉装置の安全性全般　[5.9.2]

※ JIS A 4722（歩行者用自動ドアセット－安全性）　・

(ただし、多機能トイレ出入口に設置するものを除く。)

駆動装置の性能値

多機能トイレ出入口に設置するもの以外

※ 引き戸用駆動装置の場合、[表5.9.1]による　[表5.9.1]

・

多機能トイレ出入口に設置するもの

※ 引き戸用駆動装置の場合、[表5.9.2]による　[表5.9.2]

・

機構　[5.9.3]

検出装置の性能

※ 引き戸用駆動装置の場合、[表5.9.3]による　[表5.9.3]

・

引き戸用検出装置の種類及び必要性能項目　[表5.9.4]

戸の開閉方式	引き戸用検出装置の種類	
※ スライディングドア	・光線（反射）センサー	※ 熱線センサー
・スイングドア	・音波センサー	・光電センサー
・回転ドア	・電波センサー	・タッチスイッチ
・大型回転ドア	・押しボタンスイッチ	・多機能トイレスイッチ
・	・	・

安全用光電スイッチ　● 有り　（ ● 1段　・2段 ）

寒冷地における凍結防止措置　・行う　（　　）

製造所

自動ドアガード　● 設置する

フレーム　・図示　● SUS304 FBt=5 HL程度　・SUS304 φ42.7×2.0 HL程度

パネル　・図示　● ポリカーボネート　・

製造所（製品名）

● 13. 自閉式上吊り引戸装置

性能等　※ [5.10.3]による　・製造所標準仕様による　[5.10.1～5.10.4][表5.10.1]

製造所

14. 自閉式開閉折戸

開閉方式　・双方向　・片方向

額及びガラリ等の塗装　・行う（アクリル樹脂焼付塗装）

キックプレート　・有（ステンレスSUS304t=1.0 HL H=300）

製造所（製品名）

15. 特殊な性能の建具　(16.2.2～16.6.2)

種類	性能等級	建具符号
・防音アドセット	遮音性　・T-1　・T-2　・T-3　・T-4	
・防音サッシ		
・断熱アドセット	断熱性　・H-1　・H-2　・H-3　・H-4	
・断熱サッシ	・H-5　・H-6　・H-7　・H-8	
・耐震ドアセット	面内変形追随性　・D-1　・D-2　・D-3	

16. 特殊防火戸

・ガラス入り防火戸　品質・規格　製造所

・木製防火戸　品質・規格　製造所

17. その他の建具

・エレベーターの防火、防煙区画に使用する特殊建具等

● 18. ガラス

下記以外は建具表による　[5.14.2]

JIS R 3205

	品種	構成種類
● 合わせガラス	※ フロート合わせガラス	● フロート板合わせガラス ・熱線吸収、フロート板合わせガラス
	・網入磨き合わせガラス	・網入磨き、フロート板合わせガラス ・網入磨き、熱線吸収板合わせガラス

JIS R 3206

	材料板ガラスによる種類	種類
・強化ガラス	※ フロート強化ガラス	※ フロート板強化ガラス ・熱線吸収、フロート板合わせガラス
	・型板強化ガラス	※ 型板強化ガラス

JIS R 3208

	品種	色調
・熱線吸収板ガラス	※ 熱線吸収フロート板ガラス	・ブルー　・グレー　・ブロンズ

JIS R 3209

	品種	板ガラスの組み合わせ
・複層ガラス	・断熱複層ガラス ・日射熱遮へい複層ガラス	JIS R 3221

	品種	反射被膜面	色調	映像調整
・熱線反射板ガラス	※ 熱線反射ガラス	※ 内面　・外面	・ブルー　・グレー	※ 行わない
	・高性能熱線反射ガラス	・内面	・ブロンズ　・シルバー	・行う

製造所　JIS R 3222

	板ガラスによる種類	色調
・低強度ガラス	※ 低強度フロート板ガラス	－
	・低強度熱線吸収板ガラス	・ブルー　・グレー　・ブロンズ　・

JIS A 5212

	寸法(mm)	色調	パターン	防火性能
・ガラスブロック		※ クリア　・熱線反射 ・乳白　・カラー（　）		※ 無し ・有り

規格　JIS A 5212に準ずる　[5.14.5]

材料　[5.14.5]

壁用金属枠及び補強材　※ 図示　・

力骨の材質、寸法及び形状　※ ステンレス鋼（SUS304）径5.5mm のはしご形状複筋及び単筋

・

シーリング材(3.7)による　※ SR-1　・

工法　[5.14.5]

建築基準法に基づく風圧力に対応した工法

目地幅の寸法

平積みの場合　※ 8mm 以上、15mm 以下とする

・

曲面積みの場合　※ 曲率半径をガラスブロックの幅寸法の10 倍以上とし、外側15mm以下、内側6mm 以上とする

・

伸縮調整目地の位置　・6m以下ごとに幅10～25mm の伸縮調整目地を設ける

・

● 19. ガラス留め材及び溝

ガラス留め材　[5.14.2][5.14.3][図5.14.1]

※ 建具の製造所の仕様による、但し、ガスケットを使用する場合には、ガスケットの使用温度範囲による区分の特記事項を満たすこと。

・下表による

建具の種類	種類	
	シーリング材 (3.7)	ガスケット　JIS A 5756
アルミニウム製	※ SR-1　・	・種類は下表「ガスケットの種類」による 但し、FIX部はシーリング材とする
鋼製及び軽量鋼製	※ SR-1　・	
ステンレス製	※ SR-1　・	

ガスケットの使用温度範囲による分類

記　号	使用温度範囲	特　記　事　項
・T1	−20℃～+70℃	
・T2	−20℃～+85℃	主成分 PVC軟質系、CR発泡系、CR硬質系は使用しない
・T3	−40℃～+70℃	
・T4	−40℃～+85℃	主成分 PVC軟質系、CR発泡系、CR硬質系は使用しない

ガスケットの種類

※ 建具の製造所の仕様による、但し、ガスケットの使用温度範囲による区分の特記を満たすこと。

・下表による

性　状	形　態	主　成　分
・Ss(軟質系) ・Cl(発泡系) ・Hm(硬質系)	・Sf(単一成形品) ・Mf(多重成形品)	・SR(シリコーンゴム系) ・EPDM(エチレン・プロピレンゴム系) ・CR(クロロプレンゴム系) ・TPE(サーモ・プラスチック・エラストマー系) ・PVC(ポリ塩化ビニル系)

ただし、防火戸は建築基準法に基づく防火性能を有するものとする

板ガラスをはめ込む溝の大きさ　[5.13.3][図5.13.1]

[5.13.3]以外のアルミニウム製建具及び板ガラスの場合は、(一社)日本建築学会

JASS17ガラス工事「3.1納まり寸法標準」によるほか、性能値が確認できる資料を監理者に提出する

名称	種類	張り面		性能値
※ ガラス飛散防止フィルム(GF(1))	第2種	※ 内張り	・外張り	飛散防止率　D1
・視線遮へいフィルム				
・太陽光屈折フィルム				
・				

品質　JIS A 5759による　製造所（製品名）GF(1)：3M（SH4CLAR）同等品

強化ガラスの飛散防止フィルム張り　※ 行う　・行わない

● 20. ガラス用フィルム

21. 防煙たれ壁

・固定式

材質	厚さ(mm)	高さ(mm)	備考
※ 線入り磨板ガラス ・網入り磨板ガラス	※ 6.8 ・	※ 500 ・	アルミ製枠付

・可動式

種類	材質	高さ(mm)	備考
・垂直降下式	※ 不燃布	※ 500　・ ・800	ガイドレール　※ 固定式（壁埋込型） ・可動式（天井収納型）
・回転降下式	鋼板製又は アルミ製	※ 500 ・800	表面仕上げ ※ 天井材張り

降下機構　煙感知器連動及び手動開放装置（埋込型）

22. 可動間仕切　(20.2.3)

構造形式	パネル部分の総厚さ(mm)	表面材種厚さ(mm)	仕上げ
・スタッド式（スタッド内蔵） ・スタッド式（スタッド露出） ・パネル式 ・スタッドパネル式	・	※ 鋼板 （ ※ 0.6　・0.8 ）	※ メラミン樹脂又は アクリル樹脂 焼付塗装 ・

品質　※ JIS A 6512によるもの　・

不燃材料の認定　・有り

パネルの材料のホルムアルデヒド放散量　※ F☆☆☆☆　・F☆☆☆

遮音性(dB/500Hz)　・0　・12　・20　・28　・36　・（　　）

製造所（製品名）

23. 移動間仕切　(20.2.4)

遮音性能による区分	厚さ(mm)	表面材	表面仕上げ	施工箇所
・一般タイプ（36db未満）	・	※ 鋼板	・焼付塗装　・壁紙張り	
・遮音タイプ（36db以上）	・	※ 鋼板	・焼付塗装　・壁紙張り	

表面仕上げの壁紙張りの品質は標仕19章内装工事による

遮音タイプはJIS A 6512の遮音試験に準拠し、透過損失として36db以上のもの

取り付け方法は製造所の仕様により、適切な資料を監理者に提出する

製造所（製品名）

● 6.内装改修工事

● 1. 改修範囲

既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲　[6.1.3]

※ 壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う　● 図示の範囲

天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲　[6.1.3]

※ 壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う　・図示の範囲

天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修　[6.1.3]

※ 既存のまま　・図示の範囲

● 2. 既存床の撤去、下地補修

ビニル床シート等の除去　※ 仕上げ材のみ（接着剤とも）　[6.2.2]

・下地モルタルとも　（ ※ 図示の範囲　・除去範囲全て ）

合成樹脂塗り床材の除去工法　・機械的除去工法　・目荒し工法　[6.2.2]

改修後の床の清掃範囲　※ 改修箇所の室内　・　[1.13.14]

● 3. 既存壁の撤去、下地補修

間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修　[6.3.2]

・図示

※ モルタル塗り （塗り厚25mmを超える場合の補強　※ 行う　・行わない ）　[4.3.10]

4. 木材の品質

見え掛り面の表面の仕上げ程度　[6.5.1][表6.5.1][表6.5.2]

適用箇所	造作材		下地材
	含水率	材面の品質	含水率
※	A種(15%以下)	A種	A種(15%以下)
・	B種(18%以下)	B種	B種(20%以下)
・			

含水率は全断面の平均の推定値とする

但し、木材の製材で含水率を指定しているものは、その指定による。

但し、(12.2.1(2)～(6))で、含水率を規定しているものは、その規定による

5. 木材

・製材

・「製材の日本農林規格」による製材　[6.5.2]

・下地用針葉樹製材　樹種　・　寸法　※ 図示

等級　※ 2級　・　形状　・耳付材　・押角

・造作用針葉樹製材　樹種　・　寸法　※ 図示

等級　見え掛り面　※ 上小節　形状　・板類　・角類

上記以外　※ 小節以上

保存処理　※ JIS K 1570　・

・広葉樹製材　樹種　・　寸法　※ 図示

等級　※ 1等　・　含水率 ※ 10%以下　・

形状　・耳付材有　・耳付材無

保存処理　※ JIS K 1570　・

材面の品質　（　　）

・「製材の日本農林規格」以外の製材

樹種　・　寸法　※ 図示

材面の品質　造作材　※ A種　・B種　[表6.5.2]

上記以外　・A種　・B種

防虫処理　・（　　）　難燃処理　・（　　）

・造作用集成材　ホルムアルデヒドの放散量　※ F☆☆☆☆　・F☆☆☆

・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材

・造作用集成材　品名　・（　　）

樹種　・　寸法　※ 図示

見付材面の品質　※ 1等　見付材面数　※ 図示

・化粧ばり造作用集成材　品名　・（　　）

樹種（化粧薄板　・　芯材　・　）

寸法　※ 図示　化粧薄板の厚さ　・

見付材面の品質　※ 1等　見付材面数　※ 図示

・化粧ばり構造用集成柱　品名　・（　　）

樹種（化粧薄板　・　芯材　・　）

寸法　※ 図示　化粧薄板の厚さ　・

・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

・造作用集成材　樹種　・（　　）　寸法　※ 図示

見付材面の品質　・　含水率 ※ 15%以下　・

・化粧ばり造作用集成材　樹種（化粧薄板　・　芯材　・　）

寸法　※ 図示　化粧薄板の厚さ　・

見付材面の品質　・（　　）

含水率 ※ 15%以下　・

・化粧ばり構造用集成柱　品名　・（　　）

樹種（化粧薄板　・　芯材　・　）

寸法　※ 図示　化粧薄板の厚さ　・

含水率 ※ 15%以下　・

・造作用単板積層材（LVL）　ホルムアルデヒドの放散量　※ F☆☆☆☆　・F☆☆☆

・「単板積層材の日本農林規格」による単板積層材

厚さ　・　表面の品質　・　防虫処理　・

・「単板積層材の日本農林規格」以外の単板積層材

厚さ　・　表面の品質　・　防虫処理　・

含水率 ※ 14%以下　・

・直交集成板　樹種（　　）　寸法　※ 図示

・「直交集成板の日本農林規格」第3条「規格」に基づく

品名　・　曲げ強度(強度等級)　・

種別　・　接着性能(使用環境)　・

樹種　・　寸法　※ 図示

・合板等　ホルムアルデヒドの放散量　※ F☆☆☆☆　・F☆☆☆

・普通合板　品名（　　）　厚さ　※ 5.5mm

単板の樹種　・広葉樹（　　）　板面の品質　※ 2等以上

・針葉樹（　　）　板面の品質　※ C-D以上

接着の程度　※ 1類　・2類

（上記に関わらず、湿潤状態となる場所に使用する場合は、1 類とする）

防虫処理　・

・構造用合板　品名（　　）　厚さ　※ 12mm

単板の樹種　・（　　）

等級　※ 2級以上　板面の品質　※ C-D以上

接着の程度　・特類　※ 1類

（上記に関わらず、常時湿潤状態となる場所に使用する場合は、特類とする）

強度等級　・　防虫処理　・行う

・化粧ばり構造用合板

・「合板の日本農林規格」第7条「化粧ばり構造用合板の規格」に基づく

品名（　　）　厚さ　・

単板の樹種　・（　　）

接着の程度　・特類　※ 1類

（上記に関わらず、常時湿潤状態となる場所に使用する場合は、特類とする）

防虫処理　・

・天然木化粧合板

・「合板の日本農林規格」第8条「天然木化粧合板の規格」に基づく

厚さ　・

化粧板に使用する単板の樹種　・（　　）

接着の程度　・1類　・2類

（上記に関わらず、湿潤状態となる場所に使用する場合は、1 類とする）

防虫処理　・

・特殊加工化粧合板

・「合板の日本農林規格」第8条「特殊加工化粧合板の規格」に基づく

品目　・　厚さ　・

接着の程度　・1類　・2類

（上記に関わらず、湿潤状態となる場所に使用する場合は、1 類とする）

単板の樹種　・（　　）　防虫処理　・

化粧加工の方法

・オーバーレイ　・プリント　・塗装　・（　　）

・パーティクルボード

パーティクルボードの製材　[6.5.2] JIS A 5908

施工箇所	表裏面の状態による区分		曲げ強さ	耐水性	難燃性	厚さ
	区分	記号	による区分	による区分	による区分	mm
	化粧パーティクルボード｜単板オーバーレイ		13	MR1(M)	難燃3級	30
	構造用パーティクルボード｜研磨板		S18	MR2(P)	難燃2級	15

・構造用パネル　品名（　　）　厚さ　・

・「構造用パネルの日本農林規格」に基づく

品名　・　厚さ　・

・ミディアムデンシティーファイバーボード(MDF)

MDFの製材　[6.5.2] JIS A 5905

施工箇所	表裏面の状態による区分		曲げ強さ	接着剤	難燃性	厚さ
	区分	記号	による区分	による区分	による区分	mm
	普通MDF｜化粧MDF｜プラスチックオーバーレイ		25タイプ	Mタイプ	難燃3級	30
	構造用MDF｜無研磨板		15タイプ	Pタイプ	難燃2級	9

6. 接着剤

※ 木工事に使用する接着剤　[6.5.2]

接着剤は、接着する材料に適したものとする。ただし、接着剤のホルムアルデヒド放散量は、下記とする。

※ F☆☆☆☆　・

※ 壁紙、ビニル床タイル、ビニル床シート、幅木に使用する接着剤　[6.8.2][6.14.2]

接着剤は、接着する材料に適したものとする。ただし、接着剤のホルムアルデヒド放散量は、下記とする。

※ F☆☆☆☆　・F☆☆☆

7. 防腐・防蟻処理

以下の ① または ② の処理方法により防腐・防蟻処理を行う。　[6.5.5]

加圧注入処理を行った後、加工、切断、孔あけ等を行った箇所は、標準仕様書[6.5.5(b)]

により処理を行う。

① JAS 1083 に基づく保存処理の性能区分K 2からK 4までに適合するもの又はこれと同等の保存処理性能の製材を用いる。

② 人体への安全性及び環境への影響について配慮し、JIS K 1570（木材保存剤）に基づく加圧注入用木材保存剤又はこれと同等の性能を有する木材保存剤を用いて、JIS A 9002（木質材料の加圧式保存処理方法）に基づく加圧式保存処理等を行う。

なお、JIS A 9002に基づく使用薬剤、注入量等の証明書を、監理者に提出する。

処理方法	性能区分	施工箇所・適用部材等
①	K2	
	K3	
	K4	
②	－	

薬剤の接着剤への混入による防腐・防蟻処理

・行う（施工箇所：　）

合板等の加圧注入等による防腐・防蟻処理

※ 「合板の日本農林規格」、「集成材の日本農林規格」若しくは JAS 0701（単板積層材）の保存処理の性能区分K 3に適合するもの又はこれと同等の保存処理性能の製材を使用する。

8. 防虫処理

※ 行う（施工箇所：　）　[6.5.5]

9. 床板張り

フローリング及び縁甲板張り床　[6.5.8][表6.5.8]

下張り用床板	※ 無し		
	・有り	※ 合板張り ・板張り	
床板	※ 単層フローリング[11]による		
	・縁甲板	※ ひのき　・	
	・上がりがまち	※ ひのき　・	

● 10. 軽量鉄骨天井下地

天井下地材　[6.6.2]

※ JIS A 6517適合下地材

・一般普及材

・高耐食天井下地材　施工箇所

・ステンレス製天井下地材　施工箇所

野縁の仕様及び種類　[6.6.2][表6.6.1]

※ [表6.6.1]による （ 屋外　・19形　※ 25形　屋内　※ 19形　・25形 ）

野縁の間隔(屋外の場合)　mm　[6.6.3][表6.6.2]

吊りボルトの間隔が(ダクト等により)900mmを超える場合の補強方法　[6.6.4]

● 監理者との協議による　・図示

大規模空間等の天井下地材における耐震性能を考慮した補強[6.6.4]　[6.6.4]

・特定天井（6m超高さにある面積200㎡超、質量2kg/㎡超の吊り天井）

天井特記仕様書による

・その他の天井（特定天井以外）

適用範囲　※ 図示　・

天井材の質量　・2kg/㎡以下　※ 2kg/㎡超～20kg/㎡以下　・20kg/㎡超

工法　※ 耐震天井システム

天井面と周囲部位、設備のクリアランス　※ 60mm以上　・計算により　mm以上

ブレース（斜め部材）数量　※ 計算により負担面積　㎡/対

ブレース（斜め部材）角度　※ 30～60度　・40～55度

ふさぎ天井見切り　・アルミ製　W=　（ ・焼付塗装　・　）

製造所（製品名）

屋外の軒天井、ピロティ天井等の耐風圧性を考慮した補強　[6.6.4]

※ 行う　（ ※ 補強方法は下記による　・補強方法は図示による　・【3-21- 】 ）

吊りボルト@600以下、ブレース補強（L 30×30×3）X Y方向共@3,000以下及び野縁受@300以下を原則とするが、耐風圧計算により補強方法を決定すること

天井ふところの振止め補強（屋内 1.5m未満、屋外 1.0m未満の場合）　[6.6.4]

※ 行わない　・行う （ ・[6.6.4(8)]による　・図示 ）

天井ふところの水平補強・斜め補強（1.5m未満）　[6.6.4]

株式会社 伊藤喜三郎建築研究所

一級建築士事務所
東京都知事登録番号　第2215号

設 計 者　赤岩重信
一級建築士登録番号　第281032号

設　計　者				
総括責任者 赤岩重信 一級建築士 第281032号	担当者 山寺美和子 一級建築士 第309931号	担当者 山奇舞 一級建築士 第364029号	担当者 山本哲也 一級建築士 第332045号	担当者 大室真悟 一級建築士 第360799号
担当者 岡澤加代子 一級建築士 第248007号				

件名	横浜市立大学附属病院重症系病床改修工事（建築工事）
図名	改修特記仕様書－3　（令和４年版）
縮尺	－
日付	2023/06/30（令和5年）
Job-No.	22060
意匠	3

伊藤喜三郎建築研究所

※ 行わない　・ 行う　（ ・ [6.6.4(8)]による　　・ 図示　　）
天井ふところの水平補強・斜め補強（3.0mを超える場合）　[6.6.4]
※ 図示（　　）
既存の埋込インサート　・ 使用する　・ 使用しない　[6.6.3][6.6.4]
あと施工アンカーの引抜き試験　・ 行う　・ 行わない　[6.6.4]
ステンレス製または亜鉛めっき の上タールエポキシ塗装天井下地材
・ ステンレス製天井下地材　・ 亜鉛めっきの上タールエポキシ塗装天井下地材
※ 19形
施工箇所：

● 11. 軽量鉄骨壁下地

壁下地材　[6.7.1]
※ JIS A 6517適合下地材
・ 一般普及材
・ 高耐食壁下地材　施工箇所
・ ステンレス製壁下地材　施工箇所
スタッド、ランナ等の仕様及び種類　[6.7.3][表6.7.1]
※ [表6.7.1]及びJIS A 6517による　・ 一般仕様（普及品）
開口部補強の板厚
※ [表6.7.1]による　・ 1.6㎜
高さ5mを超える場合（一般壁）
・ 角型間仕切下地材　・ 軽量鉄骨　製造所（製品名）
鉛入りボード等を使用する場合のスタッド
・ 100形　・

● 12. ビニル床シート張り

[6.8.2][6.8.3]

種類及び名称	表示記号	厚さ(㎜)	工法	模様張り	製造所（製品名）
● FS	VS	2	※ 熱溶接 ・突付け	※ 行わない ・ 行う	ロンシール工業(ロンリウム)同等品 タジマ、東リ等
● FS	VS(1)	2	※ 熱溶接 ・突付け	※ 行わない ・ 行う	ロンシール工業(耐薬スーパーリウム)同等品
・	VS(2)		※ 熱溶接 ・突付け	※ 行わない ・ 行う	
・	VS-E		※ 熱溶接 ・突付け	※ 行わない ・ 行う	

VS-E：　体積抵抗値（JIS K 6911による）1.0×10⁹Ω以下、
または、漏えい抵抗値（JIS A 1454による）1.0×10¹⁰Ω未満

13. ビニル床タイル張り

[6.8.2]

種類及び名称	表示記号	厚さ(㎜)	記号又は製造所（製品名）
・	VT		
・	VT(1)		
・	VT(2)		
・	VT-E		

VT-E：　体積抵抗値（JIS K 6911による）1.0×10⁸Ω以下、
または、漏えい抵抗値（JIS A 1454による）1.0×10¹⁰Ω未満

14. 天然リノリウム床シート張り

[6.8.3]

種類及び名称	表示記号	厚さ(㎜)	工法	模様張り	製造所（製品名）
・ 天然リノリウム床シート	LS	※ 2.5 ・	※ 熱溶接 ・突付け	※ 行わない ・ 行う	
・ 天然リノリウム床シート	LS(1)	※ 2.5 ・	※ 熱溶接 ・突付け	※ 行わない ・ 行う	

15. ゴム床シート張り及びゴム床タイル張り

[6.8.2][6.8.3]

種類及び名称	表示記号	主原料	厚さ(㎜)	工法	製造所（製品名）
・ ゴム床シート	RS	※ 単層 ・ 積層		・ 熱溶接 ・ 突付け	
・ ゴム床タイル	RT	※ 単層 ・ 積層			

● 16. ビニル幅木

[6.8.2]

種類及び名称	表示記号	厚さ(㎜)	高さ(㎜)	備考
● 軟質	VB	※ 2.0 ・	・ 60　● 75　※ 100 ・ 300　・ 350　・	
・ 半硬質	VB-F	※ 2.0		
・ 硬質	VB-H			

17. その他の幅木

種別	表示記号	厚さ(㎜)	高さ(㎜)	材種及び仕上げ	備考
・ 木製					
・ 金属					
・ モルタル					
・ アルミ					R巾木

18. カーペット敷き

・ 織じゅうたん　[6.9.2][6.9.3][表6.9.1][表6.9.2]

種別	パイル形状	帯電性	色柄等	製造所（製品名）
・ A種 ・ B種 ・ C種	・ カットパイル ・ ループパイル ・ カット、ループパイル併用	人体帯電性 ※ 3kv以下 ・	※ 単一色（無地） ・ 柄物（標準色） ・	

・ タフテッドカーペット　[6.9.2][6.9.3][表6.9.1][表6.9.2]

パイル形状	パイル長(㎜)	工法	帯電性	製造所（製品名）
・ カットパイル	※ 5～7　・	※ 全面接着工法 ・ グリッパー工法	人体帯電圧 ※ 3kv以下 ・	
・ マルチレベルループ	※ 4～6　・			
・ レベルループパイル	※ 4　・			
・ カット、ループ併用	・　・			

・ タイルカーペット　[6.9.2][6.9.3][表6.9.1][表6.9.2]

パイル形状	種別	パイル繊重量(g/㎡)	電気抵抗値(Ω)	製造所（製品名）
※ ループパイル ・ カットパイル	※ 第一種 ・ 第二種	※ 780 ・	※ 適用しない ・ 10⁸Ω以下	

・ マットカーペット

どろよけ及び水ふき用	種類	パイル素材	タフト規格	パイル重量(g/㎡)	厚さ(㎜)
	タフテッド	ポリアミドナイロン100%	1/10ゲージ	900	9.0

製造所

19. 合成樹脂塗床

[6.10.2][6.10.3][表6.10.1～表6.10.8]

型別	種別	工法及び仕上げ
厚膜型塗床材	・ 弾性ウレタン樹脂系塗床材	※ 平滑仕上げ　・ 防滑仕上げ　・ つや消し仕上げ
	・ エポキシ樹脂系塗床材	※ 薄膜流し展べ工法　（ ※ 平滑　・ 防滑 ） ・ 厚膜流し展べ工法　（ ※ 平滑　・ 防滑 ）
	・ 樹脂モルタル工法　（ ※ 平滑　・ 防滑 ）	
薄膜型塗床材	・ エポキシ樹脂系塗床材	※ 薄膜型塗床工法（平滑）

ユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒドの放散量　※ F☆☆☆☆　・ F☆☆☆
製造所（製品名）

20. 床用塗料塗り

材質　ウレタン樹脂系塗料　（ ※ 標準色　・　　）
仕上種別　※ 平滑仕上げ　・ 防滑仕上げ
塗布量　プライマー塗りの上、主剤２回塗りとし、総塗布量は0.5kg/㎡以上とする

● 21. 防塵用塗料塗り

材質　● 水性アクリル樹脂系塗料　（ ※ 標準色　（ ※ グリーン系 ）・　　）
・ ポリウレタン樹脂系防塵塗料　（ ※ 標準色　（ ※ グリーン系 ）・　　）
仕上種別　コーティング（ローラー刷毛塗り）
塗布量　主剤２回塗りとし、総塗布量は0.25kg/㎡以上とする

22. フローリング張り

（体育館、舞台等の床は除く）　[6.11.2～6.11.7][表6.11.1～表6.11.6]

種別	樹種	厚さ(㎜)	工法	仕上塗材
・ 天然木化粧 複合フローリング	※ なら ・	※ 12 ・ 8以上	※ 釘留め工法 ・ 根太張り工法（C種） ・ 直張り工法（C種） ・ ・ 接着工法	・ 有（　　） ・ 無
・ 単層フローリングボード	※ なら ・	※ 15 ・ 8以上	※ 釘留め工法 ・ 根太張り工法（C種） ・ 直張り工法（C種） ・ ・ 接着工法	・ 有（　　） ・
・ 単層フローリングブロック	※ なら ・	※ 15 ・	・ モルタル埋込み工法 ・ 接着工法	・ 有（　　） ・ 無
・ 単層モザイクパーケット	・	・	※ 接着工法	・ 有（　　） ・ 無

複合フローリングのホルムアルデヒド放散量　※ F☆☆☆☆　・ F☆☆☆
下地調整は張込完了後、傷・汚れを取り除き、研磨を行う。ただし、接着剤を使用する時は硬化後とする。
研磨は目違い払いをし、研磨を掛けて平滑に仕上げる。

23. 畳敷き

[6.12.2][表6.5.9][表6.12.1]

適用箇所	種別
改修標準仕様書表[6.5.6]による床組	・ A種　※ B種　・ C種　・ D種
ポリスチレンフォーム床下地	※ C種　・ D種
D種の場合の畳床　・ KT-Ⅰ　・ KT-Ⅱ　・ KT-Ⅲ　・ KT-K　・ KT-N	

24. ポリスチレンフォーム床下地

畳下地　厚さ(㎜)　※ 40　・ 65　・ 80　・
フローリング類下地　厚さ(㎜)　※ 80　・ 95　・

25. 緩衝材

浮き床用ロックウール緩衝材（JIS A 6321）
・ 1種（100～150kg/m³）　・ 2種（100～200kg/m³）　・ 3種（150～250kg/m³）

● 26. せっこうボード及びその他のボード張り

ボード張りに使用する製品の図面等での表現は下記の表示記号、または、[表6.13.1] に示される
JIS A 6901 等の規格に示されている GB-R-H-Hc 等の記号を用いる。
せっこうボード製品　[6.13.2][表6.13.1]

種類	表示記号	規格	厚さ(㎜)
● せっこうボード(壁)	GB-R	－	・ 9.5(準不燃)　※ 12.5(不燃)　・ 15(不燃)
● せっこうボード(天井)			・ 9.5(準不燃)　※ 12.5(不燃)　・ 15(不燃)
・ シージングせっこうボード	GB-S	－	・ 9.5(準不燃)　・ 12.5(準不燃)　・ 12.5(不燃)
● 強化せっこうボード	GB-F	－	● 12.5(不燃)　・ 15(不燃)　・ 21(不燃)
● 普通硬質せっこうボード	GB-H	－	● 9.5(不燃)　※ 12.5(不燃)　・ 15(不燃)
・ せっこうラスボード	GB-L	－	※ 9.5
・ 不燃積層せっこうボード	GB-NC	模様なし	※ 9.5(不燃)
	GB-NC(T)	ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ	※ 9.5(不燃)
・ 化粧せっこうボード	GB-D(T)	ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ	・ 9.5(準不燃)
	GB-D(W)	木目模様	・ 9.5(準不燃)　・ 12.5(不燃)
・ 吸音用あなあきせっこうボード	GB-P	－	※ 9.5(準不燃)
・ 繊維混入せっこうボード	FGB	－	・ 5　・ 6　・ 8　・ 10 製造所（製品名）
・			

繊維強化セメント板

種類	表示記号	規格	厚さ(㎜)
● けい酸カルシウム板 （無石綿）0.8Kタイプ2	0.8FK	－	● 6　・ 8　・ 10　・ 12
・ 吸音用穴あき けい酸カルシウム板	FK-P	－	・ 6　・
・ フレキシブル板 （無石綿）	フレキ板	－	・ 4　・ 6　・ 8

繊維板及びパーティクルボード

種類	表示記号	規格	厚さ(㎜)
・ ミディアムデンシティ ファイバーボード	MDF	ホルムアルデヒドの放散量 ※ F☆☆☆☆	・ 3　・ 7　・ 9 ・ 12　・ 15　・
・ パーティクルボード	-	・ F☆☆☆	・ 10　・ 12　・ 15 ・ 18　・ 20　・
・			・

吸音材料

種類	表示記号	規格	厚さ(㎜)及び仕様
● ロックウール化粧吸音版	DR	普通	※ 9　● 12
	DR(凹凸)	立体模様	※ 12　・ 15　・ 19
・ ロックウール化粧吸音版 （軒天用）	DR(軒天)	普通	※ 9(不燃(個))
	DR(軒天凹凸)	立体模様	※ 12(不燃(個))　・ 15(不燃(個))
・ ロックウール吸音ボード	RW-B	1号	※ 25　・ 50
・ ロックウール吸音フェルト	RW-F		
・ グラスウール吸音ボード	GW-B	2号32K	※ 25（ガラスクロス包み） ・ 50（ガラスクロス包み）
・ グラスウール吸音フェルト	GW-F		

木質系セメント板

種類	表示記号	規格	厚さ(㎜)
・ 硬質木毛セメント板	HW	－	・ 15　・ 20　・ 25　・
・ 普通木毛セメント板	NW	－	・ 15　・ 20　・ 25　・
・			・

特殊板及び特殊合板

種類	表示記号	規格	厚さ(㎜)
・ 天然木化粧合板	W(A)	・ ・	化粧単板　※ 0.3未満　・ 板　※ 4.2　・
・ 不燃天然木化粧板	W(B)	・ ・	化粧単板　・ 基材　・
● メラミン化粧板	－		※ 1.2　・　JIS K 6903による
● ポリエステル化粧合板	－		※ 2.7　・ 4.0
・ メラミン化粧板張り合板	－		化粧単板　※ 1.2　・ 基材（合板）　※ 4.0　・
・			

その他

種類	表示略号	製造所（製品名）
● 化粧けい酸カルシウム板	FK-C	A&Aマテリアル（ステンドﾅ300S）同等品
・ 特殊UV塗装硬質セメント板	FK-G	
・ タップポストフォーム けい酸カルシウム板	FK-D	
・		

軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材
※ 適用する　・ 適用しない

● 27. 壁紙張り

[6.14.2]

壁紙の種類	防火性能	表示略号	製造所（製品名）
● 塩化ビニール樹脂製壁紙	不燃	VC	サンゲツ(不燃認定壁紙1000 AAランク 汚れ防止機能付き)同等品
・		VC(1)	
・		VC(2)	
・		VC(3)	
・			

下地調整　[6.14.3][表7.2.4][表7.2.5][表7.2.7]
モルタル、プラスター面　・ RA種　※ RB種　・ RC種（施工箇所：　　）
コンクリート面　・ RA種　※ RB種　・ RC種（施工箇所：　　）
せっこうボード面　・ RA種　※ RB種　・ RC種（施工箇所：　　）
ホルムアルデヒドの放散量　※ F☆☆☆☆　・ F☆☆☆

壁紙の種類	製造所（製品名）
・ 塗装用壁紙	
・ ガラスクロス化粧壁紙	
・	

ホルムアルデヒドの放散量　※ F☆☆☆☆　・ F☆☆☆

28. 塩化ビニル樹脂系フィルム張り

施工箇所	屋外仕様	製造所（製品名）

ホルムアルデヒドの放散量　※ F☆☆☆☆　・ F☆☆☆

29. オレフィンシート張り

施工箇所	製造所（製品名）

ホルムアルデヒドの放散量　※ F☆☆☆☆　・ F☆☆☆

30. モルタル塗り材料

吸水調整材　[6.15.3][表4.3.2]

全固形分(%)	吸水量(g)	接着強度(N/mm²)	界面破断率(%)
表示値±1.0	30分で1g以下	1.0以上	50以下

均質で有害と認められる異物の混入がないこと

防水剤（防水モルタル塗りの混入剤）
防水剤の種類　建築用のモルタルに用いるセメント防水剤

混合割合	凝結時間	曲げ及び圧縮強度比	吸水比	透水比
セメント重量の 5%以下	JIS R 5201の試験において 始発　1時間以上 終結　10時間以内	70%以上	95%以下	80%以下

膨張性のひび及びそりがないこと

31. 陶磁器質タイル張り

タイルの種類　[6.16.3]

施工箇所	形状・寸法(㎜)	吸水率による区分 Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	うわ薬 無釉	施釉	役物 有	無	色 標準	特注	耐凍害性 有	無	製造所（製品名）
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

タイルはJIS A 5209に基づくものとする
役物：標準的な曲がり（小口、標準、二丁、屏風）の役物は一体成形とする
タイルの見本焼き　※ 行わない　・ 行う（ ※ 外壁タイル　・　　）
耐滑り性　各用途に求められる耐滑り性を有すること

壁タイル張りの工法　[6.16.3.][表6.16.4]
内装タイル　※ 壁タイル接着剤張り　・ 密着張り　・ 改良圧着張り
外装タイル　・ マスク張り　・ モザイクタイル張り
・ 密着張り　・ 壁タイル接着剤張り
コンクリート素地面の処理　・ 行う
・ 目荒し工法（高圧水洗工法：超高圧150MPa程度）　[4.3.10(3)]
施工範囲　※ 図示　・
タイルの試験張り　※ 行わない　・ 行う（ ※ 外壁タイル　・　　）

32. セルフレベリング材塗り

[6.17.1]～[6.17.5][表6.17.1]

種類	厚さ(㎜)	施工箇所
・ せっこう系	※ 10　・	
・ セメント系	※ 10　・	
・ 高強度型セメント系	※ 10　・	

製造所（製品名）

● 33. 断熱材

[9.3.2][9.3.3]

種類		施工箇所	厚さ(㎜)	品質等	備考
・ 押出法 ポリスチレン フォーム 断熱材	※ 2種bA ・ 2種bB ・ 2種bC	※ 一般部	※ 25 ・	フロン類を用いないもの	JIS A 9521 規格適合品
	※ 3種bA （1t/層付） ・ 3種bB （1t/層付） ・ 3種bC （1t/層付） ・ 3種bD （1t/層付）	・ 土間接地スラブ下面 ・	※ 25 ・		
● 現場発泡断熱材 （吹付硬質ウレタンフォーム）		※ 断熱材補修部分	－	フロン類を用いないもの	JIS A 9526
		● 一般部 ・ ・	※ 30 ● 25 ・	難燃性を有するもの ※ A種1 ・ A種1H	規格適合品
		製造所　性能の確認できる資料を監理者に提出する			

断熱材等のホルムアルデヒドの放散量
※ F☆☆☆☆　・ F☆☆☆
ウレタンフォーム類は室内または排煙チャンバーとしている天井内に露出して使用する場合は防火コートを施すサッシ周りは、(16.2.5)の(2)(ア)によるモルタル充填を完全に行ったうえで断熱を枠または額縁まで施し、断熱材の欠損をなくすこと
断熱材現し部分は不燃仕様とする。断熱材：製造所（製品名）

34. 浴室天井材

市販品

材質	表面仕上げ	性能	幅(㎜)	備考
※ アルミニウム製	※ 焼付け塗装品 ・ アルマイト処理品	・ 不燃品 ・ 準不燃品	※ 200 ・ 100	廻り縁は縁付きとし、製造所の標準品とする
・ 硬質塩ビ製	※ 塗装品 ・ 木目調		※ 300 ・ 100	

下地及び吊りボルトは、標準仕様書14章金属工事参照

35. ポリスチレンフォーム床下地材

畳下地　厚さ(㎜)　※ 40　・ 65　・ 80
フローリング類　厚さ(㎜)　※ 80　・ 95

36. フリーアクセスフロア

(20.2.2)

略号	構法	設定の高さ(㎜)	耐震性能	耐荷重性能	帯電防止性能 漏えい抵抗	表面仕上材	製造所（製品名）
FAF(A)	・ パネル構法 ・ 溝構法		・ 1.0G ・ 0.6G	・ 5,000N ・ 3,000N			
FAF(B)	・ パネル構法 ・ 溝構法		・ 1.0G ・ 0.6G	・ 5,000N ・ 3,000N			

施工箇所：図示
表面仕上げ材の品質・規格等は、標準仕様書19章内装工事による
スロープ及びボーダー　※ 製造所の標準仕様　・ 図示
コンセント等の取付け対応　※ 製造所の標準仕様（コンセント本体は別途設備工事）
コンセントの箇所数は図示
配線用取り出しパネル　配線取り出し開口：パネル１枚につき40㎜×80㎜程度の開口１ヶ所以上
フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合
※ 20%～30%　・
空調用吹き出しパネル　※ 無し　・ 有り（ ※ 固定式　・ 可変式　：施工箇所は図示）

37. 乾式遮音二重床

(社)日本建築学会JASS25　４節住宅用揚げ床ユニット工事による

施工箇所	支持方法	用途	床衝撃音遮断性	高さ
	・ 脚付パネル方式 ・ 共通支持脚方式	・ 和室用 ・ 洋室用 ・ ユーティリティ用	※ L-55 ・ L-45 ・	・ H=150 ・ H=200 ・
	・ 脚付パネル方式 ・ 共通支持脚方式	・ 和室用 ・ 洋室用 ・ ユーティリティ用	※ L-55 ・ L-45 ・	・ H=150 ・ H=200 ・

上がり框　※ 製造所の標準仕様　・ 図示
表面仕上げ材　※ 仕上表による　・
製造所

38. 鋼製二重床

仕上げ
捨張り
鋼製床下地　H=　　製造所（製品名）

39. 床下換気口

箇所数：　　箇所
製造所（製品名）

40. 階段滑り止め

(20.2.7)

材　種　ステンレス SUS304
形　状　ビニルタイヤ入
両端フラットエンド　・ 無し　※ 有り（ ・ ステンレス製SUS304 ※ ビニル製 ）
幅(㎜)　※ 約35　・
取付け工法　※ 接着工法　・ 埋込み工法
製造所（製品名）

41. 階段手すり

※ 樹脂製（ ・ 34φ　・ 40φ ）　製造所（製品名）
（溝隠し ※ 有り ）
・ ビニル製ハンドレール（幅 約50㎜）　製造所（製品名）
・ 集成材クリアラッカー仕上げ（市販品 径 約45㎜）　・ 図示
抗菌仕様　・ 有り　点字サイン　・ 有り

42. 廊下手すり

材　種　※ 樹脂製　（溝隠し ※ 有り ）　・
径　・ 28φ　※ 34φ　・ 40φ　・ 図示
ブラケット　※ アルミ製　・ 樹脂製
抗菌仕様　・ 有り
製造所（製品名）

● 43. コーナーガード

材種	仕上	寸法(W×D×Hmm)	製造所（製品名）
・ ステンレス	SUS304HL		
● 樹脂製	既製品	W35×D35×H天井高	ナカ工業（NPC-3535V）同等品
・ 木製			
・ 合成ゴム製	既製品		
・ 軟質塩化ビニル	既製品		
・			

44. トイレブース

(20.2.5)

表面仕上げ材　※ メラミン樹脂系化粧板　・ 鋼板焼付塗装
・ ポリエステル樹脂系化粧板　・ ダップ樹脂系化粧板　・ 図示
表面材の色　・ 標準色　・ 指定色
エッジ　・ アルミ製アールエッジ　（ ・ パネル同色焼付　・ アルミ色 ）
・
足形状　※ 幅木型（ステンレス）　・ 足金物型
扉　※ 非常時外開きドア　・ 一般タイプドア
パネルの材料のホルムアルデヒド放散量　※ F☆☆☆☆　・ F☆☆☆
製造所（製品名）

● 45. 便所及び浴室等補助手すり等

用途	形状・形式	数量	製造所（製品名）
・ 洗面カウンター用			
・ 壁掛洗面器用	・ 杖使用者型		
	・ 車いす・杖使用者兼用型		
・ 小便器用			
● 腰掛け便器用	● 固定式（L型）	3	TOTO：（T114CL10）同等品
	・ 固定式（P型）		
	・ 固定式（T型）		
	・ 可動式（スイング型）		
	● 可動式（はね上げ型）	3	TOTO：（T112HK7R）同等品
	・ 背もたれ		
	・ アームレスト（背もたれ付）		
	・ 前傾姿勢支持介護器具		

株式会社 伊藤喜三郎建築研究所
一級建築士事務所
東京都知事登録番号　第2215号
設 計 者　赤岩重信
一級建築士登録番号　第281032号

設　計　者

総括責任者	担当者	担当者	担当者	担当者
赤岩重信 一級建築士 第281032号	山寺美和子 一級建築士 第309931号	山蔭潤 一級建築士 第364029号	山本哲也 一級建築士 第333045号	大室真悟 一級建築士 第380799号
担当者 岡澤加代子 一級建築士 第348007号				

件名　横浜市立大学附属病院重症系病床改修工事（建築工事）	Job-No. 22060	
図名　改修特記仕様書ー4　（令和４年版）	意匠	
縮尺　―	日付　2023/06/30（令和5年）	4

伊藤喜三郎建築研究所

・和便器用	・たて手すり付		
	・たて手すりなし		
	・床固定式		
・多用途用	・Ｉ型		
	・Ｌ型		
・浴室用	・洗い場用（Ｉ型）		
	・入り隅用（Ｌ型）		

材種　・ステンレス製　・スチール製　・
表面仕上げ材　・ステンレスＨＬ　※ 硬質塩化ビニル製　・　抗菌仕様　・有り
個所数　※ 図面表示による　・上表による

46. ベビーチェア及びベビーシート等
- ・ベビーチェア　箇所数：※ 図面表示による　・　箇所　製造所（製品名）
- ・ベビーシート　箇所数：※ 図面表示による　・　箇所　製造所（製品名）
- ・おむつ用ダストボックス　箇所数：※ 図面表示による　・　箇所　製造所（製品名）
- ・折りたたみシート及び多目的シート　箇所数：※ 図面表示による　・　箇所　製造所（製品名）

47. 洗面カウンター
材種　・メラミン樹脂化粧板張り（芯材：集成材）　・人工大理石（品質：※ 図示 ）
奥行き(mm)　・約450　・約 600　・図示
抗菌仕様　・有り
オーバーフロー　・無し　・有り
製造所（製品名）

48. 洗面器一体型カウンター
材種　※ 人工大理石
形状　・シーム接着　・一体成型　・図示
排水トラップ　※ 有り
抗菌仕様　・有り
奥行き(mm)　・約450　・約 600
オーバーフロー　・無し　・有り
製造所（製品名）

● 49. 鏡その他
- ・鏡　※ 個所、寸法は図面表示による　(20.2.10)
  - ・右記による　寸法　箇所数：※ 図面表示による　・　箇所
    厚さ(mm)　※ 5　・
    耐食処理　※ 有り
    枠　※ なし　・有り （ ※ ステンレス　・　）
- ● 化粧鏡（規格品）　箇所数：※ 図面表示による　・　箇所　製造所（製品名）TOTO：YM3580FC1程度
- ・全身鏡（規格品）　箇所数：※ 図面表示による　・　箇所　製造所（製品名）
- ・安全ミラー（規格品）　箇所数：※ 図面表示による　・　箇所　製造所（製品名）
- ・タオル棚、タオル掛け　箇所数：※ 図面表示による　・　箇所　製造所（製品名）
- ・化粧棚　箇所数：※ 図面表示による　・　箇所　製造所（製品名）
- ・フック　箇所数：※ 図面表示による　・　箇所　製造所（製品名）
- ・小物入れ　箇所数：※ 図面表示による　・　箇所　製造所（製品名）
- ・ペーパータオルホルダー　箇所数：※ 図面表示による　・　箇所　製造所（製品名）

● 50. 流し台ユニット

種類	寸法(L=mm)	適用内容	規格・品質等
● 流し台	※ 1,200 ● 900 ・ 1,500	トラップ付	※ 優良住宅部品
・コンロ台	※ 600 ・ 700 ・	バックガード ※ 有り	・
● 吊戸棚	※ 1,200 ・ 1,500 ● 900		
● 水切り棚	※ 1,200 ・ 1,050 ● 1,500	ステンレス製 ※ １段式	※ 市販品　杉田エース（パイプ水切棚 1段式)同等品

製造所（製品名）LIXIL（サンファーニティオプラス）同等品

51. ミニキッチン
箇所数：※ 図面表示による　・　箇所
製造所（製品名）

52. ユニットバス

略号	サイズ	製造所（製品名）	セレクトパーツ/オプション等（製品名）

給水管、給湯管：ユニット天井面から100mm突き出しまでユニット工事（水圧テスト含む）
排水管　：ユニット壁面から100mm突き出しまでユニット工事
水栓　：サーモスタット付シャワー混合栓

53. ユニットシャワー

略号	サイズ	製造所（製品名）	セレクトパーツ/オプション等（製品名）

給水管、給湯管：ユニット天井面から100mm突き出しまでユニット工事（水圧テスト含む）
排水管　：ユニット壁面から100mm突き出しまでユニット工事
水栓　：サーモスタット付シャワー混合栓

54. ユニットシャワートイレ

略号	サイズ	製造所（製品名）	セレクトパーツ/オプション等（製品名）

給水管、給湯管：ユニット天井面から100mm突き出しまでユニット工事（水圧テスト含む）
排水管　：ユニット壁面から100mm突き出しまでユニット工事
水栓　：サーモスタット付シャワー混合栓

55. 硬質樹脂製品

種類	寸法(mm) 左右枠	上下枠	製造所（製品名）
・ユニットバス廻り四方枠	×	×	
・サッシ枠	×	×	

種類	寸法(mm)	製造所（製品名）
・サッシ見切		

種類	見込幅(mm)	製造所（製品名）
・カウンター		

56. 洗濯機用パン
箇所数：※ 図面表示による　・　箇所

57. ブラインド
製造所（製品名）
- ・既存再使用する　（養生方法：　）　[2.3.1][5.1.6]
- ・新設する　(20.2.14)

形式	種類	スラットの材種	スラットの幅(mm)
※ 横型ブラインド	※ ギア式　・コード式 ・操作棒式　・電動式	※ アルミニウム合金製 ・	※ 25 ・
・縦型ブラインド	・１本操作コード ・２本操作コード ・電動式	・アルミスラット ・クロススラット ・	・ 80 ・100

58. ロールスクリーン
製造所（製品名）
- ・既存再使用する　（養生方法：　）　[2.3.1][5.1.6]
- ・新設する　(20.2.15)

形式	種類	材種	防炎性能
・ロールスクリーン	・プルコード式 ・プルコード式（ﾘﾐｯﾄｽﾄｯﾊﾟｰ付） ・チェーン式 ・ワンタッチ式 ・ループコード式 ・電動式（　）	・生地　（　） ・	※ 有り

59. カーテン
製造所（製品名）
- ・既存再使用する　（養生方法：　）　[2.3.1][5.1.6]
- ・新設する
- ・一般用　(20.2.16)(表20.2.1)

施工箇所	レーン数 ｼﾝｸﾞﾙ	ﾀﾞﾌﾞﾙ	形式 片引	引分	装置 電動	紐引	手引	名称品質	ひだの種別
	・	・	・	・	・	・	・		
	・	・	・	・	・	・	・		
	・	・	・	・	・	・	・		

製造所（製品名）
- ・医療・福祉施設用　製造所（製品名）

● 60. カーテンレール
- ・既存再使用する　[5.1.6]
- ● 新設する
- ・一般用　(20.2.16)

材種	形状			形式	
・ステンレス	・C型	・D型	・角型	・片引き	・引き分け
・アルミニウム	・C型	・D型	・角型	・片引き	・引き分け
・樹脂製	・C型	・D型	・角型	・片引き	・引き分け
・アルミニウム焼付塗装	・C型	・D型	・角型	・片引き	・引き分け

引き分けで嵌羽用の場合は300mm以上の召合わせの重ね掛けとする
静音タイプ　・有り　（施工箇所：　）
製造所（製品名）
● 医療・福祉施設用
静音タイプ　・天吊型　製造所（製品名）
● 直付型　製造所（製品名）TOSO（メディカライト）

61. ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞﾎﾞｯｸｽ及びｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ
- ・既存再使用する　[5.1.6]
- ・新設する
  - ・市販品（アルミニウム製 押出し型材）
  - 溝幅×深さ(mm)　・90×150　・150×80　・120×80　・120×150
  - 色彩　※ Ｂ－１種　・Ｂ－２種　（ ※ ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー）
  - ・D種（焼付塗装　・　）
- ・硬質樹脂製

種類	寸法(mm)	製造所（製品名）
・ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽﾚｰﾙ（壁付タイプ）	×	
・ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽﾚｰﾙ（梁下・天井付タイプ）	×	
・ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞﾎﾞｯｸｽ	×	

・図示

62. ピクチャーレール
材種　※ アルミ製　・ステンレス製
安全荷重　・ 8kg　・25kg　・30kg　・50kg
フック及びランナー　・フック　・ランナー
製造所（製品名）

63. スクリーンボックス
製造所（製品名）

64. 吊りバトン
材種　φ　L=
製造所

65. 黒板及びホワイトボード　(20.2.9)

種類		寸法(mm)	色彩	備考
・黒板	※ 焼付け		※ 緑 ・ 黒	※ 平面 ・ 曲面 ・ ｽﾗｲﾄﾞ付引分け
			※ 緑 ・ 黒	
・ホワイトボード	※ ほうろう		※ 白	※ 平面 ・ 曲面 ・ ｽﾗｲﾄﾞ付引分け

66. 屋内掲示板
枠の材質　※ アルミニウム製　・
表面の材質　※ 塩ビ発泡シート張り　・
寸法　箇所数：※ 図面表示による　・　箇所
製造所（製品名）

67. 屋外掲示板
照明器具　※ 有り　・無し
施錠　※ 有り　・無し
製造所（製品名）

68. AED収納ボックス
形式　・埋め込み型　・壁掛け型　・床置き型
箇所数：※ 図面表示による　・　箇所
製造所（製品名）

69. 表示標識
衝突防止表示 ※ 図示（市販品 ※ ステンレス製　径約30mm　・　）　(20.2.11)
・無し
非常用進入口表示　※ 図示（市販品）　・
室名札、ピクトグラフ、案内板等　※ 図示　・
消火栓、補助散水栓等の表示　・図示　・
アイドリングストップ表示　・図示　・
障害者用駐車スペース標識　・図示　・
消防水利標識　・図示　・
・点字表示　・図示　・傾斜路手すり端部　・多機能トイレ入口　・階段手すり端部　・案内板等

・AED表示　・図示
製造所　監理者の承諾する製造所

● 70. 点検口
天井点検口

材種	寸法	形式		仕上		数量
● アルミニウム製 ・	・450×450 ・600×600	一般型	● 額縁タイプ ・目地タイプ	・アルミ ・電着 ※ 焼付 ・アルミ ・電着 ※ 焼付		37
		・密閉型		・アルミ ※ 焼付		
・アルミニウム製 ・	・450×450 ・600×600	一般型	・額縁タイプ ・目地タイプ	・アルミ ・電着 ※ 焼付 ・アルミ ・電着 ※ 焼付		
		・密閉型		・アルミ ※ 焼付		

個所数　※ 図面表示による　・上表による

壁点検口

材種	寸法	数量
・アルミニウム製	・400×700　・600×600	
・塩ビ製	・200×200　・250×250　・300×300　・250×450	
・塩ビ製（吸音型）	・200×200　・250×250　・300×300　・	

個所数　※ 図面表示による　・上表による
製造所（製品名）

床点検口

材種	寸法	形式	強度	用途	数量
・アルミニウム製 （ ※ ボルト固定型）	・450×450 ・600×600 ・	・一般型 ※ 密閉型 （ ・ 二重蓋）	・歩行用 ・T-2用 ・T-6用	・モルタル充填用 ・樹脂タイル用 ・フローリング用	
・ステンレス鋼製 （ ※ ボルト固定型）	・450×450 ・600×600 ・	・一般型 ※ 密閉型 （ ・ 二重蓋）	・歩行用 ・T-2用 ・T-6用	・モルタル充填用 ・樹脂タイル用 ・フローリング用	
・鋼製 （ ※ ボルト固定型）	・450×450 ・600×600 ・	・一般型 ※ 密閉型 （ ・ 二重蓋）	・歩行用 ・T-2用 ・T-6用	・モルタル充填用 ・樹脂タイル用 ・フローリング用	

個所数　※ 図面表示による　・上表による

大口径床点検口

材種	寸法	形式	強度	用途	数量
・ （ ※ ボルト固定型）	・600×1200 ・図示	・一般型 ※ 密閉型 （ ※ 二重蓋）	・歩行用 ・T-2用 ・T-6用	・モルタル充填用 ・樹脂タイル用	

個所数　※ 図面表示による　・上表による

71. 既製トラフ（ 配線、配管ピット及び排水ピットふた）
配線・配管ピットふた

材種	幅	受枠	用途	数量
・アルミニウム製 ・	・150 ・200 ・250 ・300	※ ステンレス製 ・アルミニウム製	・樹脂タイル用　・カーペット用 ・モルタル充填用　・フローリング用 ・縞鋼板（SS400）	

個所数　※ 図面表示による　・上表による

排水ピットふた

材種	幅	形式	受枠	仕様	数量
・ステンレス製 ・アルミニウム製 ・鋼製 ・樹脂製	・100 ・150 ・200 ・300 ・	・グレーチング ※ 縞目　・ 普通目 ・縞鋼板（SS400）	※ ステンレス製 ・アルミニウム製	・ノンスリップ ・	

縦目タイプ　・適用する　適用箇所（　）
個所数　※ 図面表示による　・上表による

集水桝ふた

材種	大きさ	形式	受枠	仕様	数量
・ステンレス製 ・アルミニウム製 ・鋼製	・350角 ・400角 ・450角 ・500角 ・600角	・グレーチング ※ 縞目　・ 普通目 ・縞鋼板（SS400）	※ ステンレス製 ・アルミニウム製	・ノンスリップ ・	

個所数　※ 図面表示による　・上表による

72. 鋳鉄製マンホール
屋内の鋳鉄製マンホールふた

施工箇所	形式	適用荷重	備考	数量
・各種水槽	・中蓋付密閉型 ※ 密閉型（ﾃｰﾊﾞｰ・ﾊﾞｯｷﾝ式） ・簡易気密型（パッキン式）	・T-2用 ※ T-6用	ボルト固定型 文字入り	
・蓄熱槽	※ 蓄熱槽用（断熱型）密閉型	・T-2用 ※ T-6用	ボルト固定型 文字入り	

個所数　※ 図面表示による　・上表による

73. 鋼製書架及び物品棚

種類	規格等	耐荷重による種類
・鋼製書架	JIS S 1039の規格による	水平荷重Ⅰ又は水平荷重Ⅱ
・鋼製物品棚	JIS S 1040の規格による	※ １種　・２種　・３種

製造所

● 74. 造作家具
合板類、ＭＤＦ及びパーティクルボード、接着剤等のホルムアルデヒドの放散量　(12.2.2)
※ Ｆ☆☆☆☆　・Ｆ☆☆☆　(19.7.2)

75. かぎ箱
市販品　形式　・30組用　・60組用　・120組用　・200組用
キープラン、室名札付とする　箇所数：　箇所
製造所（製品名）

76. くつふきマット
市販品　材質　・塩化ビニル製（コイル状ステンレス製受枠）　・硬質アルミニウム製（受枠とも）
・ビニル製（ステンレス製受枠）　・ステンレス製（受枠とも）
製造所（製品名）

77. 郵便受箱
市販品　（　・埋込型　・壁付型　・自立型　）
材質　※ ステンレス製　・
大きさ及び戸数等
製造所（製品名）

78. 新聞受
市販品
材質　※ ステンレス製　・
大きさ及び戸数等
製造所（製品名）

79. 傘立て
箇所数：　箇所
製造所（製品名）

80. 誘導用及び注意喚起用床材（視覚障害者用誘導床材）
屋内
- ・塩化ビニル製（ ・シート・鋲 ）　・磁器又はせっ器質タイル（ ※ 300 ・　）
- ・レジンコンクリート製　・ステンレス鋲

屋外
- ・レジンコンクリート製　・磁器又はせっ器質タイル（ ※ 300 ・　）
- ・花こう岩　・ステンレス鋲

81. フェンス
- ・格子型　高さ(mm)　・600　・900　・1,200　・
  製造所名（製品名）
- ・網型　高さ(mm)　・800　・900　・1,000　・1,200　・1,500　・1,800
  製造所名（製品名）

82. 車止め支柱及び車止め等
車止め支柱（上下式）　・ステンレス製（上下式鎖内蔵型）　径 114.3mm　t=2.5mm　H=GL+700mm
※ スプリング付　・スプリング無
製造所（製品名）

車止め支柱（一般）　・ステンレス製　・スチール製　・アルミ製　・擬石
・固定式　・差込式　・差込式かぎ付
寸法
製造所（製品名）

車止め（アーチ型）　・ステンレス製　・スチール製　・
・固定式　・差込式　・差込式かぎ付
寸法
製造所（製品名）

タイヤ止め　・PC既製品　・樹脂製　・
製造所（製品名）

83. 避難器具

避難器具の種類	・仕様等		箇所数	（製品名）
・避難はしご	・一般型	（格納箱　※ ステンレス製 ） （格納箱　・鋼製焼付塗装 ）		
	・避難ハッチ式 （ ※ ステンレス製　・鋼製焼付塗装 ） （ ・スラブ型　二重天井型　） （ ※ 上階操作　・上下階操作　）			
・緩降機				
・救助袋	・垂直式 ・斜降式	（格納箱　※ ステンレス製 ） （格納箱　・鋼製焼付塗装 ）		
	・避難ハッチ式 （ ※ ステンレス製　・鋼製焼付塗装 ）			
・				

84. 消火器ボックス
・全埋込型　・半埋込型　・露出型
材質　※ 電気亜鉛めっき表面処理鋼板加工合成樹脂調合ペイント仕上
・
箇所数：　箇所　製造所（製品名）

85. 硬質樹脂系保護シート
厚さ(mm)　・1.0　・1.2　・1.5　・2.0
製造所（製品名）

● 9.環境配慮改修工事

1. 一般事項
除去工事
共通事項
石綿粉じん濃度測定　※ 行う　[9.1.1]
測定室　・図示
測定点　・図示
[9.1.1]及び[9.1.2]による他、関係法令及び関係条例に定める方式により測定する　[9.1.1]
除去工事を行う当該建物の敷地境界において、規制のある場合はその規定に従う
石綿作業主任者は、資格証明書の写しに工事履歴書を添付して監理者に提出し、承諾を受ける　[9.1.2]

2. 石綿含有吹付け材・石綿含有保温材等の除去工事
石綿含有吹付け材・石綿含有保温材等の石綿含有建材除去処理後の機能回復工事　※ 図示　[9.1.3][9.1.4]

● 3. 石綿含有成形板等の除去工事
処理を行う石綿含有成形板等の仕様等　[9.1.5]

材料名	厚さ(mm)	処理を行う範囲
ビニル床シート	2	床材撤去範囲

4. 外断熱改修工事
断熱材の種類　[9.2.2]

材料名	厚さ(mm)
・ビーズ法ポリスチレンフォーム　・押出法ポリスチレンフォーム ・硬質ウレタンフォーム　・フェノールフォーム ・ロックウール　・グラスウール	

外装材の種類　[9.2.2]

・	防火性能	

既存外壁の仕上材の撤去　・有り　・なし　[9.2.3]
下地面の清掃及び下地調整　※ 断熱材製造所の指定する仕様
・
通気層　・有り(　mm)　・なし　[9.2.4]
試験施工、工法及び品質は、確認できる資料を提出し監理者の承諾を受ける
特記無き事項は、製造所の仕様による

● 10.医療施設工事

● 1. ストレッチャーガード
※ 既製品　型式
・特注品
抗菌仕様　・有り　・無し
製造所（製品名）ナカ工業（セフティーラインNS-150V）同等品

2. 点滴フック及び点滴レール
製造所（製品名）

3. 医療パネル
製造所（製品名）

4. 床頭ロッカー
製造所（製品名）

5. 床頭台
製造所（製品名）

● 6. 医療コンソール
製造所（製品名）セントラルユニ同等品

株式会社 伊藤喜三郎建築研究所
一級建築士事務所
東京都知事登録番号　第2215号
設 計 者　赤岩重信
一級建築士登録番号　第281032号

設 計 者
総括責任者 赤岩重信 一級建築士 第281032号
担当者 山寺美和子 一級建築士 第309931号
担当者 山寄興 一級建築士 第364029号
担当者 山本哲也 一級建築士 第333043号
担当者 大室真悟 一級建築士 第386799号
担当者 岡澤加代子 一級建築士 第348007号

件名	横浜市立大学附属病院重症系病床改修工事（建築工事）
Job-No.	22060
図名	改修特記仕様書－5　（令和４年版）
縮尺	—
日付	2023/06/30（令和5年）
意匠	5

伊 藤 喜 三 郎 建 築 研 究 所

項目 ＼ 工事	建築	電気	衛生	空調	昇降機				別途	備考
負担金等										
負担金（工事用以外のもの）										
イ．　電気引込	・	・	・	・	・				※	
ロ．　水道引込	・	・	・	・	・				※	
ハ．　下水道接続	・	・	・	・	・				※	
ニ．　ガス引込	・	・	・	・	・				※	
引渡しまでの各種料金（基本料金、使用料金共）										
イ．　給水	※	※	※	※	※				・	各工事別とする
ロ．　ガス	※	※	※	※	※				・	各工事別とする
ハ．　電気	※	※	※	※	※				・	各工事別とする
ニ．　油	※	※	※	※	※				・	各工事別とする
公害調査費及び対策費（工事に関する以外のもの）	・	・	・	・	・				※	
電波受信障害調査費及び対策工事費	・	・	・	・	・				※	
屋外・工作物等										
門扉、囲障	※	・	・	・	・				・	
植樹	※	・	・	・	・				・	
舗装	※	・	・	・	・				・	
擁壁	※	・	・	・	・				・	
ゴミ集積所	※	・	・	・	・				・	
ゴミ焼却炉	※	・	※	・	・				・	焼却炉本体及び据付は衛生工事
屋外貯油槽										
イ．　外郭躯体及び乾燥砂、マンホール	※	・	・	・	・				・	
ロ．　オイルタンク	・	・	・	※	・				・	
ハ．　タンクの据付	・	・	・	※	・				・	
煙　突	※	・	・	・	・				・	
給気塔・排気塔及びコンクリート風道	※	・	・	・	・				・	
ガスガバナー棟	※	・	・	・	・				・	
医療ガスボンベ棟	※	・	・	・	・				・	
コンクリート槽・溝等										
雑用受水槽	※	・	・	・	・				・	点検口、タラップを含む
湧水槽・雨水槽	※	・	・	・	・				・	点検口、タラップを含む
汚水槽・雑排水槽・化学排水槽	※	・	・	・	・				・	点検口、タラップを含む
発電機用冷却水槽	※	・	・	・	・				・	点検口、タラップを含む
コンクリート槽の釜場	※	・	・	・	・				・	
コンクリート槽の通気口、通水口、連通口等	※	・	・	・	・				・	
コンクリート製ポーチ	※	・	・	・	・				・	
コンクリート製グリーストラップ	※	・	・	・	・				・	
既製グリーストラップ	・	・	※	・	・				・	
コンクリート製ガソリントラップ	※	・	・	・	・				・	
ドライエリア、サービスコートの排水溝及び泥溜桝	※	・	・	・	・				・	
駐車場、スロープ等の排水溝及び泥溜桝	※	・	・	・	・				・	
屋内排水溝及び蓋	※	・	・	・	・				・	
各種トレンチピット及び点検口	※	・	・	・	・				・	
設備機器の基礎等										
屋内設備の基礎（建築図にあるもの）	※	・	・	・	・				・	
屋内設備の基礎（建築図にないもの）	・	※	※	※	※				・	各工事別とする
屋上設備の基礎（架台、アンカーボルトを除く）	※	・	・	・	・				・	
屋外設備の基礎（架台、アンカーボルトを除く）	※	・	・	・	・				・	
機器取付け架台、アンカーボルト	・	※	※	※	※				・	各工事別とする
機械室、厨房等の配管用増打コンクリート	※	・	・	・	・				・	
各種設備機器設置のための吊フック	※	・	・	・	・				・	
医療機器用アンカーボルト及び金物の取付	※	・	・	・	・				※	図示あるものは建築工事
医療機器用基礎及び仕上	※	・	・	・	・				※	図示あるものは建築工事
S・SRC・RC造の貫通穴・開口部										
鉄骨部の鋼管スリーブ	※	・	・	・	・				・	
貫通穴のスリーブ	※	※	※	※	※				・	各工事別とする
開口部の型枠	※	※	※	※	※				・	各工事別とする
上記３行の補強	※	・	・	・	・				・	
貫通孔・開口部の墨出し	※	※	※	※	※				・	各工事別とする
貫通穴のスリーブ空隙及び予備貫通穴の充填	※	※	※	※	※				・	各工事別とする
外壁貫通スリーブの防水	※	※	※	※	※				・	各工事別とする

項目 ＼ 工事	建築	電気	衛生	空調	昇降機				別途	備考
ボード等の貫通口・開口部及び吊ボルトインサート										
ＡＬＣパネル等を貫通する配管配線のｸﾞﾘ明け	※	※	※	※	※				・	各工事別とする
ＰＣ板を貫通する配管配線のｸﾞﾘ明け	※	・	・	・	・				・	
壁・天井の軽量鉄骨下地の開口補強	※	・	・	・	・				・	
壁、天井ボード類の切込み	※	・	・	・	・				・	位置出しは各工事別とする
既製間仕切壁等の切込み及び補強	※	・	・	・	・				・	
設備機器・器具・配管・配線用	・	※	※	※	・				・	各工事別とする
給排水その他設備										
雨水用ドレイン及び配管	※	・	・	・	・				・	インサートを含む
フロアードレイン	・	・	※	・	・				・	
屋外雨水排水設備	※	・	・	・	・				・	
雨水第１桝	※	・	・	・	・				・	
屋外雑排水及び汚水排水設備	・	・	※	・	・				・	
同上ます及びますぶた	・	・	※	・	・				・	
浄化槽	・	・	※	・	・				・	点検口、タラップを含む
消防用水槽	※	・	・	・	・				・	点検口、タラップを含む
ＲＩ排水貯留槽	・	・	※	・	・				・	点検口、タラップを含む
電気										
自家発電機用排気筒（横引）	・	※	・	・	・				・	
自家発電機用冷却装置	・	※	・	・	・				・	
自家発電機用冷却装置の一時側給水管、排水管	・	・	※	・	・				・	
自家発電機燃焼用の給排気設備	・	※	・	・	・				・	
自家発電機用給油設備（屋外オイルタンクよりサービスタンク迄）	・	・	・	※	・				・	サービスタンクより発電機までの配管は電気工事
ボイラー操作盤及び二次側配管配線	・	・	・	※	・				・	
冷凍機用動力操作盤及び二次側配管配線	・	・	・	※	・				・	
パッケージ型空調用手元開閉器並に配管配線	・	※	・	・	・				・	
電動シャッター、自動扉の操作盤、押釦取付及び二次側配管配線	※	・	・	・	・				・	
水中ポンプ及びケーブル、電極の取付	・	・	※	・	・				・	
同上制御盤への接続	・	※	・	・	・				・	
映像情報装置	・	・	・	・	・				※	
視聴覚装置及び関連機器	・	・	・	・	・				※	
スタジオ用関係機器	・	・	・	・	・				※	
コンピュータ関連機器及び専用電源	・	・	・	・	・				※	
ページング装置（携帯用受信機共）	・	・	・	・	・				※	
電話交換装置	・	・	・	・	・				※	
防災										
防火戸										
イ．　防火戸閉鎖装置	※	・	・	・	・				・	
ロ．　連動制御装置、煙感知器の取付及配線	・	※	・	・	・				・	
防火シャッター										
イ．　シャッター閉鎖装置	※	・	・	・	・				・	
ロ．　連動制御装置、煙感知器	・	※	・	・	・				・	
防煙垂れ壁										
イ．　防煙垂れ壁閉鎖装置	※	・	・	・	・				・	
ロ．　連動制御装置、煙感知器	・	※	・	・	・				・	
防煙ダンパー										
イ．　ダンパー閉鎖装置（ＳＦＤ）	・	・	・	※	・				・	
ロ．　連動制御装置、煙感知器	・	※	・	・	・				・	
排煙口（機械排煙）										
イ．　排煙口開閉装置	・	・	・	※	・				・	
ロ．　手動の操作箱	・	・	・	※	・				・	遠隔操作及び開閉表示は電気工事
防犯監視設備	・	・	・	・	・				※	
電気錠	※	・	・	・	・				・	一次側電源供給は電気工事

項目 ＼ 工事	建築	電気	衛生	空調	昇降機				別途	備考
制御										
空調用自動制御機器	・	・	・	※	・				・	
同上配管配線	・	・	・	※	・				・	
同上電源供給	・	※	・	・	・				・	
中央監視										
イ．　電気	・	※	・	●	・				・	
ロ．　空調	・	※	・	●	・				・	
ハ．　衛生	・	※	・	●	・				・	
ニ．　防災	・	※	・	・	・				・	
ホ．　ガス警報	・	※	・	・	・				・	
ヘ．　昇降機	・	・	・	・	※				・	
ト．　搬送	・	・	・	・	・				・	搬送工事とする
各制御盤遠方監視及び操作制御	・	・	・	※	・				・	
動力制御インターロック	・	※	・	●	・				・	
中央監視装置利用のインターロック	・	※	・	●	・				・	
天井吊ファンコイルの手元制御用配管配線	・	・	・	※	・				・	
動力制御盤と中央監視リモート盤間配管配線	・	・	・	※	・				・	
昇降機										
エレベーター三方枠、幕板	・	・	・	・	※				・	
エレベーター化粧枠・化粧幕板	※	・	・	・	・				・	
エレベーター中間ビーム	※	・	・	・	・				・	
エレベーター用吊フック	※	・	・	・	・				・	
エレベーター用インターホン及び監視テレビ	・	・	・	・	※				・	昇降路内の配管配線は昇降機工事
同上昇降路外の配管配線	・	※	・	・	・				・	
エレベーターピット内タラップ	※	・	・	・	・				・	
エレベーターピット内コンセント	・	※	・	・	・				・	
中央監視運行表示板	・	・	・	・	※				・	
地震感知器から制御盤までの配管配線	・	・	・	・	※				・	
器具										
造作流し（排水トラップ付）	※	・	・	・	・				・	水栓、配管接続は衛生工事
既製流し（排水トラップ付）	※	・	・	・	・				・	水栓、配管接続は衛生工事
陶製流し（排水トラップ付）	・	・	※	・	・				・	
洗面化粧台（既製品）	・	・	※	・	・				・	
洗面カウンター（切込みを含む）	※	・	・	・	・				・	器具、水栓、配管接続は衛生工事
洗面器一体型カウンター（排水トラップ付、取付を含む）	※	・	・	・	・				・	水栓取付は衛生工事
コンクリート製流し	※	・	・	・	・				・	
同上水栓目回、排水トラップ及び配管接続	・	・	※	・	・				・	
ユニットバス本体及び据付	※	・	・	・	・				・	配管配線の接続は各設備工事
浴槽（フタ付）本体及び据付	※	・	・	・	・				・	配管配線の接続は各設備工事
ユニットシャワー本体及び据付	※	・	・	・	・				・	配管配線の接続は各設備工事
鏡	※	・	・	・	・				・	
化粧棚	※	・	・	・	・				・	
厨房器具	・	・	・	・	・				※	
厨房用プレハブ冷蔵室、冷凍室	・	・	・	・	・				※	
システムキッチン	※	・	・	・	・				・	配管配線の接続は各設備工事
ミニキッチン	※	・	・	・	・				・	配管配線の接続は各設備工事
洗濯機用防水パン（排水トラップ付）	※	・	・	・	・				・	接続は衛生工事
ウォータークーラー	・	・	※	・	・				・	据付及び二次側配管共一次側電源供給は電気工事
各種自動販売機	・	・	・	・	・				※	据付及び二次側配管共
避難器具	※	・	・	・	・				・	
排気扇及びウェザーカバー	・	・	・	※	・				・	
同上取付枠及び穴明け	※	・	・	・	・				・	
消火器ボックス	※	・	・	・	・				※	壁埋込型は建築工事
消火器	・	・	・	・	・				※	
壁掛大便器取付スタンド	・	・	※	・	・				・	

項目 ＼ 工事	建築	電気	衛生	空調	昇降機				別途	備考
その他										
点検口（床、天井、シャフト等）	※	・	・	・	・				・	
外壁取付ガらり（防虫網共）	※	・	・	・	・				・	
同上ダンパ（ＦＤ）	※	・	・	・	・				・	
外壁取付ダクト接続用がらり（防鳥網共）	※	・	・	・	・				・	
同上ダンパ（ＦＤ）	・	・	・	※	・				・	
アコーディオンカーテン	※	・	・	・	・				・	
ブラインド	・	・	・	・	・				※	
カーテン、暗幕	・	・	・	・	・				※	
カーテンボックス及びブラインドボックス	※	・	・	・	・				・	
カーテンレール	※	・	・	・	・				・	
ファンコイルカバー	※	・	・	・	・				・	
フリーアクセスフロアー	※	・	・	・	・				・	
電動ラック、移動棚等	・	・	・	・	・				※	
サイン（室名表示、階段表示、案内板等）	※	・	・	・	・				・	
サイン内部照明	※	・	・	・	・				・	配管配線の接続は電気工事
自動ドア	※	・	・	・	・				・	一次側電源供給は電気工事
床の開口および補強	※	・	・	・	・				・	
医療機器等										
蒸溜水製造装置	・	・	・	・	・				※	
純水製造装置	・	・	・	・	・				※	
滅菌水製造装置	・	・	・	・	・				※	
人工透析装置及び二次側配管配線	・	・	・	・	・				※	一次側給水バルブ止め・排水プラグ止めは衛生工事
ＲＩ用各モニター	・	・	・	・	・				※	
同上二次側配管配線	・	・	・	・	・				※	
医療用プレハブ冷蔵室、冷凍室	・	・	・	・	・				※	
屍体用冷蔵庫、保存庫	・	・	・	・	・				※	
一般ペット用設備ユニット	※	・	・	・	・				・	
ＩＣＵ用医療パネル	・	・	・	・	・				※	
オートクレーブ	・	・	・	・	・				※	
手術用手洗器	・	・	・	・	・				※	
煙器消毒器	・	・	・	・	・				※	
歯科用コンプレッサー	・	・	・	・	・				※	
同上二次側エア配管、及び電源	・	・	・	・	・				※	
ドラフトチャンバーの排気処理装置	・	・	・	・	・				※	
自動現像装置及びミキシングバルブ、流量計、フィルター	・	・	・	・	・				※	
水治療用特殊浴槽	・	・	・	・	・				※	
暗室用特殊照明	・	※	・	・	・				・	
手術室、分娩室の壁埋込医療機器	※	・	・	・	・				・	壁切込み開口補強は建築工事
手術室、分娩室の無影灯	・	・	・	・	・				※	埋込ベースプレートは建築工事
手術室、分娩室のシーリングコラム	・	・	・	・	・				※	埋込ベースプレートは建築工事
バイオクリーンルーム（ＣＬＡＳＳ　　）	・	・	・	・	・				※	
シールド室内装										
放射線シールド	※	・	・	・	・				・	
電磁波シールド	※	・	・	・	・				・	
電波シールド	※	・	・	・	・				・	但し、室内置型のものは別途
防音室内装	※	・	・	・	・				・	但し、室内置型のものは別途
エアーシャワー	・	・	・	・	・				※	
パスボックス	・	・	・	・	・				※	
Ｘ線室　天井走行レール	・	・	・	・	・				※	埋込ベースプレートは建築工事
点滴レール	※	・	・	・	・				・	
点滴フック	※	・	・	・	・				・	
上記以外の別途工事となる各種医療機器本体及び据付	・	・	・	・	・				※	
同上二次側配管、配線、ダクト	・	・	・	・	・				※	
各種医療機器一次側配管立上り、立下り（バルブ止め）	・	・	※	※	・				・	
同上トラップ	・	・	※	・	・				・	
同上電源、手元スイッチ	・	※	・	・	・				・	
一次側ダクト立下り（ダンパー止め）	・	・	・	※	・				・	
ドラフトチャンバー	・	・	・	・	・				※	
同上二次側配管、配線、ダクト	・	・	・	・	・				※	
安全キャビネット	・	・	・	・	・				※	
同上二次側配管、配線、ダクト	・	・	・	・	・				※	
クリーンベンチ	・	・	・	・	・				※	
同上二次側配管、配線	・	・	・	・	・				※	
同上二次側配管、配線	・	・	・	・	・				※	
HCU医療コンソール	●	・	・	・	・				・	医療ｺﾝｿｰﾙへの器具および取付は各工事別とする

（注）表中の●印を付したものを適用し、各工事負担とする。
●の付かない場合は、※印付いたものを適用し、各工事負担とする。
●印と◎印の付いた場合は、共に適用し、各工事負担とする。

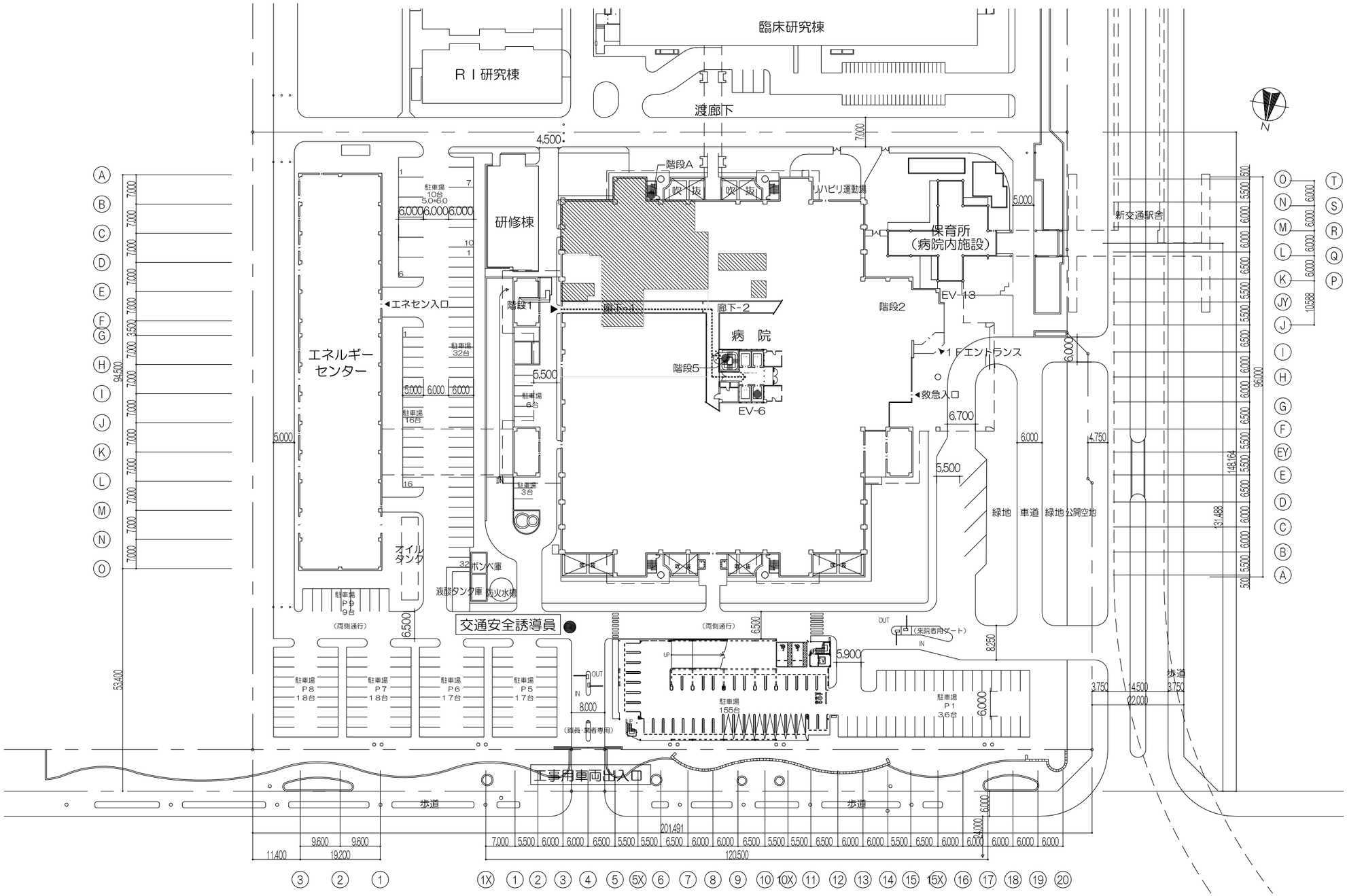
株式会社　伊藤喜三郎建築研究所
一級建築士事務所
東京都知事登録番号　第2215号
設　計　者　赤岩重信
一級建築士登録番号　第281032号

設　計　者

総括責任者	担当者	担当者	担当者	担当者
赤岩重信 一級建築士 第281032号	山寺美和子 一級建築士 第309931号	山嶋舞 一級建築士 第364029号	山本哲也 一級建築士 第333045号	大室真悟 一級建築士 第380739号
担当者 岡澤加代子 一級建築士 第349007号				

件名	横浜市立大学附属病院重症系病床改修工事（建築工事）
図名	工事区分表
縮尺	―
日付	2023/06/30（令和5年）
Job-No.	22060
	意匠
	6

伊藤喜三郎建築研究所



【凡例】

● ：工事搬入用階段およびEV位置を示す

------→ ：工事搬入ルート

▨ ：今回工事範囲を示す

【特記事項】

1. 工事用車両は敷地北側ゲートを使用し、搬入用ルートは病院の運用に支障がないように協議して進める。
2. 工事用車両駐車スペース・資材置き場等については、病院側と協議の上場所を決定する。
3. 交通安全誘導員は、工事期間中の平日日中に配置する事とする。

株式会社 伊藤喜三郎建築研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録番号 第2215号 設計者 赤岩重信 一級建築士登録番号 第281032号	設計者 総括責任者 赤岩重信 一級建築士 第281032号	担当者 山寺美和子 一級建築士 第309931号	担当者 山巻潤 一級建築士 第364029号	担当者 山本哲也 一級建築士 第333045号	担当者 大家真悟 一級建築士 第380799号	件名 横浜市立大学附属病院重症系病床改修工事（建築工事） Job-No. 22060
	担当者 岡澤加代子 一級建築士 第348007号					図名 配置図 意匠
						縮尺 R 1/500(A1),1/1000(A3) 日付 2023/06/30（令和5年） 07
						伊藤喜三郎建築研究所

表示略号

部位	表示略号	表示事項
一般事項	PRF	塔屋屋上階
	P1F	塔屋1階
	RF	屋上階（塔屋のないもの）
	MF	中2階
	1F	1階
	B1F	地下1階
	BM	ベンチマーク
	GL	基準地盤面
	SL	躯体床面
	FL	基準床仕上面
	CH	天井高さ
	PS	パイプスペース
	DS	ダクトスペース
	EPS	電気配線スペース
	CS	搬送設備スペース
	CH	煙突
	EV	エレベーター
	ESC	エスカレーター
	DW	小荷物専用昇降機
	RC	鉄筋コンクリート
	NRC	無筋コンクリート　溶接金網6φ@100
	CB	コンクリートブロック
	ALC	軽量気泡コンクリートパネル
	ECP	押出成形セメント板
	LGS	軽量鉄骨下地
	W	幅
	L	長さ
	H、h	高さ
	D、d	奥行、直径
	φ	直径
	R、r	半径
	℄	センターライン
	@	間隔
	t、厚	厚さ
床・幅木・壁・天井	VS（ ）	ビニル床シート
	VS-E	ビニル床シート（帯電防止）
	VT（ ）	ビニル床タイル
	VT-E	ビニル床タイル（帯電防止）
	RS（ ）	ゴム床シート
	RT	ゴム床タイル
	LS（ ）	天然リノリウム床シート
	VB	ビニル系軟質幅木
	VB-F	ビニル系半硬質幅木
	VB-H	ビニル系硬質幅木
	CPT	カーペット
	CPT（T）	タイルカーペット
	FAF（ ）	フリーアクセスフロアー
	TL	タイル
	MTL	モザイクタイル
	GB-R	せっこうボード
	GB-S	シージングせっこうボード
	GB-F	強化ぜっこうボード
	GB-H	硬質ぜっこうボード
	GB-L	せっこうラスボード
	GB-NC	不燃積層せっこうボード（模様なし）
	GB-NC（T）	不燃積層せっこうボード（トラバーチン）
	GB-D（T）	化粧せっこうボード（トラバーチン）
	GB-D（W）	化粧せっこうボード（木目模様）
	GB-P	吸音用穴あきせっこうボード
	0.8FK	けい酸カルシウム板（無石綿）
	FK-P	吸音用穴あきけい酸カルシウム板（無石綿）
	FK-C	化粧けい酸カルシウム板（無石綿）
	FK-G	施釉硬質けい酸カルシウム板（無石綿）
	FK-D	ダップポストフォームけい酸カルシウム板（無石綿）
	フレキ板	フレキシブル板（無石綿）
	DR	ロックウール化粧吸音板
	DR(凹凸)	ロックウール化粧吸音板（立体模様）
	DR(軒天)	ロックウール化粧吸音板（軒天用）
	DR(軒天凹凸)	ロックウール化粧吸音板（立体模様）（軒天用）
	RW-B	ロックウール吸音ボード
	RW-F	ロックウール吸音フェルト
	GW-B	グラスウール吸音ボード
	GW-F	グラスウール吸音フェルト
	MDF	ミディアムデンシティーファイバーボード
	HW	硬質木毛セメント板
	NW	普通木毛セメント板
	W（A）	天然木化粧合板
	W（B）	不燃天然木化粧板
	VC（ ）	壁紙
	RC（面）	床：コンクリート直均し仕上げ 標仕表6.2.5による
	RC（ ）	壁、天井：コンクリート打放し（種別） （ ）の記載がない場合は、 コンクリート打ちのままとする 標仕表6.2.4による

部位	表示略号	表示事項
塗装	SOP	合成樹脂調合ペイント塗り
	CL	クリアラッカー塗り
	NAD	アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り
	DP	耐候性塗料塗り
	DP（ふっ素）	耐候性塗料塗り（ふっ素樹脂）
	DP（ｼﾘｺｰﾝ）	耐候性塗料塗り（シリコーン樹脂）
	DP（ｳﾚﾀﾝ）	耐候性塗料塗り（ポリウレタン樹脂）
	EP-G	つや有合成樹脂エマルションペイント塗り
	EP	合成樹脂エマルションペイント塗り
	EP-T	合成樹脂エマルション模様塗料塗り
	UC	ウレタン樹脂ワニス塗り
	LE	ラッカーエナメル塗り
	WP	木材保護塗料塗り
	OS	オイルステイン塗り
	防塵	防塵用塗料塗り
	RPP	放射線散乱防護塗料塗り
その他	PF	押出法ポリスチレンフォーム保温板
	A	アルミニウム押出型材
	V	ビニル
	M	モルタル金鏝
	m	タイル下地モルタル
	AS防（ ）	アスファルト防水（種別）
	M防	モルタル防水
	CR	カーテンレール天井直付け
	CR（吊）	カーテンレール天井吊付け
	AC	アコーディオンカーテン
	PR	ピクチャーレール
	BX	カーテンボックス及びブラインドボックス
	LD	洗面化粧台
	L	手洗い（設備工事）
	SK	掃除流し、汚物流し（設備工事）
	UBT	ユニットバストイレ
	US	ユニットシャワー
	UT	ユニットトイレ
	UST	ユニットシャワートイレ
	UB	ユニットバス
	RD	ルーフドレイン
	RDB	バルコニー用ドレイン
	RDR	バルコニー中継用ドレイン
	D	縦樋
	GR	点滴レール
	GH	点滴フック
	HPS	硬質樹脂系保護シート
	W	製材
	WL	造作用集成材
	WL（化）	化粧ばり造作用集成材
	WLP（化）	化粧ばり構造用集成柱
	MDF（化）	化粧張りMDF
	LVL	造作用単板積層材

撤去

階	室名	床 スラブ高 特記以外はFL-10	床 下地	床 仕上	床 仕上高 特記以外はFL±0	幅木・腰・壁・柱型 幅木 特記以外はH=100	幅木・腰・壁・柱型 下地	幅木・腰・壁・柱型 仕上 腰壁：特記以外はH=1,100	天井 見切	天井 下地	天井 仕上	天井 天井高	備考
4階	看護師控室	-20	RC（直） 【既存のまま】	VS 【撤去】		VB H=75 【撤去】	GB-R+GB-R 【一部撤去】	VC 【撤去】	V 【撤去】	GB-R 【撤去】	DR 【撤去】	2,500	流し台【撤去】 吊戸棚【撤去】 ライニング【撤去】
	廊下-3	-20	RC（直） 【既存のまま】	VS 【一部撤去】		VB H=75 【一部撤去】	GB-R+GB-R 【一部撤去】	VC 【一部撤去】	V 【一部撤去】	GB-R 【一部撤去】	DR 【一部撤去】	2,400	
	会議室5	-20	RC（直） 【既存のまま】	VS 【撤去】		VB H=75 【撤去】	GB-R+GB-H 【既存のまま】	VC 【撤去】	V 【一部撤去】	GB-R 【撤去】	DR 【撤去】	2,500	流し台【撤去】 吊戸棚【撤去】 ライニング【撤去】
	HCUナースステーション	-20	RC（直） 【既存のまま】	VS 【一部撤去】		VB H=75 【一部撤去】	GB-R+GB-R 【既存のまま】	VC 【一部撤去】	V 【既存のまま】	GB-R 【既存のまま】	DR 【既存のまま】	2,700	造作カウンター【撤去】
	HCU-2	-20	RC（直） 【既存のまま】	VS 【撤去】		VB H=75 【撤去】	GB-R+GB-H 【一部撤去】	VC 【撤去】	V 【一部撤去】	GB-R 【一部撤去】	DR 【一部撤去】	2,500	ライニング【既存のまま】 CR【撤去】 医療コンソール【一時撤去】
	CCU-1	-20	RC（直） 【既存のまま】	VS 【一部撤去】		VB H=75 【既存のまま】	GB-R+GB-R 【既存のまま】	VC 【既存のまま】	V 【一部撤去】	GB-R 【一部撤去】	DR 【一部撤去】	2,700	簡易トイレ【撤去】 流し台【撤去】 ライニング【撤去】
	CCU-2	-20	RC（直） 【既存のまま】	VS 【一部撤去】		VB H=75 【既存のまま】	GB-R+GB-R 【既存のまま】	VC 【既存のまま】	V 【一部撤去】	GB-R 【一部撤去】	DR 【一部撤去】	2,700	流し台【撤去】 ライニング【撤去】
	CCU-3	-20	RC（直） 【既存のまま】	VS 【一部撤去】		VB H=75 【既存のまま】	GB-R+GB-R 【既存のまま】	VC 【既存のまま】	V 【一部撤去】	GB-R 【一部撤去】	DR 【一部撤去】	2,700	流し台【撤去】 ライニング【撤去】
	CCU-4	-20	RC（直） 【既存のまま】	VS 【一部撤去】		VB H=75 【既存のまま】	GB-R+GB-R 【既存のまま】	VC 【既存のまま】	V 【一部撤去】	GB-R 【一部撤去】	DR 【一部撤去】	2,700	流し台【撤去】 ライニング【撤去】
	救急病室2	-20	RC（直） 【既存のまま】	VS 【撤去】		VB H=75 【撤去】	GB-R+GB-H 【一部撤去】	VC 【撤去】	V 【撤去】	GB-R 【撤去】	DR 【撤去】	2,600	可動間仕切り【既存のまま】 CR【撤去】 医療コンソール【一部撤去】
	監視スペース （CCU）	-20	RC（直） 【既存のまま】	VS 【撤去】		VB H=75 【撤去】	GB-R+GB-R 【既存のまま】	VC 【撤去】	V 【撤去】	GB-R 【撤去】	DR 【撤去】	2,700	造作カウンター【撤去】
	準備コーナー1	-20	RC（直） 【既存のまま】	VS 【撤去】		VB H=75 【撤去】	GB-R+GB-R 【一部撤去】	VC 【撤去】	V 【撤去】	GB-R 【撤去】	DR 【撤去】	2,700	可動間仕切り【撤去】
	準備コーナー2	-20	RC（直） 【既存のまま】	VS 【撤去】		VB H=75 【撤去】	GB-R+GB-R 【一部撤去】	VC 【撤去】	V 【撤去】	GB-R 【撤去】	DR 【撤去】	2,700	可動間仕切り【撤去】防煙垂れ壁【撤去】 消火用散水栓【既存のまま】 流し台【撤去】　吊戸棚【撤去】
	監視スペース （救急病室）	-20	RC（直） 【既存のまま】	VS 【撤去】		VB H=75 【撤去】	GB-R+GB-R 【一部撤去】	VC 【撤去】	V 【撤去】	GB-R 【撤去】	DR 【撤去】	2,600	消火用散水栓・ライニング【既存のまま】 造作カウンター【撤去】防煙垂れ壁【撤去】 造作棚【撤去】　ライニング【撤去】
	器材及び準備コーナー	-20	RC（直） 【既存のまま】	VS 【撤去】		VB H=75 【撤去】	GB-R+GB-H 【一部撤去】	VC 【撤去】	V 【撤去】	GB-R 【撤去】	DR 【撤去】	2,600	流し台【撤去】　吊戸棚【撤去】 ライニング【撤去】 CR【撤去】
	Dr.記録　カンファレンス	-20	RC（直） 【既存のまま】	VS 【撤去】		VB H=75 【撤去】	GB-R+GB-R 【撤去】	VC 【撤去】	V 【撤去】	GB-R 【撤去】	DR 【撤去】	2,600	可動間仕切り【撤去】
	WC2	-20	RC（直） 【既存のまま】	VS 【撤去】		VB H=75 【撤去】	GB-R+GB-R 【撤去】	VC 【撤去】	V 【撤去】	GB-R 【撤去】	DR 【撤去】	2,500	続【撤去】 ライニング【撤去】
	洗浄室	-20	RC（直） 【既存のまま】	VS 【撤去】		VB H=75 【撤去】	GB-R+GB-R 【撤去】	VC 【撤去】	V 【撤去】	GB-R 【撤去】	DR 【撤去】	2,500	流し台【撤去】 吊戸棚【撤去】 ライニング【撤去】
	器材庫1	-20	RC（直） 【既存のまま】	VS 【撤去】		VB H=75 【撤去】	GB-R+GB-R 【一部撤去】	VC 【撤去】	V 【撤去】	GB-R 【撤去】	DR 【撤去】	2,500	
	WC1	-20	RC（直） 【既存のまま】	VS 【撤去】		VB H=75 【撤去】	GB-R+GB-R 【撤去】	VC 【撤去】	V 【撤去】	GB-R 【撤去】	GB-NC(T) 【撤去】	2,500	手摺【撤去】　続【撤去】 ライニング【撤去】 造作棚【撤去】
	器材庫2	-20	RC（直） 【既存のまま】	VS 【撤去】		VB H=75 【撤去】	GB-R+GB-R 【撤去】	VC 【撤去】	V 【撤去】	GB-R 【撤去】	DR 【撤去】	2,600	CR【撤去】
	前室3	-20	RC（直） 【既存のまま】	VS 【撤去】		VB H=75 【撤去】	GB-R+GB-R 【撤去】	VC 【撤去】	V 【撤去】	GB-R 【撤去】	DR 【撤去】	2,500	

新設

階	室名	床 スラブ高 特記以外はFL-10	床 下地	床 仕上	床 仕上高 特記以外はFL±0	幅木・腰・壁・柱型 幅木 特記以外はH=100	幅木・腰・壁・柱型 下地	幅木・腰・壁・柱型 仕上 腰壁：特記以外はH=1,100	天井 見切	天井 下地	天井 仕上	天井 天井高	備考
	デイルーム	-20	RC（直） 【補修】	VS 【新設】		VB H=75 【新設】	GB-R+GB-R 【一部新設】	VC 【新設】	V 【新設】	GB-R 【新設】	DR 【新設】	2,500	繕【新設】ライニング【新設】 壁の下地・仕上及び巾木を新設【新設】 LGS【既存のまま】
	面談室(家族控室)	-20	RC（直） 【補修】	VS 【新設】		VB H=75 【新設】	GB-R+GB-R 【新設】	VC 【新設】	V 【新設】	GB-R 【新設】	DR 【新設】	2,500	壁の下地・仕上及び巾木を新設【新設】 LGS【既存のまま】
	輸血更衣室	-20	RC（直） 【補修】	VS 【新設】		VB H=75 【新設】	GB-R+GB-R 【一部新設】	VC 【新設】	V 【新設】	GB-R 【新設】	DR 【新設】	2,500	壁の下地・仕上及び巾木を新設【新設】 LGS【既存のまま】
	ドクター室	-20	RC（直） 【補修】	VS 【新設】		VB H=75 【新設】	GB-R+GB-R 【新設】	VC 【新設】	V 【新設】	GB-R 【新設】	DR 【新設】	2,500	壁の下地・仕上及び巾木を新設【新設】 LGS【既存のまま】
	HWC2	-20	RC（直） 【補修】	VS 【新設】		VB H=75 【新設】	GB-R+GB-R 【新設】	FK-C 【新設】	V 【新設】	GB-R 【新設】	DR 【新設】	2,500	繕【新設】ライニング【新設】 壁の下地・仕上及び巾木を新設【新設】 LGS【既存のまま】
	廊下-3	-20	RC（直） 【一部補修】	VS 【一部新設】		VB H=75 【一部新設】	GB-R+GB-R 【一部新設】	VC 【一部新設】	V 【一部新設】	GB-R 【一部新設】	DR 【一部新設】	2,400	
	キムリア （液体窒素置場）	-20	RC（直） 【補修】	VS(1) 【新設】		VB H=75 【新設】	GB-R+GB-H 【既存のまま】	VC 【新設】	V 【一部新設】	GB-R 【新設】	DR 【新設】	2,500	
	準備コーナー	-20	RC（直） 【一部補修】	VS 【一部新設】		VB H=75 【一部新設】	GB-R+GB-R 【既存のまま】	VC 【一部新設】	V 【既存のまま】	GB-R 【既存のまま】	DR 【既存のまま】	2,700	
	HCU-2	-20	RC（直） 【補修】	VS 【新設】		VB H=75 【新設】	GB-R+GB-R 【一部新設】	VC 【新設】	V 【一部新設】	GB-R 【一部新設】	DR 【一部新設】	2,500	CR【新設】 医療コンソール【復旧】 医療コンソール側面【補修】
	CCU-1	-20	RC（直） 【既存のまま】	VS 【一部新設】		VB H=75 【既存のまま】	GB-R+GB-R 【既存のまま】	VC 【既存のまま】	V 【一部新設】	GB-R 【一部新設】	DR 【一部新設】	2,700	流し台【新設】 ライニング【新設】
	CCU-2	-20	RC（直） 【既存のまま】	VS 【一部新設】		VB H=75 【既存のまま】	GB-R+GB-R 【既存のまま】	VC 【既存のまま】	V 【一部新設】	GB-R 【一部新設】	DR 【一部新設】	2,700	流し台【新設】 ライニング【新設】
	CCU-3	-20	RC（直） 【既存のまま】	VS 【一部新設】		VB H=75 【既存のまま】	GB-R+GB-R 【既存のまま】	VC 【既存のまま】	V 【一部新設】	GB-R 【一部新設】	DR 【一部新設】	2,700	流し台【新設】 ライニング【新設】
	CCU-4	-20	RC（直） 【既存のまま】	VS 【一部新設】		VB H=75 【既存のまま】	GB-R+GB-R 【既存のまま】	VC 【既存のまま】	V 【一部新設】	GB-R 【一部新設】	DR 【一部新設】	2,700	流し台【新設】 ライニング【新設】
	HCU10	-20	RC（直） 【補修】	VS 【新設】		VB H=75 【新設】	GB-R+GB-R 【一部新設】	VC 【新設】	V 【新設】	GB-R 【新設】	DR 【新設】	2,700	可動間仕切り【既存のまま】 CR【新設】 医療コンソール【一部新設】
	洗浄室	-20	RC（直） 【補修】	VS 【新設】		VB H=75 【新設】	GB-R+GB-R 【一部新設】	FK-C 【新設】	V 【新設】	GB-R 【新設】	DR 【新設】	2,500	流し台【新設】 吊戸棚【新設】 ライニング【新設】
	監視スペース （CCU）	-20	RC（直） 【補修】	VS 【新設】		VB H=75 【新設】	GB-R+GB-R 【一部新設】	VC 【新設】	V 【新設】	GB-R 【新設】	DR 【新設】	2,700	ライニング【新設】
	監視スペース （HCU）	-20	RC（直） 【補修】	VS 【新設】		VB H=75 【新設】	GB-R+GB-R 【一部新設】	VC 【新設】	V 【新設】	GB-R 【新設】	DR 【新設】	2,700	一方枠【新設】 ライニング【新設】 調て板【新設】
	SS	-20	RC（直） 【補修】	VS 【新設】		VB H=75 【新設】	GB-R+GB-R 【新設】	VC 【新設】	V 【新設】	GB-R 【新設】	DR 【新設】	2,700	SSカウンター【新設】 天吊りモニター取付補強【新設】
	器材コーナー	-20	RC（直） 【補修】	VS 【新設】		VB H=75 【新設】	GB-R+GB-R 【一部新設】	VC 【新設】	V 【新設】	GB-R 【新設】	DR 【新設】	2,700	ストレッチャーガード二段【新設】
	HWC1	-20	RC（直） 【補修】	VS 【新設】		VB H=75 【新設】	GB-R+GB-R 【一部新設】	FK-C 【新設】	V 【新設】	GB-R 【新設】	DR 【新設】	2,500	手摺【新設】 繕【新設】 ライニング【新設】
	看護師休憩室	-20	RC（直） 【補修】	VS 【新設】		VB H=75 【新設】	乾式耐火壁A【一部新設】 GB-R+GB-R【一部新設】	VC 【新設】	V 【新設】	GB-R 【新設】	DR 【新設】	2,500	流し台【新設】吊戸棚【【新設】 ライニング【新設】 洗面化粧台【新設】
	HWC	-20	RC（直） 【補修】	VS 【新設】		VB H=75 【新設】	GB-R+GB-R 【新設】	FK-C 【新設】	V 【新設】	GB-R 【新設】	DR 【新設】	2,500	手摺【新設】 繕【新設】 ライニング【新設】
	SWC	-20	RC（直） 【補修】	VS 【新設】		VB H=75 【新設】	GB-R+GB-R 【新設】	VC 【新設】	V 【新設】	GB-R 【新設】	DR 【新設】	2,500	ライニング【新設】
	HCU16	-20	RC（直） 【補修】	VS 【新設】		VB H=75 【新設】	GB-R+GB-R 【新設】	VC 【新設】	V 【新設】	GB-R 【新設】	DR 【新設】	2,500	ライニング【新設】 医療コンソール【新設】
	前室 （面談室1隣）	-20	RC（直） 【補修】	VS 【新設】		VB H=75 【新設】	乾式耐火壁A【一部新設】 GB-R+GB-R【新設】	VC 【新設】	V 【新設】	GB-R 【新設】	DR 【新設】	2,500	ストレッチャーガード二段【新設】
	HCU14	-20	RC（直） 【補修】	VS 【新設】		VB H=75 【新設】	GB-R+GB-R 【新設】	VC 【新設】	V 【新設】	GB-R 【新設】	DR 【新設】	2,500	ライニング【新設】医療コンソール【新設】 壁の下地・仕上及び巾木を新設【新設】 LGS【既存のまま】

株式会社 伊藤喜三郎建築研究所
一級建築士事務所
東京都知事登録番号 第2215号
設計者 赤岩重信
一級建築士登録番号 第281032号

設計者

総括責任者	担当者	担当者	担当者	担当者
赤岩重信 一級建築士 第281032号	山寺美和子 一級建築士 第309931号	山嵜興 一級建築士 第364029号	山本哲也 一級建築士 第333045号	大室真悟 一級建築士 第380799号
担当者 岡澤加代子 一級建築士 第348007号				

件名 横浜市立大学附属病院重症系病床改修工事（建築工事）　Job-No. 22060

図名 仕上表ー　【撤去・新設】1　意匠

縮尺 ー　日付 2023/6/30（令和5年）　9

伊藤喜三郎建築研究所

撤去

階	室名	床 スラブ高 特記以外はFL-10	床 下地	床 仕上	床 仕上高 特記以外はFL±0	幅木・腰・壁・柱型 幅木 特記以外は H=100	幅木・腰・壁・柱型 下地	幅木・腰・壁・柱型 仕上 腰壁：特記以外はH=1,100	天井 見切	天井 下地	天井 仕上	天井 天井高	備考
	面談室1	-20	RC（直）【既存のまま】	VS【撤去】		VB H=75【撤去】	GB-R+GB-R【撤去】	VC【撤去】	V【撤去】	GB-R【撤去】	DR【撤去】	2,500	
	NS休憩室	-20	RC（直）【既存のまま】	VS【撤去】		VB H=75【撤去】	GB-R+GB-R【撤去】	VC【撤去】	V【撤去】	GB-R【撤去】	DR【撤去】	2,500	流し台【撤去] 吊戸棚【撤去] ライニング【撤去]
	ペット交換ホール	-20	RC（直）【既存のまま】	VS【撤去】		VB H=75【撤去】	GB-R+GB-H【撤去】	VC【撤去】	V【撤去】	GB-R【撤去】	DR【撤去】	2,500	可動間仕切り【撤去]
	ME機器格納庫	-20	RC（直）【既存のまま】	VS【撤去】		VB H=75【撤去】	GB-R+GB-R【撤去】	VC【撤去】	V【撤去】	GB-R【撤去】	DR【撤去】	2,500	
	車椅子WC	-20	RC（直）【既存のまま】	VS【撤去】		VB H=75【撤去】	GB-R+GB-H【一部撤去】	VC【撤去】	V【撤去】	GB-R【撤去】	DR【撤去】	2,500	ライニング【撤去] 吊戸棚【撤去] 鏡【撤去]　手摺【撤去]
	面談室2	-20	RC（直）【既存のまま】	VS【撤去】		VB H=75【撤去】	GB-R+GB-H【一部撤去】	VC【撤去】	V【撤去】	GB-R【撤去】	DR【撤去】	2,500	
	家族控室1	-20	RC（直）【既存のまま】	VS【撤去】		VB H=75【撤去】	GB-R+GB-H【一部撤去】	VC【撤去】	V【撤去】	GB-R【撤去】	DR【撤去】	2,500	
	廊下1	-20	RC（直）【既存のまま】	VS【撤去】		VB H=75【撤去】	乾式耐火壁A【撤去] GB-R+GB-R【撤去]	VC【撤去】	V【撤去】	GB-R【撤去】	DR【撤去】	2,500	SG【撤去]
	デイルーム	-20	RC（直）【既存のまま】	VS【撤去】		VB H=75【撤去】	GB-R+GB-R【撤去】	VC【撤去】	V【撤去】	GB-R【撤去】	DR【撤去】	2,500	ライニング【撤去] 洗面化粧台【撤去]
	X線血液照射室	-20	RC（直）【既存のまま】	VS【撤去】		VB H=75【撤去】	GB-R+GB-R【撤去】	VC【撤去】	V【撤去】	GB-R【撤去】	DR【撤去】	2,500	
	Dr室	-20	RC（直）【既存のまま】	VS【撤去】		VB H=75【撤去】	GB-R+GB-R【撤去】	VC【撤去】	V【撤去】	GB-R【撤去】	DR【撤去】	2,500	CR【撤去]
	Dr更衣室	-20	RC（直）【既存のまま】	VS【撤去】		VB H=75【撤去】	GB-R+GB-R【撤去】	VC【撤去】	V【撤去】	GB-R【撤去】	DR【撤去】	2,500	
	輸血部更衣室2	-20	RC（直）【既存のまま】	VS【撤去】		VB H=75【撤去】	GB-R+GB-R【撤去】	VC【撤去】	V【撤去】	GB-R【撤去】	DR【撤去】	2,500	
	HWC	-20	RC（直）【既存のまま】	VS【撤去】		VB H=75【撤去】	GB-R+GB-R【撤去】	VC【撤去】	V【撤去】	GB-R【撤去】	DR【撤去】	2,500	手摺【撤去】ﾌｨｯﾃｨﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ【撤去] ﾍﾞﾋﾞｰﾁｪｱ【撤去】鏡【撤去] ﾗｲﾆﾝｸﾞ【撤去】ｵﾑﾂ交換台【撤去]
	家族控室2	-20	RC（直）【既存のまま】	VS【撤去】		VB H=75【撤去】	GB-R+GB-R【撤去】	VC【撤去】	V【撤去】	GB-R【撤去】	DR【撤去】	2,500	
	前室2	-20	RC（直）【既存のまま】	VS【撤去】		VB H=75【撤去】	GB-R+GB-R【撤去】	VC【撤去】	V【撤去】	GB-R【撤去】	DR【撤去】	2,500	
	前室1	-20	RC（直）【既存のまま】	VS【撤去】		VB H=75【撤去】	GB-R+GB-R【撤去】	VC【撤去】	V【撤去】	GB-R【撤去】	DR【撤去】	2,500	
	PS	-20	RC（直）【既存のまま】	-		-	GB-R+GB-R【一部撤去】	-	-	-	ﾗｲﾆﾝｸﾞ【撤去】ｵﾑﾂ交換台【撤去】 -	直天	
	ピロティ（PS6隣）	-20	RC（直）【既存のまま】	塗膜防水【撤去】		-	RC【一部撤去】	-	A【撤去】	0.8FK【撤去】	EP-G【撤去】	2,500	柱部鋼板仕上【撤去] 建具及びRC腰壁【撤去] RC立上り・ECP【既存のまま]
	廊下-2	-20	RC（直）【既存のまま】	VS【一部撤去】		VB H=75【一部撤去】	乾式耐火壁A【一部撤去】	VC【一部撤去】	V【一部撤去】	GB-R【一部撤去】	DR【一部撤去】	2,500	

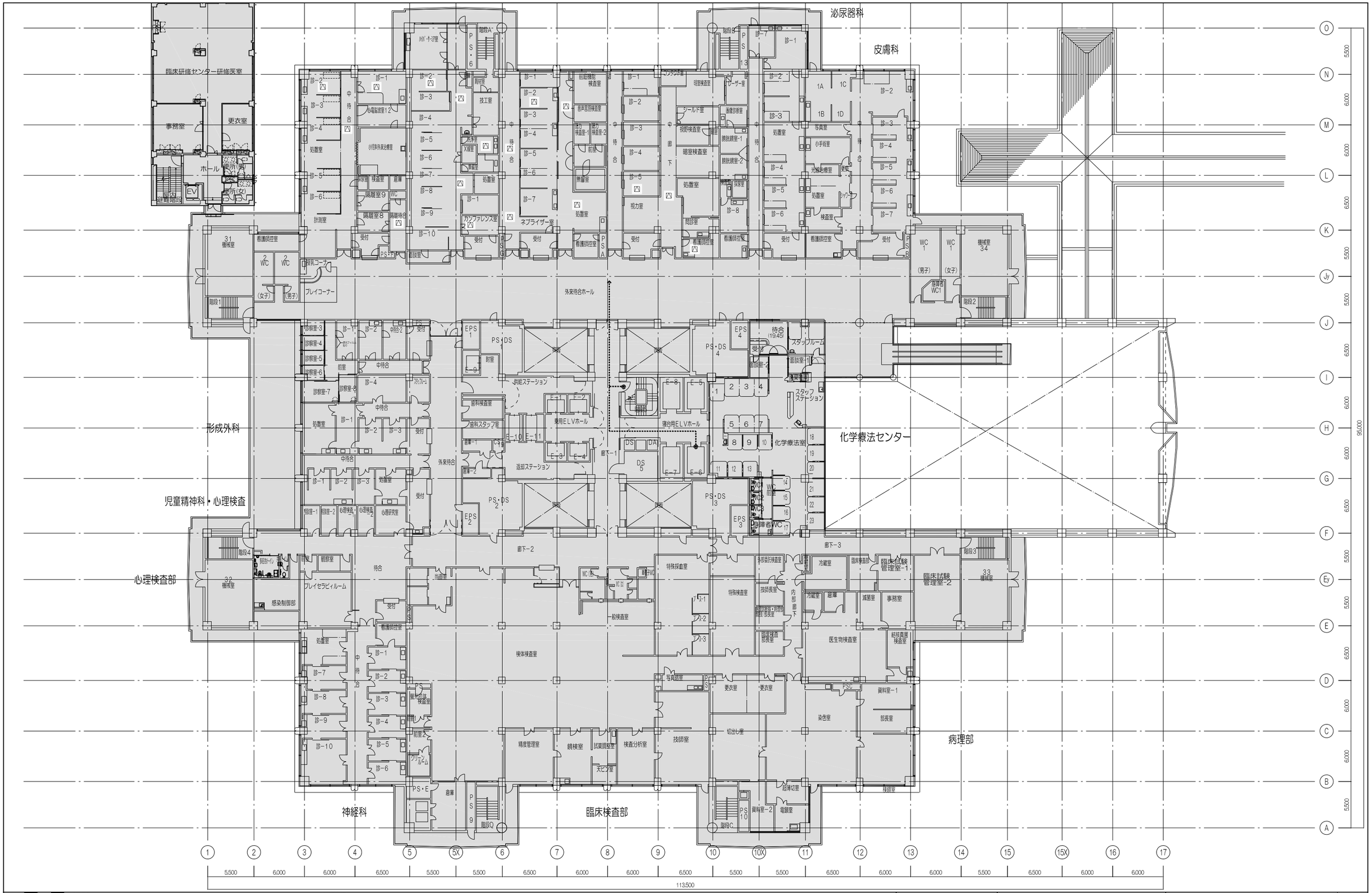
新設

階	室名	床 スラブ高 特記以外はFL-10	床 下地	床 仕上	床 仕上高 特記以外はFL±0	幅木・腰・壁・柱型 幅木 特記以外は H=100	幅木・腰・壁・柱型 下地	幅木・腰・壁・柱型 仕上 腰壁：特記以外はH=1,100	天井 見切	天井 下地	天井 仕上	天井 天井高	備考
	HCU15	-20	RC（直）【補修】	VS【新設】		VB H=75【新設】	GB-R+GB-R【新設】	VC【新設】	V【新設】	GB-R【新設】	DR【新設】	2,500	ﾗｲﾆﾝｸﾞ【新設】医療ｺﾝｿｰﾙ【新設] 壁の下地・仕上及びﾎﾞﾄﾞ木を新設【新設] LGS【既存のまま]
	面談室1	-20	RC（直）【補修】	VS【新設】		VB H=75【新設】	GB-R+GB-R【新設】	VC【新設】	V【新設】	GB-R【新設】	DR【新設】	2,500	壁の下地・仕上及びﾎﾞﾄﾞ木を新設【新設] LGS【既存のまま]
	器材室（面談室1隣）	-20	RC（直）【補修】	VS【新設】		VB H=75【新設】	乾式耐火壁A【一部新設] GB-R+GB-H【新設]	VC【新設】	V【新設】	GB-R【新設】	DR【新設】	2,500	壁の下地・仕上及びﾎﾞﾄﾞ木を新設【新設] LGS【既存のまま] ストレッチャーガード二段【新設]
	PS	-20	RC（直）【補修】	防塵【新設】		-		-	-	-	-	直天	
	器材室	-20	RC（直）【補修】	VS【新設】		VB H=75【新設】	GB-R+GB-H【新設] ECP t75(縦張)	VC【新設】	V【新設】	GB-R【新設】	DR【新設】	2,700	ストレッチャーガード二段【新設]
	ピロティ（PS6隣）	-20	RC（直）【補修】	塗膜防水【新設】		-	RC【一部撤去] PC板【既存のまま]	-	A【新設】	0.8FK【新設】	EP-G【新設】	2,500	
	廊下-2	-20	RC（直）【補修】	VS【一部新設】		VB H=75【一部新設】	乾式耐火壁A【一部新設】	VC【一部新設】	V【一部新設】	GB-R【一部新設】	DR【一部新設】	2,500	

株式会社 伊藤喜三郎建築研究所
一級建築士事務所 東京都知事登録番号 第2215号
設計者 赤岩重信 一級建築士登録番号 第281032号

設計者
総括責任者 赤岩重信 一級建築士 第281032号
担当者 山寺美和子 一級建築士 第309931号
担当者 山嵜興 一級建築士 第364029号
担当者 山本哲也 一級建築士 第333045号
担当者 大室真悟 一級建築士 第380799号
担当者 岡澤加代子 一級建築士 第348007号

件名 横浜市立大学附属病院重症系病床改修工事（建築工事）
Job-No. 22060
図名 仕上表ー　【撤去・新設】2
意匠 10
縮尺 ー
日付 2023/6/30（令和5年）
伊藤喜三郎建築研究所

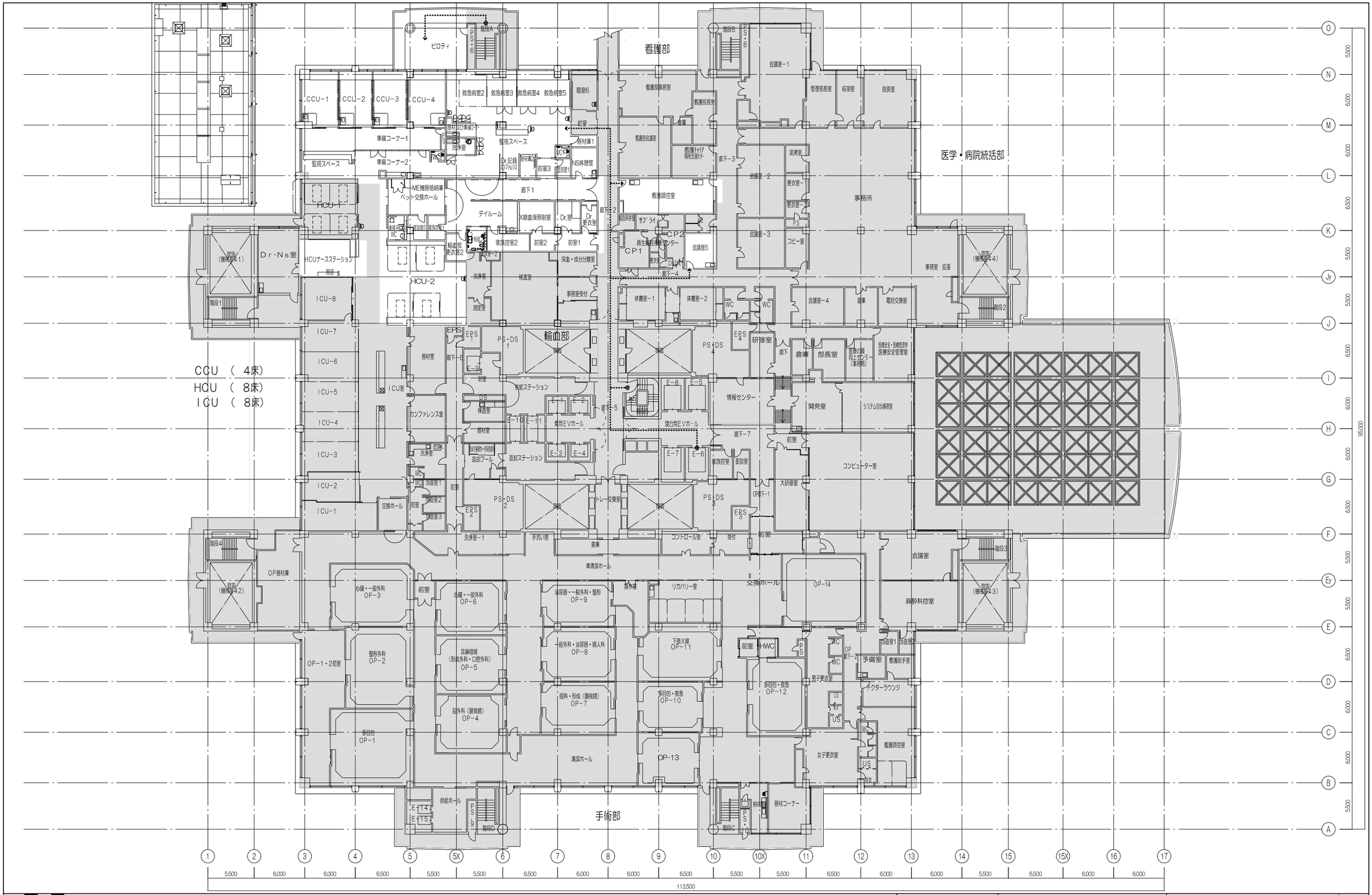


【凡例】
- ●：工事搬入用階段およびEV位置を示す
- ⇢：搬入路
- ▭：今回改修範囲外
- △：【新設】天井点検口（450角）

【特記事項】
4. 施主と協議の上、現場の状況を判断し、養生を行うこと。また、終了後は清掃を行うこと。

株式会社 伊藤喜三郎建築研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録番号 第2215号 設計者 赤岩重信 一級建築士登録番号 第281032号	設計者				
	総括責任者 赤岩重信 一級建築士 第281032号	担当者 山寺美和子 一級建築士 第306931号	担当者 山嵜實 一級建築士 第344029号	担当者 山本哲也 一級建築士 第332045号	担当者 大室真悟 一級建築士 第390799号
	担当者 岡澤加代子 一級建築士 第348007号				

件名 横浜市立大学附属病院重症系病床改修工事（建築工事）		Job-No. 22060
図名 3階全体平面図（改修後）		意匠
縮尺 1/200(A1),1/400(A3)	日付 2023/06/30（令和5年）	11
伊藤喜三郎建築研究所		



【凡例】
●：工事搬入用階段およびEV位置を示す
-------→：搬入路
▭：今回改修範囲外

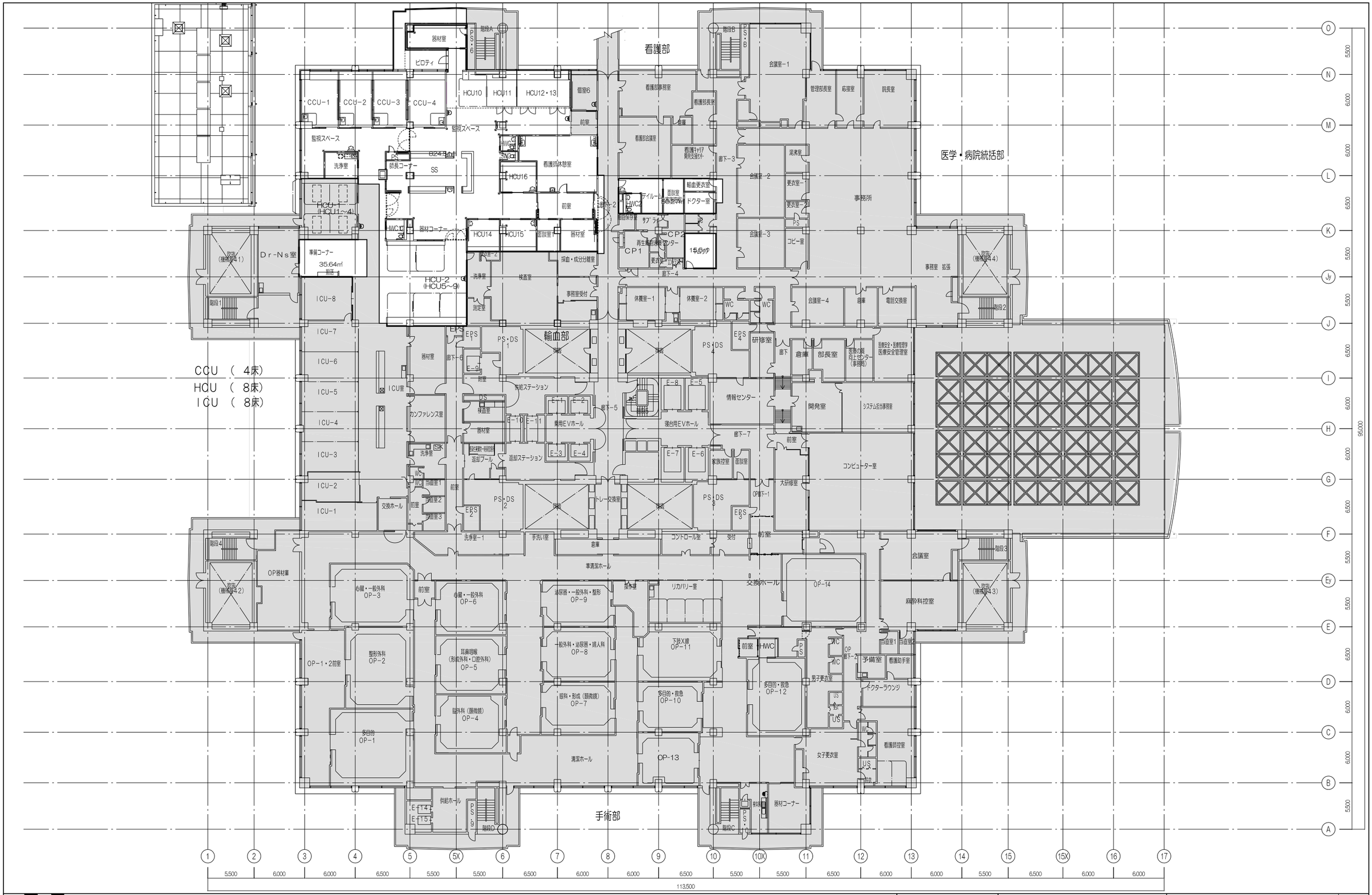
【特記事項】
1. 現地と図面において、既存状況が異なる場合は現地を優先する。
2. 搬入・搬出：院内ルートを使用しての搬出入については平日の早朝行うこと。
3. 騒音・振動工事：必ず事前に施主へ工事時間帯を報告調整の上実施のこと。

株式会社 伊藤喜三郎建築研究所
一級建築士事務所
東京都知事登録番号 第2215号
設計者 赤岩重信
一級建築士登録番号 第281032号

設計者				
総括責任者 赤岩重信 一級建築士 第281032号	担当者 山寺美和子 一級建築士 第309931号	担当者 山崎潤 一級建築士 第364029号	担当者 山本哲也 一級建築士 第333045号	担当者 大家真悟 一級建築士 第380799号
担当者 母澤加代子 一級建築士 第348007号				

件名	横浜市立大学附属病院重症系病床改修工事（建築工事）
図名	4階全体平面図（改修前）
縮尺	1/200(A1),1/400(A3)
日付	2023/06/30（令和5年）
Job-No.	22060
意匠	12

伊藤喜三郎建築研究所



【凡例】

：今回改修範囲外

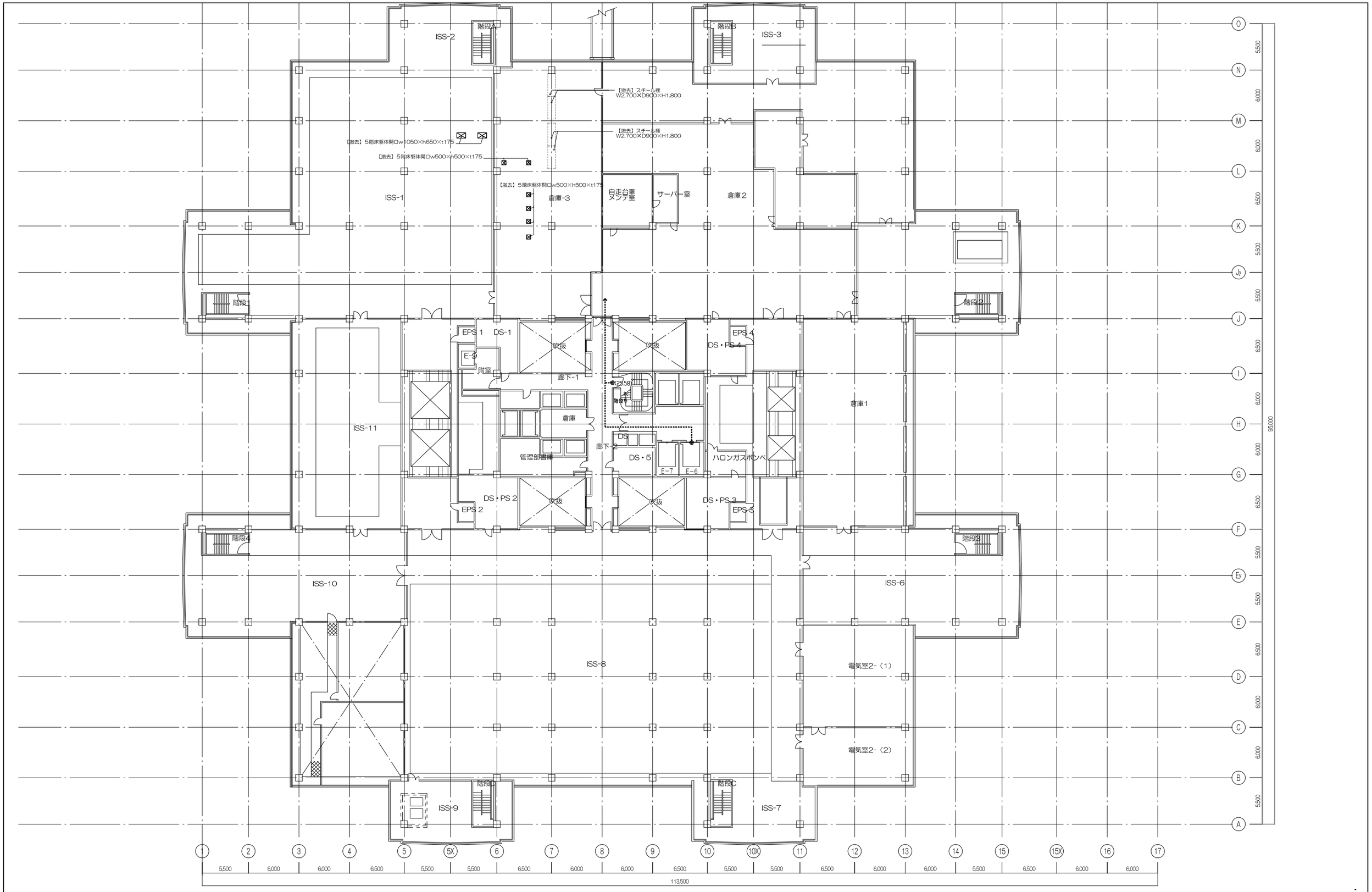
株式会社 伊藤喜三郎建築研究所

一級建築士事務所
東京都知事登録番号 第2215号
設計者 赤岩重信
一級建築士登録番号 第281032号

設計者				
総括責任者 赤岩重信 一級建築士 第281032号	担当者 山寺美和子 一級建築士 第309931号	担当者 山崎潤 一級建築士 第364029号	担当者 山本哲也 一級建築士 第333045号	担当者 大家真悟 一級建築士 第380799号
担当者 母澤加代子 一級建築士 第348007号				

件名	横浜市立大学附属病院重症系病床改修工事（建築工事）
図名	4階全体平面図（改修後）
縮尺	1/200(A1),1/400(A3)
日付	2023/06/30（令和5年）
Job-No.	22060
意匠	13

伊藤喜三郎建築研究所

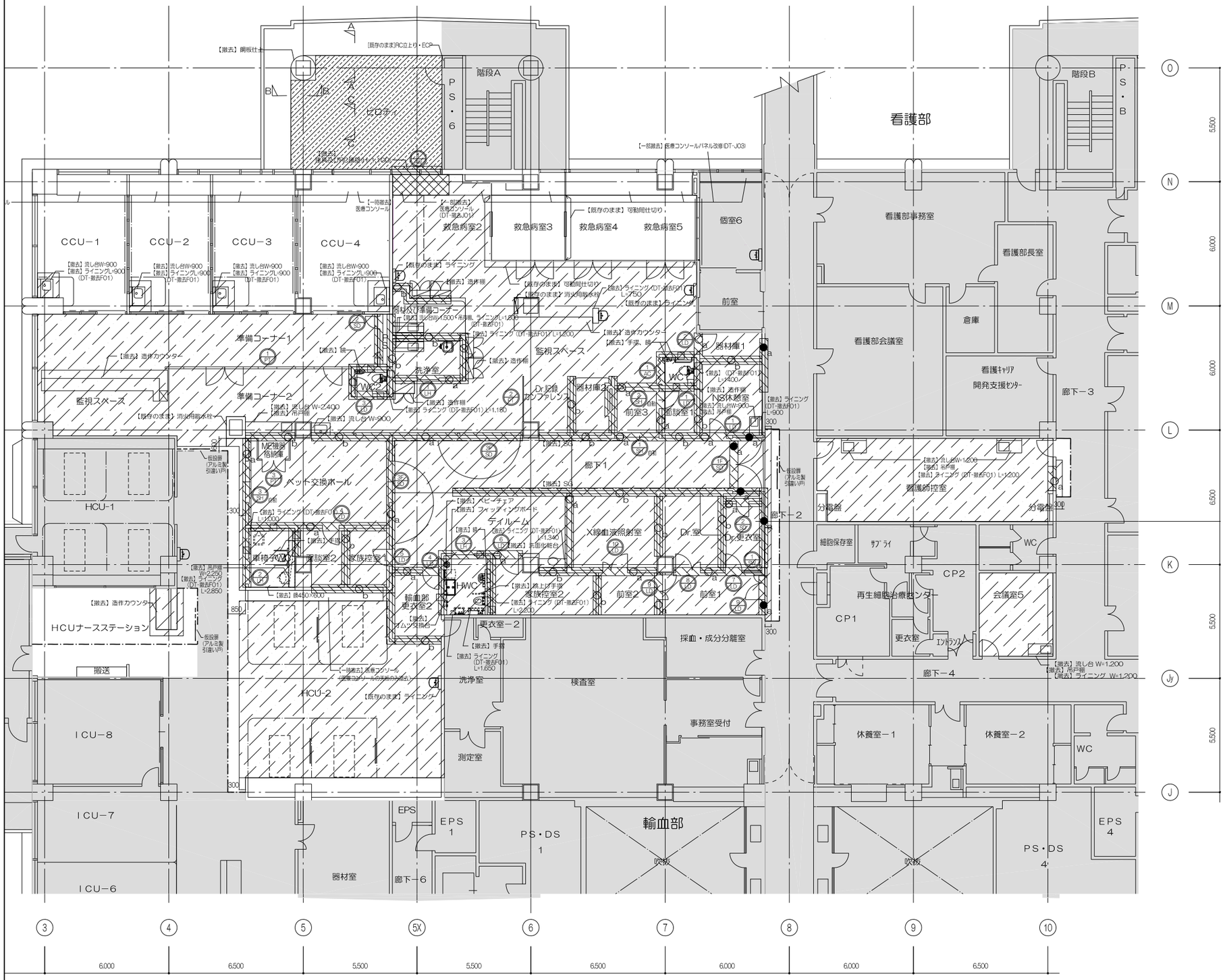


【凡例】
- ●：工事搬入用階段およびEV位置を示す
- ⇢：搬入路
- ▭：今回改修範囲外

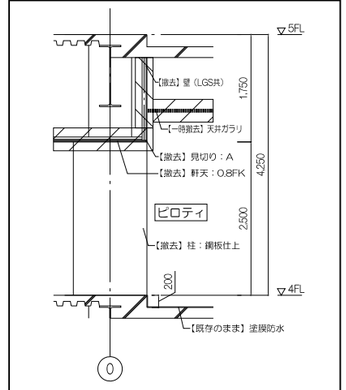
【特記事項】
1. 床躯体のコア抜き部分は、錆止め塗装を行う。

株式会社 伊藤喜三郎建築研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録番号 第2215号 設計者 一級建築士登録番号 第281032号	設計者				
	総括責任者 赤岩重信 一級建築士 第281032号	担当者 山寺美紀子 一級建築士 第309931号	担当者 山路興 一級建築士 第364929号	担当者 山本哲也 一級建築士 第333043号	担当者 大宮真悟 一級建築士 第380799号
	担当者 岡澤加代子 一級建築士 第348097号				

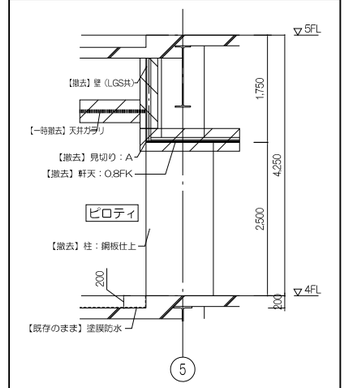
件名 横浜市立大学附属病院重症系病床改修工事（建築工事）		Job-No. 22060
図名 5階全体平面図（改修前）		意匠
縮尺 1/200(A1),1/400(A3)	日付 2023/06/30（令和5年）	14
伊藤喜三郎建築研究所		



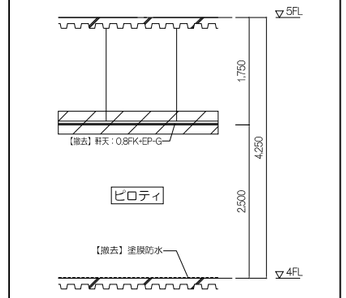
A-A断面図 S=1/100（A3）



B-B断面図 S=1/100（A3）



C-C断面図 S=1/100（A3）



【凡例】
- ：壁撤去範囲
- ：床撤去範囲
- ：天井撤去範囲
- ：塗膜防水撤去範囲
- ：医療コンソール撤去範囲
- ：今回改修範囲外
- ：仮設間仕切

【特記事項】
1. 床・壁・天井・建具・流し等の改修部より300mmの範囲の壁の仕上げ材・ボードは、撤去の上同材にて復旧する。

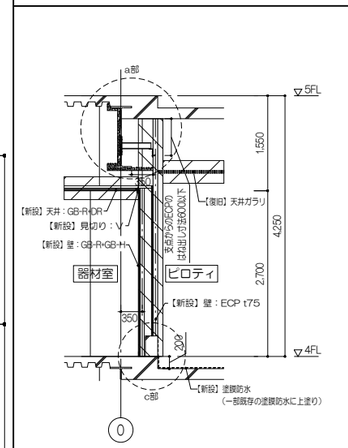
株式会社 伊藤喜三郎建築研究所
一級建築士事務所 東京都知事登録番号 第2215号
設計者 赤岩重信 一級建築士登録番号 第281032号

設計者				
総括責任者 赤岩重信 一級建築士 第281032号	担当者 山寺美和子 一級建築士 第309531号	担当者 山巻潤 一級建築士 第364029号	担当者 山本哲也 一級建築士 第333845号	担当者 大室貴信 一級建築士 第390739号
担当者 岡澤加代子 一級建築士 第348007号				

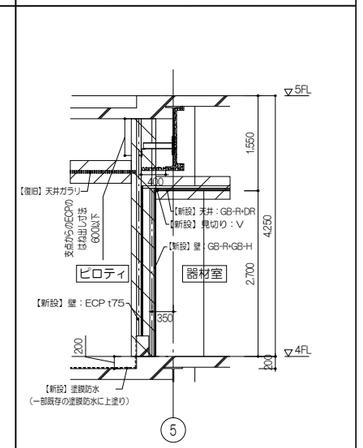
件名	横浜市立大学附属病院重症系病床改修工事（建築工事）
図名	4階平面図【撤去】
縮尺	1/100(A1),1/200(A3)
日付	2023/06/30（令和5年）
Job-No.	22060
意匠	15

伊藤喜三郎建築研究所

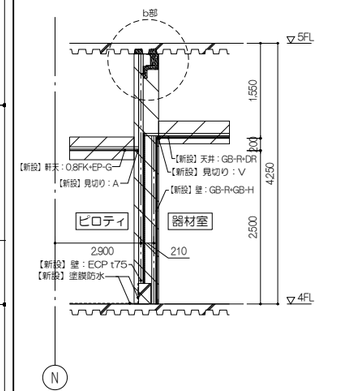
A-A断面図 S=1/50（A1）



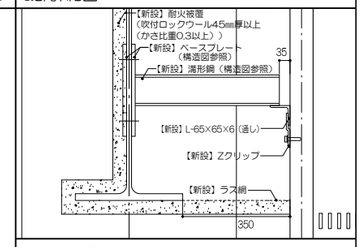
B-B断面図 S=1/50（A1）



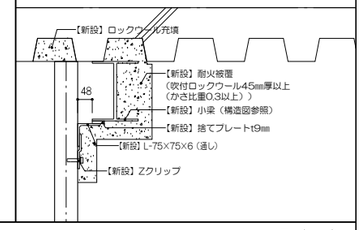
C-C断面図 S=1/50（A1）



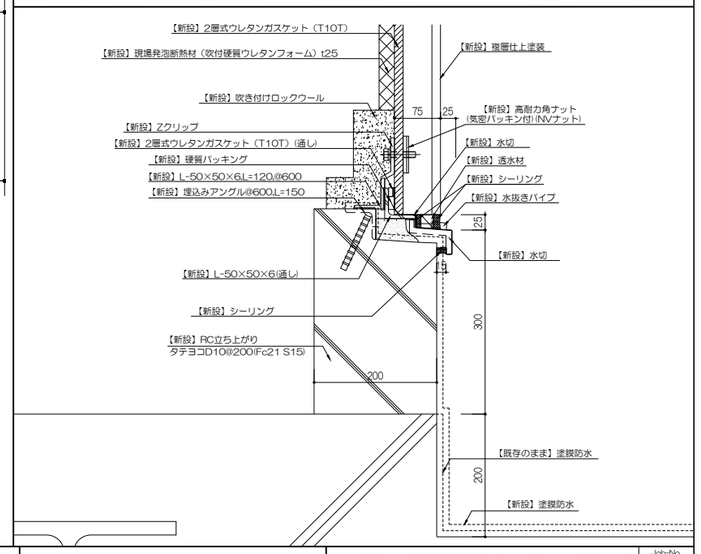
a部詳細図 S=1/10（A1）



b部詳細図 S=1/10（A1）



c部詳細図（ECP取付部） S=1/5（A1）



【凡例】
- ：壁新設範囲
- ：床新設範囲
- ：天井新設範囲
- ：塗膜防水新設範囲
- ：今回改修範囲外

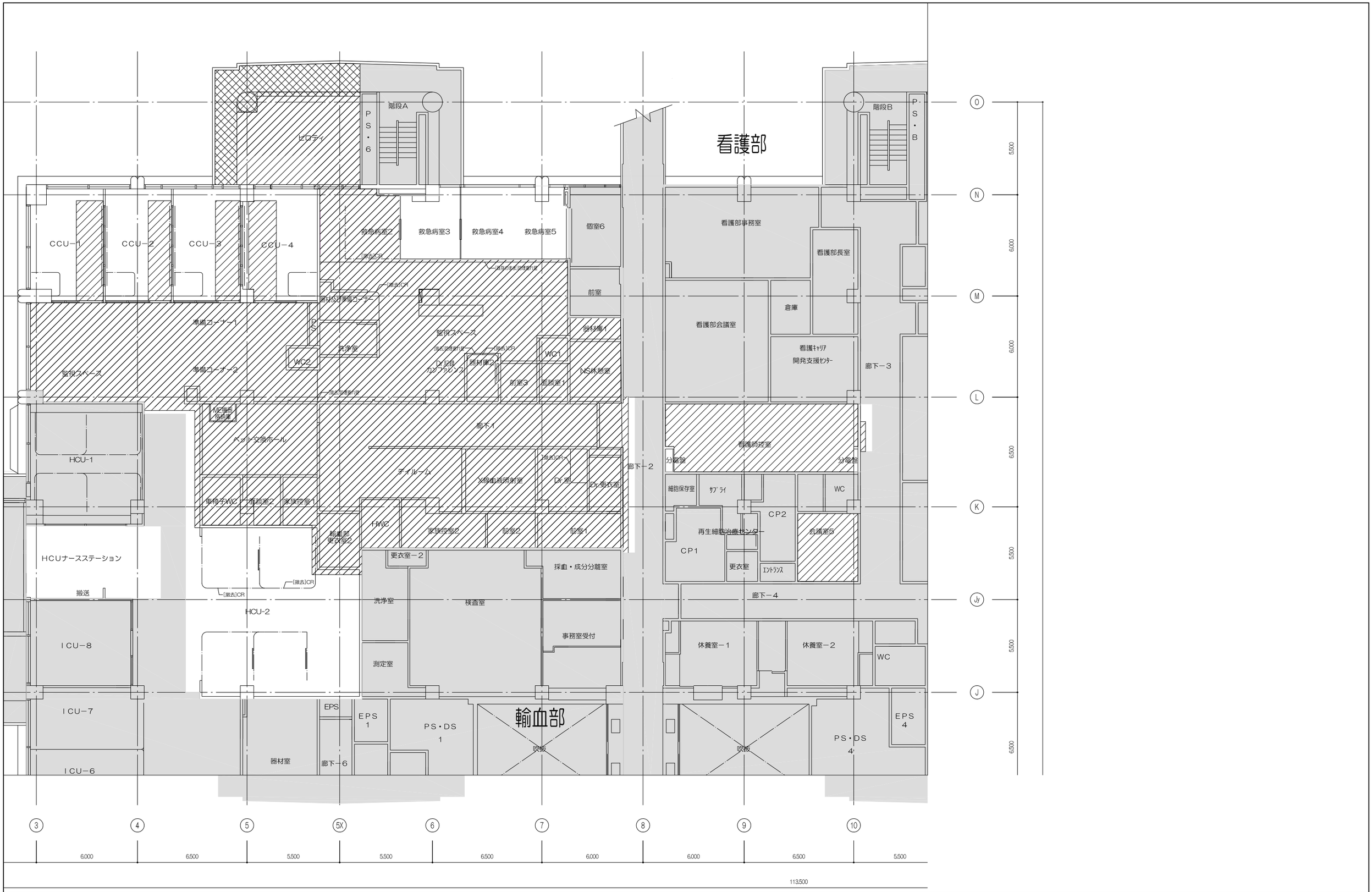
▲FS：フットスイッチ

【特記事項】
1. 床・壁・天井・建具・流し等の改修部より300㎜の範囲の壁の仕上げ材・ボードは、撤去の上同材にて復旧する。

株式会社 伊藤喜三郎建築研究所
一級建築士事務所
東京都知事登録番号 第2215号
設計者 赤岩重信
一級建築士登録番号 第281032号

設計者				
総括責任者 赤岩重信 一級建築士 第281032号	担当者 山寺美和子 一級建築士 第309931号	担当者 山巻舞 一級建築士 第364029号	担当者 山本哲也 一級建築士 第333043号	担当者 大室真悟 一級建築士 第380799号
担当者 岡澤加代子 一級建築士 第348007号				

件名 横浜市立大学附属病院重症系病床改修工事（建築工事）		Job-No. 22060
図名 4階平面図【新設】		意匠
縮尺 1/100(A1),1/200(A3)	日付 2023/06/30（令和5年）	16
伊藤喜三郎建築研究所		



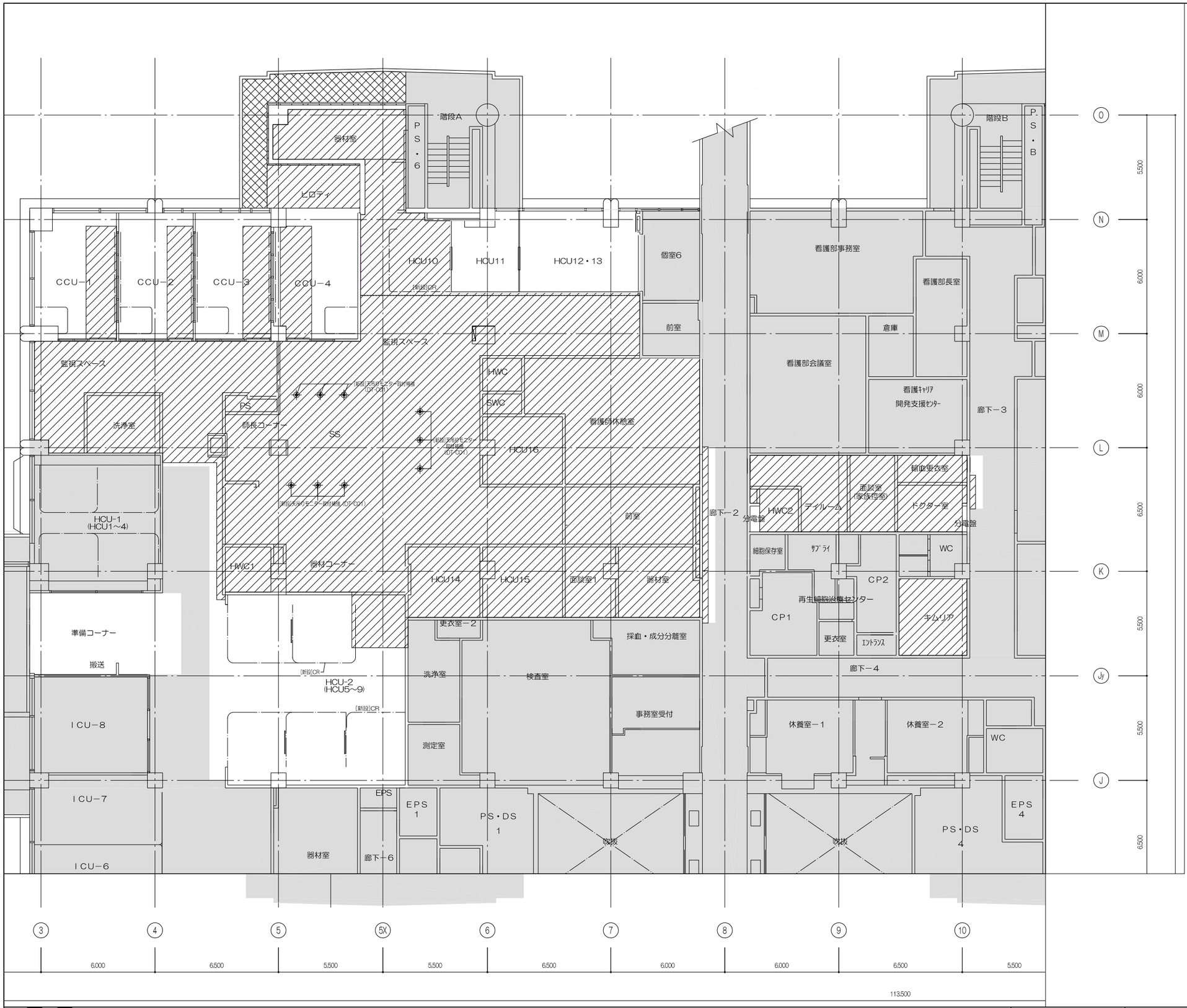
【凡例】

- ：天井撤去範囲（LGS共）
- ：天井ガラリー時撤去範囲
- ：今回改修範囲外

【特記事項】

1. 床・壁・天井・建具・流し等の改修部より300㎜の範囲の壁の仕上げ材・ボードは、撤去の上同材にて復旧する。

株式会社 伊藤喜三郎建築研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録番号 第2215号 設計者 一級建築士登録番号 赤岩重信 第281032号	設計者				件名 横浜市立大学附属病院重症系病床改修工事（建築工事）	Job-No. 22060
	総括責任者 赤岩重信 一級建築士 第281032号	担当者 山寺美和子 一級建築士 第309931号	担当者 山巻潤 一級建築士 第364029号	担当者 山本哲也 一級建築士 第333045号	図名 4階天井伏図【撤去】	意匠
	担当者 岡澤加代子 一級建築士 第348007号			担当者 大室真悟 一級建築士 第380799号	縮尺 1/100(A1),1/200(A3) 日付 2023/06/30（令和5年）	17
					伊藤喜三郎建築研究所	



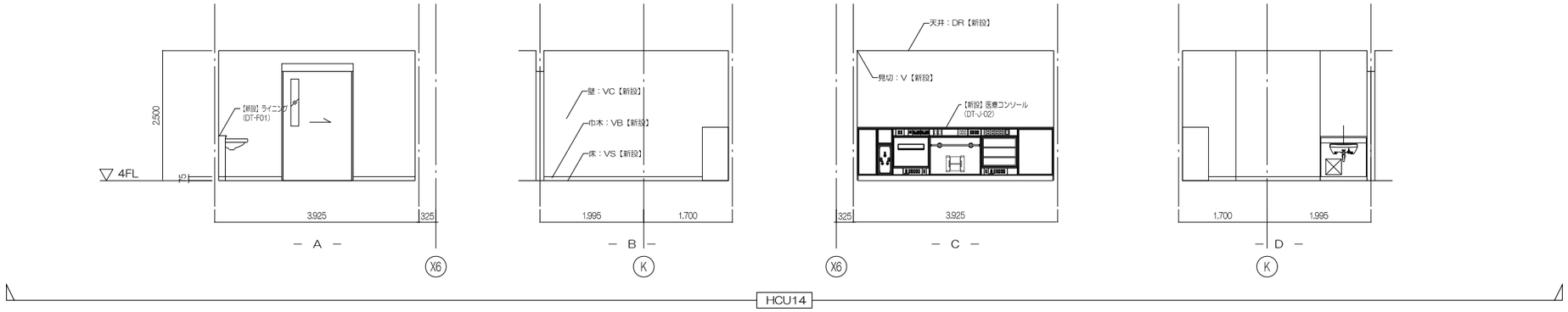
【凡例】

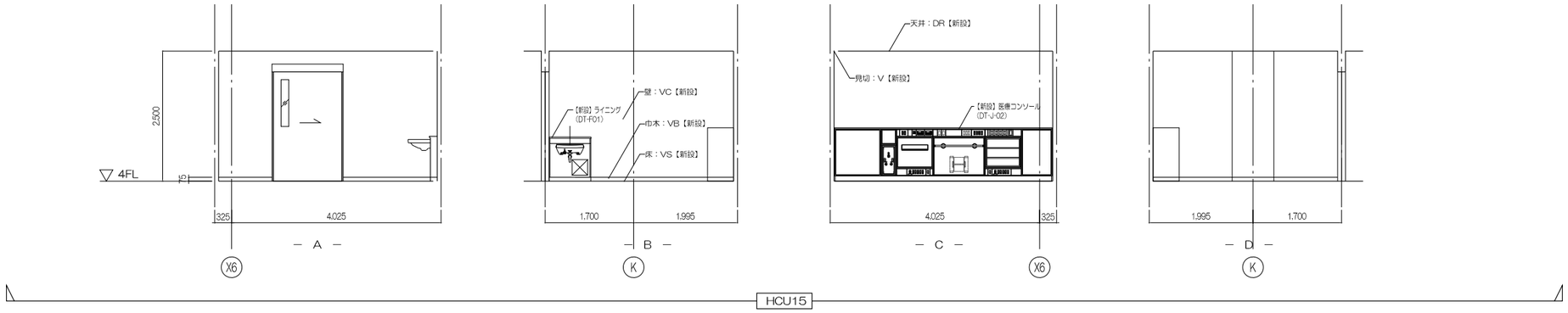
- ：天井新設範囲（LGS共）
- ：天井ガラリ復旧範囲
- ：今回改修範囲外
- ：天吊モニター取付補強【DT-C01】【新設】

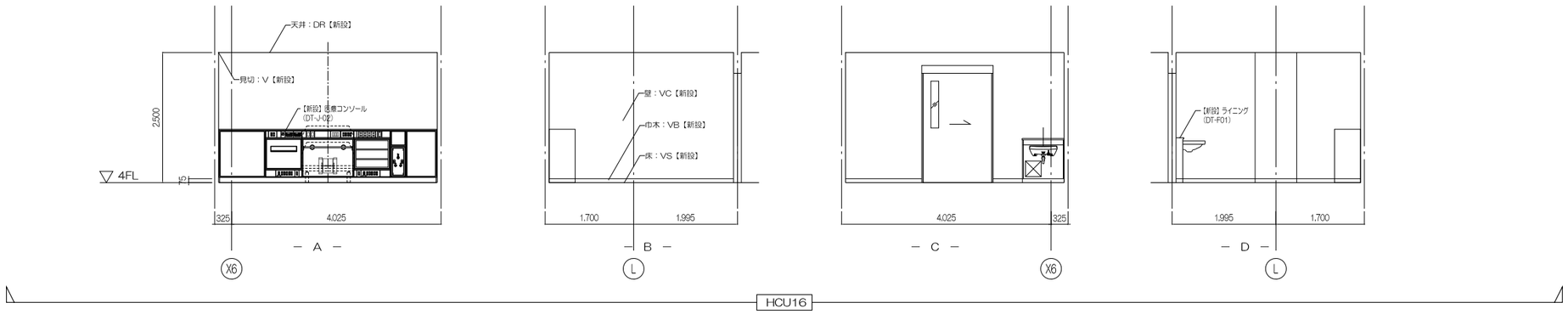
【特記事項】

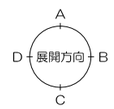
1. 床・壁・天井・建具・流し等の改修部より300mmの範囲の壁の仕上げ材・ボードは、撤去の上同材にて復旧する。

株式会社 伊藤喜三郎建築研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録番号 第2215号 設計者 赤岩重信 一級建築士登録番号 第281032号	設計者				件名 横浜市立大学附属病院重症系病床改修工事（建築工事）	Job-No. 22060
	総括責任者 赤岩重信 一級建築士 第281032号	担当者 山寺美和子 一級建築士 第309931号	担当者 山葛潤 一級建築士 第364029号	担当者 山本哲也 一級建築士 第333045号	図名 4階天井伏図【新設】	意匠
	担当者 母澤加代子 一級建築士 第348007号			担当者 大室真悟 一級建築士 第380799号	縮尺 R 1/100(A1),1/200(A3) 日付 2023/06/30（令和5年）	18
					伊藤喜三郎建築研究所	









株式会社 伊藤喜三郎建築研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録番号 第2215号 設計者 赤岩重信 一級建築士登録番号 第281032号	設計者				件名 横浜市立大学附属病院重症系病床改修工事（建築工事）	Job-No. 22060
	総括責任者 赤岩重信 一級建築士 第281032号	担当者 山寺美和子 一級建築士 第306931号	担当者 山嵜興 一級建築士 第344820号	担当者 山本哲也 一級建築士 第332045号	図名 HCU展開図【新設】	意匠
	担当者 岡澤加代子 一級建築士 第348907号				縮尺 1/50(A1),1/100(A3) 日付 2023/06/30（令和5年）	19
					伊藤喜三郎建築研究所	

建具表示略号及び記号

表示略号

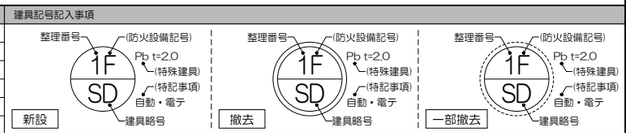
略号	建　具
AD	アルミニウム製戸
AW	アルミニウム製窓
AG	アルミニウム製がらり
ACW	アルミニウム製カーテンウォール
ATL	アルミニウム製トップライト
PVD	樹脂製戸
PVW	樹脂製窓
PVF	樹脂製枠
SD	鋼製戸
SH	鋼製吊り引き戸
SW	鋼製窓
SG	鋼製がらり
SCW	鋼製カーテンウォール
SF	鋼製枠
LD	鋼製軽量戸
LH	鋼製軽量吊り引き戸
SSD	ステンレス製戸
SSH	ステンレス製吊り引き戸
SSW	ステンレス製窓
SSF	ステンレス製枠
SS	重量シャッター
LS	軽量シャッター
GD	ガラス製戸
GW	ガラス製窓
GWS	大型ガラススクリーン
WD	木製戸
WF	木製枠
H	ふすま
P	障子
PT	可動間仕切
SLW	移動間仕切
SM	防煙たれ壁（固定式）
SMF	防煙たれ壁（回転降下式）
SMR	防煙たれ壁（ロール式）
BD	防水ドア
BS	防水シャッター
BB	防水板

記号	防火設備
F	特定防火設備
f	法二条第九号の二ロに規定する防火設備

記号	特殊建具
Pb t=O.O	放射線防護用鉛入り建具 t=鉛厚さ(mm)
Sh	電波・磁気防護用建具

記号	特記事項
自動	自動ドア
電動	電動シャッター
電気	電気錠
電テ	電気錠（テンキー式）
電カ	電気錠（カード式）
電指	電気錠（指紋照合式）
BL	明色ブラインド有

建具記号記入事項



略号	ガラス
P	フロート板ガラス
F	型板ガラス
WP	線入板ガラス
WF	線入型板ガラス
NP	網入板ガラス
NF	網入型板ガラス
T	強化ガラス
HAP	熱線吸収フロート板ガラス
HANP	熱線吸収網入磨き板ガラス
HAWP	熱線吸収線入り磨き板ガラス
HANF	熱線吸収網入り型板ガラス
HR	熱線反射ガラス
DS	倍強度ガラス
DSHA	倍強度熱線吸収ガラス
L	合わせガラス

断熱複層ガラス（日射取得型）

	室外側	中空層	中間	中空層	室内側	ガラス建築種類記号
IG(断)						
IG(断)-1						
IG(断)-2						
IG(断)-3						

日射熱遮へい複層ガラス（日射遮蔽型）

	室外側	中空層	中間	中空層	室内側	ガラス建築種類記号
IG(遮)						
IG(遮)-1						
IG(遮)-2						
IG(遮)-3						

A：空気層　Ar：アルゴンガス層

略号	ガラス用フィルム
GF	ガラス用フィルム

略号	額縁・鏡板・その他
A	アルミ製　仕上：
PV	樹脂製　仕上：
SS	ステンレス製　仕上：
S	鋼製　仕上：
W	木製　仕上：

略号	ヒンジ	略号	ヒンジ
TH	丁番	LH	ラバトリーヒンジ
PH	ピボットヒンジ	GH	グラビティヒンジ
FH	フロアヒンジ	LOH	ロングヒンジ
HC	ヒンジクローザー		

略号	取　手	略号	取　手
ノブ	握り玉	押棒	押板
レバ	レバーハンドル	ケース	ケースハンドル
引手	引手	掘込	掘り込み引手
押棒	押棒		

略号	錠
モノ	モノロック
本モノ	本締り付モノロック
箱錠	シリンダー箱錠（片面サムターン）
引戸	引戸錠
引違	引違い戸錠
本締	シリンダー本締り錠
点検	点検口錠
表示	表示付錠
空錠	空錠
グレ	グレモン錠
電気	電気錠
電テ	電気錠（テンキー式）
電カ	電気錠（カード式）
電指	電気錠（指紋照合式）

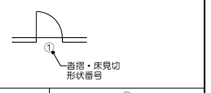
略号	ドアクローザー
DC	標準タイプ
CN	コンシールドタイプ
SL	引戸クローザー

略号	吊り引戸形式
S(P)型	両側戸袋パネル型（ポケットタイプ）
S(S)型	片側戸袋パネル、片側袖壁型（片戸袋タイプ）
S(O)型	片側戸袋パネル、片側戸露出型（オープンタイプ）
S(N)型	片側袖壁、片側戸露出型（戸袋なしタイプ）
E型	外付け、戸露出型
BK型	LGS壁内納まり型
BR型	LGS壁内納まり型（レール傾斜式）
BNR型	LGS壁内納まり型（レール傾斜式、メンテナンスパネル無）
BWA型	LGS壁内納まり型（レール傾斜式、二連式ポケット型後戸タイプ）
BW(O)型	片側戸袋パネル、片側露出型(二連式、オープンタイプ)
BW(N)型	片側袖壁、片側露出型(二連式、戸袋なしタイプ)

平面図（キープラン）表示記号

沓摺・床見切形状

沓摺表示記号



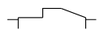
①

【4-31-1】

②

【4-31-2】

③



【4-31-4】

④

【4-45】

⑤

【4-43、4-44】

開き戸の閉鎖機構

ドアクローザー

（ストップ機構付）

（ストップ機構なし）

吊り引戸の閉鎖機構

ストップ機構付

ストップ機構なし

フロアヒンジ

ストップ機構なし

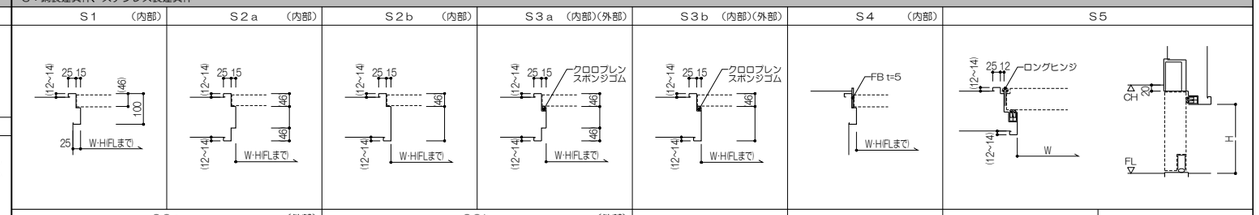
（煙感知器連動）

ヒンジクローザー

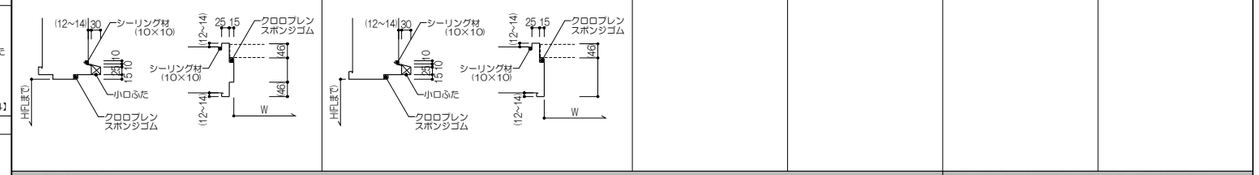
建具枠

S：鋼製建具枠、ステンレス製建具枠

S1（内部）　S2a（内部）　S2b（内部）　S3a（内部)(外部）　S3b（内部)(外部）　S4（内部）　S5

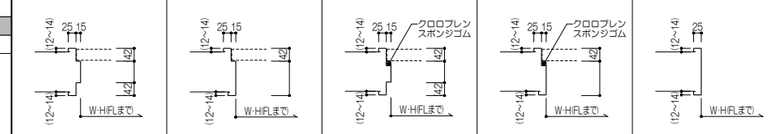


S8a（外部）　S8b（外部）

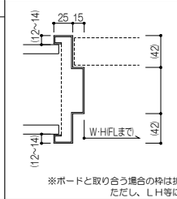


L：鋼製軽量建具枠

L1a（内部）　L1b（内部）　L2a（内部）　L2b（内部）　L3（内部）

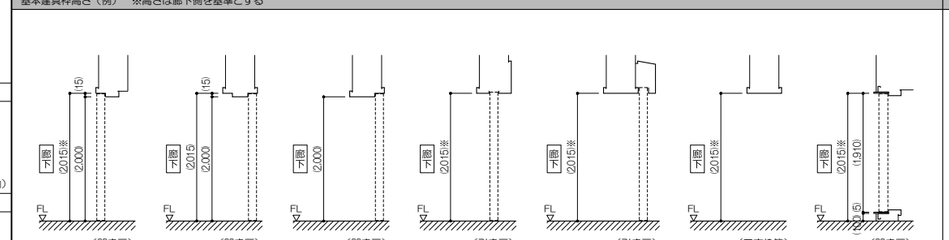


ボード類と取り合う建具枠（鋼製建具、鋼製軽量建具共）



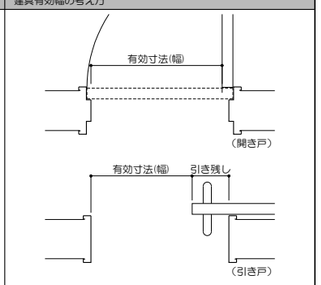
※ボードと取り合う連合の枠は折り返し、ボード飲み込みとする
ただし、LH等については監理者との協議による

基本建具枠高さ（例）　※高さは廊下側を基準とする



・開き戸《bタイプ》と併用する場合は、建具高さ※は2,000とする

建具有効幅の考え方



※建具表中に有効寸法の表記がある場合は、原則上記とする

建具共通事項　　特記なき限り下記による

1．共通事項

1）建具本体・枠
（1）がらりは開口率30%以上、外部のがらりは全てステンレス防鳥網付きとする
（2）ダクト接続のがらりには四方枠（L-30×30×3 錆止め塗料塗り、アルミPL-2.0、D=150、断熱材吹付t=25）取付けとする【4-52~7】
（3）サッシ方立等で、手摺が取付く部分には、下地補強プレートt=1.0を裏打ちすること
2）ガラス
（1）網入りガラスは、網の切り口を防錆処理すること
3）建具金物
（1）扉取手の高さは、FL+1,000㎜とする
（2）マスターキーグループについては、監理者の指示による
4）取り合い
（1）床仕上の異なる部分に取り付く建具下枠部には、扉の下部になるように沓摺又は床見切を設置すること
5）入退室管理システム（詳細は図示による）
・行う　　●行わない
・非接触カードリーダー　・テンキーパッド　・磁器カードリーダー　・指紋照合機

2．アルミニウム製建具

1）建具本体・枠
（1）外部建具は結露受け取付けとし建具枠との取合いはシーリングのこと
（2）外倒排煙窓は45度以上開放とする
（3）枠見込みは、（　・70㎜　●100㎜　）とする
2）建具金物
（1）排煙オペレーター及び電気錠等の配線、配管及び操作ボックス等は埋込型とする
（2）排煙オペレーターは隠蔽タイプとし、開放押ボタン・閉鎖手動ハンドル回転式とし、取付高さは原則としてFL+1,300㎜とする
（3）開き窓、回転窓等のストッパー、アーム等はステンレス製とする
（4）クレセントは大型レバータイプ、非常口を除き錠付とし、取付け高さは、FL+800以上FL+1,500以下とする
3）取り合い
（1）鏡板、額縁は見付25㎜、見込は各部壁仕上面よりチリ10㎜とする

3．鋼製建具、鋼製軽量建具、ステンレス製建具、木製建具

1）建具本体・枠
（1）開き戸、引き戸は原則として両面フラッシュとし、片面フラッシュ使用箇所は建具表による
（2）鋼製軽量建具の召し合わせ、縦小口包み等の材質は特記による
2）建具金物
（1）壁当りとなる開き戸は壁面からの逃げ寸法を100㎜程度とし、ドアクローザーの有無にかかわらず戸当り（ステンレス製・ゴムクッション付）を設ける
（2）親子開き、両開きの防火戸には、順位調整器取付のこと
（3）防火戸に用いるドアクローザー、フロアヒンジ、ヒンジクローザーはストップ機構なしとする
（4）防火戸には子扉側にもドアクローザーを設置する
（5）外部開き戸に取付くドアクローザーは、バックチェック機能付きとする
（6）外部開き戸に取付く戸当たりは、あおり止め（フック）付きとする
（7）ドアクローザー（標準タイプ）は焼付塗装品（　・ホワイト　●シルバー　・　　・特注色　）とし、原則として室内側取り付けとする
また、室内、室外の区別が難しい場合は、監理者と協議すること
（8）両開き戸及び親子開き戸はフランス落し（上げ落し）付きとする
（9）扉見込寸法は下表による

SD及びSSD	LD	WD
40（H=2,400未満、W=1,050以下）	36 ～ 40	30（H=1,000未満、W=900以下）
50（H=2,400以上、W=1,600以下）	H	36（H=1,800未満、W=900以下）
50（H=2,700以上、W=1,500以下）	21（戸ふすまは30）	40（H=2,400未満、W=900以下）
60（H=3,200以上、W=2,000以下）	P	
	24	

（10）建具金物は下表による

建具形式	ヒンジ	取　手	錠	ドアクローザー	備　考
一般開き戸	●TH　・PH	レバ	箱錠	DC	
常時閉鎖式防火戸	・TH　・PH	レバ	空錠	DC	
随時閉鎖式防火戸	●HC	ケース	空錠		
点検扉	●隠し丁番	ケース	点検	DC	PS・EPS
機械室等の開き戸	・LOH　・	グレ	本締	DC	

3）仕上
（1）仕上は、がらり、額縁を含め下記とする。
鋼製建具　※EP-G（特注色）　・DP（ふっ素（特注色））　・
鋼製軽量建具　※焼付塗装（特注色）　・焼付塗装（標準色）
・EP-G（特注色）　・
焼付塗装は、メラミン樹脂又はアクリル樹脂とする

4．鋼製軽量吊り引戸

1）建具本体・枠
（1）鋼製軽量吊り引き戸（E型）取付箇所の三方枠は、鋼製軽量吊り引き戸に含むものとする
（2）戸袋の有無、片面、両面の仕様については建具表による
2）建具金物
（1）手動開放、自動閉鎖装置付とする
（2）建具金物は下表による

建具形式	ヒンジ	取　手	錠	ドアクローザー	備　考
吊り引戸		押棒	本締	SL	

（3）その他の機能の適用は下記による
・フリーストッパー
・オートストッパー
●全開時ストッパー
●非常解除型全開時ストッパー
●戸袋引き込み部プロテクトラバー
●戸当りゴム　●ガード付戸当りゴム　●戸尻ゴム
●戸袋パネルコーナーガード
・キックプレート SUS304 t=1.0HL、H=300、両面
・錠前開閉ガイドシール
3）仕上
（1）仕上は、がらり、額縁を含め（　※焼付塗装（特注色）　・焼付塗装（標準色）　）とする。
焼付塗装は、メラミン樹脂又はアクリル樹脂とする

5．自動ドア

（1）電源を切った場合又は停電時手動開放方式とする
（2）全て電源スイッチ付き（ステンレススイッチボックス、鍵付）とし、近傍の壁等に設置する
（3）扉枠見付は、W=　㎜とし、ドア上フレームは、（　・無し　・有り　）とする
（4）キックプレート SUS304 t=1.5 HL（H=300～350）を、（　・設置する　●設置しない　）
（5）自動ドアガードは特記による
（6）非常電源装置（　・非常時開放用　●非常時閉鎖用　）を、（　●設置する　・設置しない　）
（7）電気錠（　・停電時施錠型／手動解錠装置付　・停電時解錠型／手動解錠装置付　）を、（　・設置する　●設置しない　）

6．可動間仕切

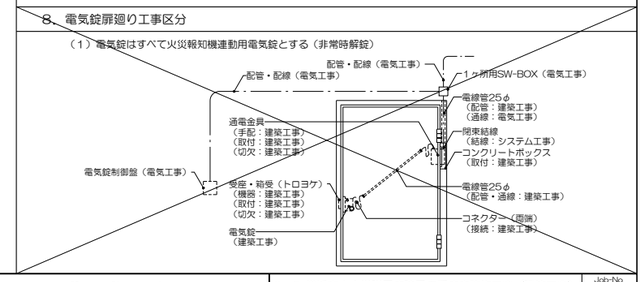
（1）設備用開口（100×50程度）を含むものとし、取付位置は監理者の指示による
（2）防火性能は不燃以上とする

7．移動間仕切

（1）扉付の場合の取手は、（　・ケースハンドル　・フラットレバーハンドル　）とする

8．電気錠扉廻り工事区分

（1）電気錠はすべて火災報知機連動用電気錠とする（非常時解錠）



（1）各項目の※及び・の適用は特記仕様書と同様とする
（2）【O-OO-O】内の数字は建築工事標準詳細図の詳細番号を示す
（3）【△OO】内の数字は部分詳細図の詳細図番号を示す（△はアルファベットとする）

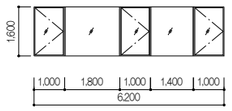
株式会社　伊藤喜三郎建築研究所
一級建築士事務所
東京都知事登録番号　第2215号
設計者　赤岩重信
一級建築士登録番号　第281032号

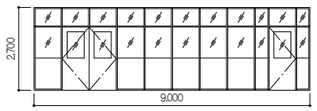
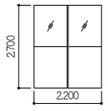
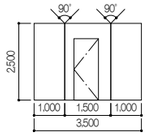
設　計　者				
総括責任者 赤岩重信 一級建築士 第281032号	担当者 山寺美和子 一級建築士 第309931号	担当者 山巻潤 一級建築士 第364029号	担当者 山本哲也 一級建築士 第333045号	担当者 大室真悟 一級建築士 第380799号
担当者 母澤加代子 一級建築士 第348007号				

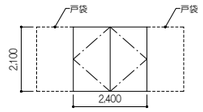
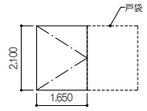
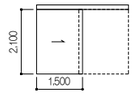
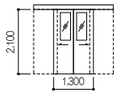
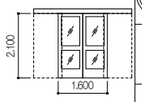
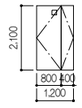
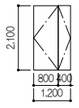
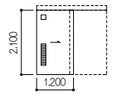
件　名	横浜市立大学附属病院重症系病床改修工事（建築工事）
図　名	建具表（共通事項編）
縮　R -	日　付 2023/06/30（令和5年）
Job-No.	22060
意匠	20

伊藤喜三郎建築研究所

建具表

姿図	記号	数量	建具本体 幅(W)/高さ(H)/枠見込(D)	建具本体 形式	ガラス 種別	ガラス 厚さ	取り合い 鏡板	取り合い 額縁	取り合い 水切	付属金物一式	建具金物	備考
AW-1 	1 AW	1	6200									
			1600	はめ殺し窓付き片開き窓	HR	8						
			170									

姿図	記号	数量	建具本体 幅(W)/高さ(H)/見込(D)	建具本体 形式/仕上	枠 形状/材質/仕上	ガラス 種別	ガラス 厚さ	建具金物 ヒンジ	建具金物 取手	建具金物 錠	建具金物 ドアクローザー	備考
AC-1	1 AC	1	1300									
			2100	上吊アコーディオン引き戸		-	-	-	引手	引戸	-	
			40									
SW-1	1 SW	1	800									
			1100	嵌め殺し窓付引違い窓		F	4					
			40									
PT-1 	1 PT	1	9000									
			2700	開き戸付可動間仕切り		F	4	-	ノブ	-	-	
			40									
	2 PT	1	2200									
			2700	可動間仕切り		F	4	-	-	-	-	
			40									
	3 PT	1	3500									
			2500	開き戸付可動間仕切り		-	-	-	ノブ	-	-	
			40									
PT-2 												
PT-3 												

姿図	記号	数量	建具本体 幅(W)/高さ(H)/見込(D)	建具本体 形式/仕上	枠 形状/材質/仕上	ガラス 種別	ガラス 厚さ	建具金物 ヒンジ	建具金物 取手	建具金物 錠	建具金物 ドアクローザー	備考
SD-1F 	1F SD	1	2400	鋼製	S1							煙感知器連動
			2100	随時閉鎖式両開き戸	S	-	-	HC	ケース	-	-	特定防火設備
			40	焼付塗装	焼付塗装							
SD-2	2 SD	2	900	鋼製	S4							
			1500	随時閉鎖式両開き戸	S	-	-	隠し丁番	ケース	箱錠	-	
			40	焼付塗装	焼付塗装							
SD-3F 	3F SD	2	1650	鋼製	S1							煙感知器連動
			2100	随時閉鎖式両開き戸	S	-	-	HC	ケース	-	-	特定防火設備
			40	焼付塗装	焼付塗装							
SH-1 	1 SH	1 自動	1500	鋼製	L3							BK型
			2100	上吊自動片引き戸	S	-	-	-	-	本締	-	ドアエンジン
			40	焼付塗装	焼付塗装							フットスイッチ
SH-2 	2 SH	1 自動	1300	鋼製	L3							BK型
			2100	額付上吊自動片引き戸	S	-	-	-	-	本締	-	ドアエンジン
			40	焼付塗装	焼付塗装							フットスイッチ
SH-3 	3 SH	1 自動	1600	鋼製	L3							E型
			2100	額付上吊自動両引分け戸	S	-	-	-	-	本締	-	ドアエンジン
			40	焼付塗装	焼付塗装							フットスイッチ
LD-1	1 LD	2	800	鋼製軽量	L1b							
			2100	額付片開き戸	S	F	4	TH	レバ	箱錠	DC	
			40	焼付塗装	焼付塗装							
LD-2	2 LD	1	800	鋼製軽量	L1b							
			2100	額・ガラリ付片開き戸	S	F	4	TH	レバ	箱錠	DC	
			40	焼付塗装	焼付塗装							
LD-3	3 LD	1	650	鋼製軽量	L1b							
			2100	額・ガラリ付片開き戸	S	F	4	TH	レバ	箱錠	DC	
			40	焼付塗装	焼付塗装							
LD-4	4 LD	2	900	鋼製軽量	L1b							
			2100	片開き戸	S	-	-	TH	レバ	箱錠	DC	
			40	焼付塗装	焼付塗装							
LD-5	5 LD	1	800	鋼製軽量	L1b							
			2100	片開き戸	S	-	-	TH	レバ	箱錠	DC	
			40	焼付塗装	焼付塗装							
LD-6	6 LD	1	900	鋼製軽量	L1b							
			2100	額付片開き戸	S	F	4	TH	レバ	箱錠	DC	
			40	焼付塗装	焼付塗装							
LD-7	7 LD	1	1200	鋼製軽量	L1b							
			2100	額付片開き戸	S	F	4	TH	レバ	箱錠	DC	
			40	焼付塗装	焼付塗装							
LD-8 	8 LD	1	1200	鋼製軽量	L1b							
			2100	額付親子扉	S	F	4	TH	レバ	箱錠	DC	
			40	焼付塗装	焼付塗装							
LD-9,10 	9 LD	2	1200	鋼製軽量	L1b							
			2100	親子扉	S	-	-	TH	レバ	箱錠	DC	
			40	焼付塗装	焼付塗装							
	10 LD	1	1200	鋼製軽量	L1b							
			2100	鉛入り親子扉	S	-	-	TH	レバ	箱錠	DC	
			40	焼付塗装	焼付塗装							
LH-1	1 LH	1	900	鋼製	L3							
			2100	額付上吊片引き戸	S	F	4	-	引手	引戸	-	BK型
			40	焼付塗装	焼付塗装							
LH-2 	2 LH	1	1200	鋼製	L3							
			2100	額・ガラリ付上吊片引き戸	S	F	4	-	引手	引戸	-	BK型
			40	焼付塗装	焼付塗装							
LH-3	3 LH	1	900	鋼製	L3							
			2100	額付上吊片引き戸	S	F	4	-	引手	引戸	-	BK型
			40	焼付塗装	焼付塗装							

（1）各項目の※及び ・ の適用は特記仕様書と同様とする
（2）【○-○○-○】内の数字は建築工事標準詳細図の詳細番号を示す
（3）【△○○】内の数字は部分詳細図の詳細図番号を示す（△はアルファベットとする）

株式会社 伊藤喜三郎建築研究所
一級建築士事務所 東京都知事登録番号 第2215号
設計者 赤岩重信 一級建築士登録番号 第281032号

設計者

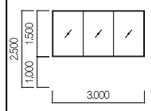
総括責任者	担当者	担当者	担当者	担当者
赤岩重信 一級建築士 第281032号	山寺美和子 一級建築士 第309931号	山嶋潤 一級建築士 第364029号	山本哲也 一級建築士 第333045号	大室真悟 一級建築士 第380799号
担当者 岡澤加代子 一級建築士 第348007号				

件名	横浜市立大学附属病院重症系病床改修工事（建築工事）
図名	建具表【撤去】
縮尺	1/100(A1),1/200(A3)
日付	2023/06/30（令和5年）
Job-No.	22060
	意匠
	21

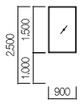
伊藤喜三郎建築研究所

姿図

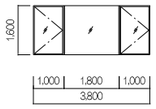
SW-1



SW-2



AW-1

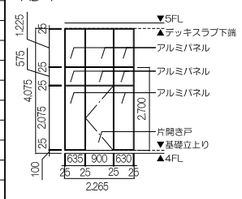


建具表

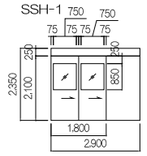
記号	数量	建具本体 幅(W)×高さ(H)×枠見込(D)	建具本体 形式	ガラス 種別	ガラス 厚さ	取り合い 鏡板	取り合い 額縁	取り合い 水切	付属金物一式	建具金物	備考
1/SW	1	3000									GF-(1)
		1500	はめ殺し窓	P	5	-	-	-			
		170	EP-G								
2/SW	2	900									GF-(1)
		1500	はめ殺し窓	P	5	-	-	-			
		170	EP-G								
1/AW	1	3800									GF-(1)
		1600	はめ殺し窓付き片開き窓	HR	8	A	A	A	○		
		285									

姿図

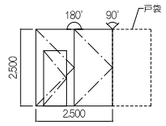
AD-1



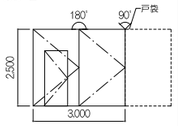
SSH-1



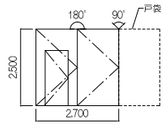
SD-1F



SD-2F

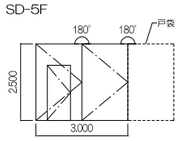


SD-3F

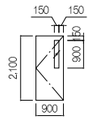


SD-4

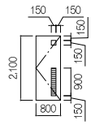
SD-5F



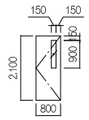
LD-1



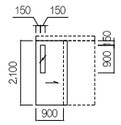
LD-2



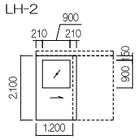
LD-3



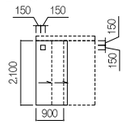
LH-1



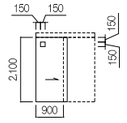
LH-2



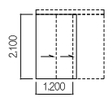
LH-3



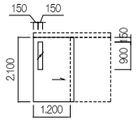
LH-4



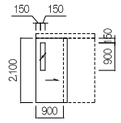
LH-5



LH-6



LH-7F



建具表

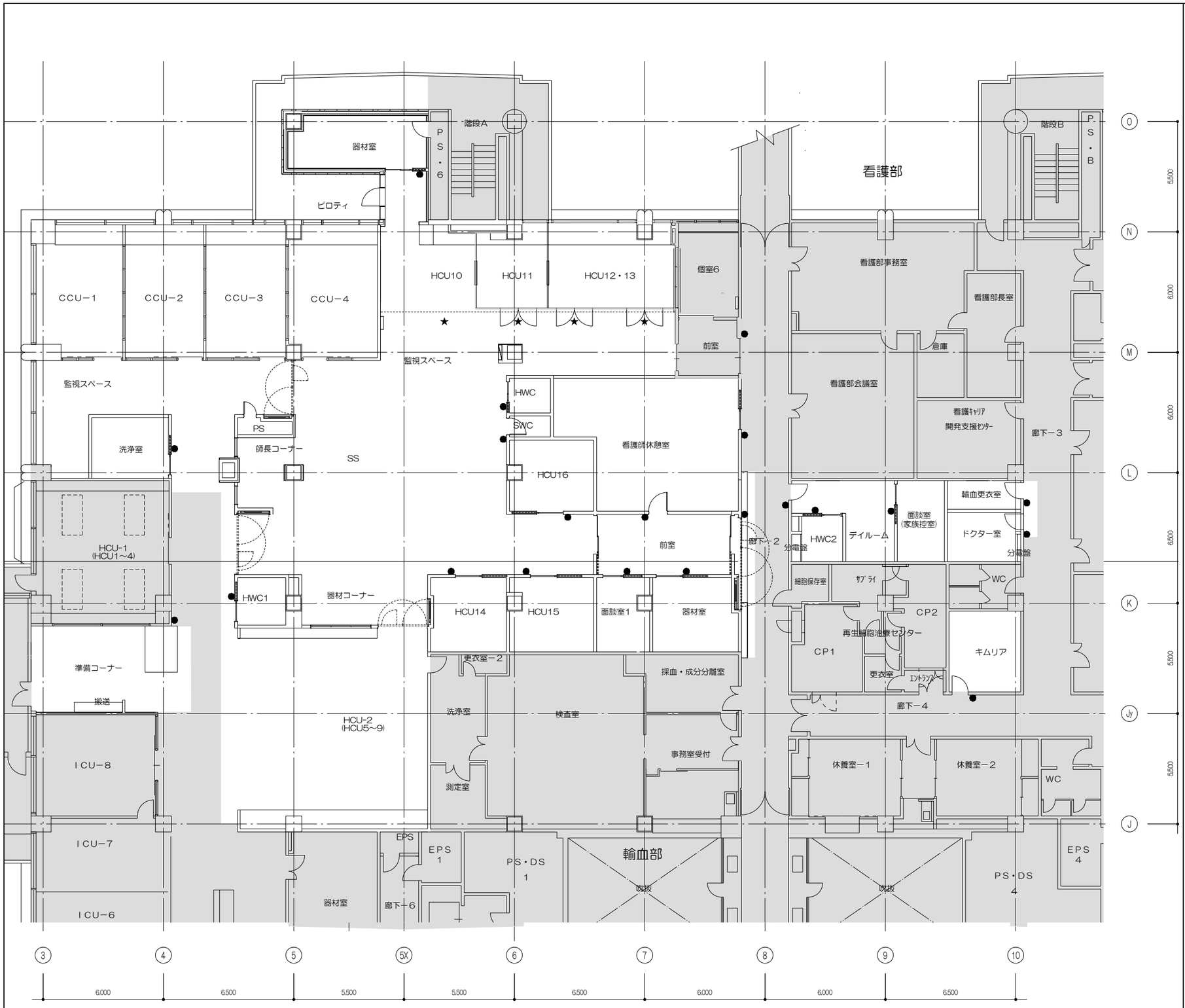
記号	数量	建具本体 幅(W)×高さ(H)×見込(D)	建具本体 形式 仕上	枠 形状 材質 仕上	ガラス 種別	ガラス 厚さ	建具金物 ヒンジ	建具金物 取手	建具金物 錠	建具金物 ドアクローザー	備考
1/AD	1	2265	アルミニウム製								
		4075	片開き戸	A	-	-	TH	レバ	箱錠	DC	破壊錠
		40	アルミパネル	電解二次着色							開放制限付
1/SSH 自動	2	2900	ステンレス製はめ殺し窓付	-							自動扉装置一式
		2100	片引き自動扉	SS	T	8	-	-	本締	-	フットスイッチ
		-	HL	HL							GF-(1)
1/F SD	1	2500	鋼製	-							随時閉鎖式
		2500	潜戸付二枚折れ防火戸	S	-	-	HC	ケース	空錠	-	特定防火設備
		40	焼付塗装	焼付塗装							煙感知器連動
2/F SD	1	3000	鋼製	-							随時閉鎖式
		2500	潜戸付二枚折れ防火戸	S	-	-	HC	ケース	空錠	-	特定防火設備
		40	焼付塗装	焼付塗装							煙感知器連動
3/F SD	1	2700	鋼製	-							随時閉鎖式
		2500	潜戸付二枚折れ防火戸	S	-	-	HC	ケース	空錠	-	特定防火設備
		40	焼付塗装	焼付塗装							煙感知器連動
4/SD	1	600	鋼製	S4							
		2100	片開き戸	S	-	-	隠し丁番	ケース	点検	-	
		40	焼付塗装	焼付塗装							
5/F SD	1	3000	鋼製	-							随時閉鎖式
		2500	潜戸付二枚折れ防火戸	S	-	-	HC	ケース	空錠	-	特定防火設備
		40	焼付塗装	焼付塗装							煙感知器連動
1/LD	1	900	鋼製軽量	L1a							GF-(1)
		2100	額付片開き戸	S	P	5	TH	レバ	箱錠	DC	
		40	焼付塗装	焼付塗装							
2/LD	1	800	鋼製軽量	L1a							GF-(1)
		2100	ガラリ・額付片開き戸	S	F	4	TH	レバ	表示	DC	ガラリ開口率30%
		40	焼付塗装	焼付塗装							
3/LD	1	800	鋼製軽量	L1a							GF-(1)
		2100	額付片開き戸	S	P	5	TH	レバ	箱錠	DC	
		40	焼付塗装	焼付塗装							
1/LH	3	900	鋼製軽量	L3							GF-(1)
		2100	額付片引き戸（BK型）	S	P	5	″	押棒	本締	SL	
		40	焼付塗装	焼付塗装							
2/LH	3	1200	鋼製軽量	L3							GF-(1)
		2100	額付片引き戸（BK型）	S	P	5	″	押棒	本締	SL	
		40	焼付塗装	焼付塗装							
3/LH	1	900	鋼製軽量	L3							GF-(1)
		2100	額付2連片引き戸（BK型）	S	F	4	″	押棒	表示	SL	
		40	焼付塗装	焼付塗装							
4/LH	2	900	鋼製軽量	L3							GF-(1)
		2100	額付片引き戸（BK型）	S	F	4	″	押棒	表示	SL	
		40	焼付塗装	焼付塗装							
5/LH	1	1200	鋼製軽量	L3							
		2100	2連片引き戸（BK型）	S	-	-	″	押棒	本締	SL	
		40	焼付塗装	焼付塗装							
6/LH	1	1200	鋼製軽量	L3							GF-(1)
		2100	額付片引き戸（BK型）	S	P	5	″	押棒	本締	SL	
		40	焼付塗装	焼付塗装							
7F/LH	1	900	鋼製軽量	L3							GF-(1)
		2100	額付片引き戸（BK型）	S	P	5	″	押棒	本締	SL	特定防火設備
		40	焼付塗装	焼付塗装							
											GF-(1)

（1）各項目の※及び ・ の適用は特記仕様書と同様とする
（2）【0-00-0】内の数字は建築工事標準詳細図の詳細番号を示す
（3）【△00】内の数字は部分詳細図の詳細図番号を示す（△はアルファベットとする）

株式会社 伊藤喜三郎建築研究所
一級建築士事務所 東京都知事登録番号 第2215号
設計者 赤岩重信 一級建築士登録番号 第281032号

設計者
総括責任者 赤岩重信 一級建築士 第281032号
担当者 山寺美和子 一級建築士 第309931号
担当者 山嶋潤 一級建築士 第364029号
担当者 山本哲也 一級建築士 第333043号
担当者 大室貴悟 一級建築士 第380799号
担当者 岡澤加代子 一級建築士 第348007号

件名 横浜市立大学附属病院重症系病床改修工事（建築工事）
Job-No. 22060
図名 建具表【新設】
縮尺 1/100(A1),1/200(A3)
日付 2023/06/30（令和5年）
意匠 22
伊藤喜三郎建築研究所



【凡例】

▭ ：今回改修範囲外

● ：室名表示サイン【DT-H02】壁面に設置

★ ：室名表示サイン【DT-H02】防煙垂れ壁に設置

株式会社 伊藤喜三郎建築研究所

一級建築士事務所
東京都知事登録番号 第2215号

設計者 赤岩重信
一級建築士登録番号 第281032号

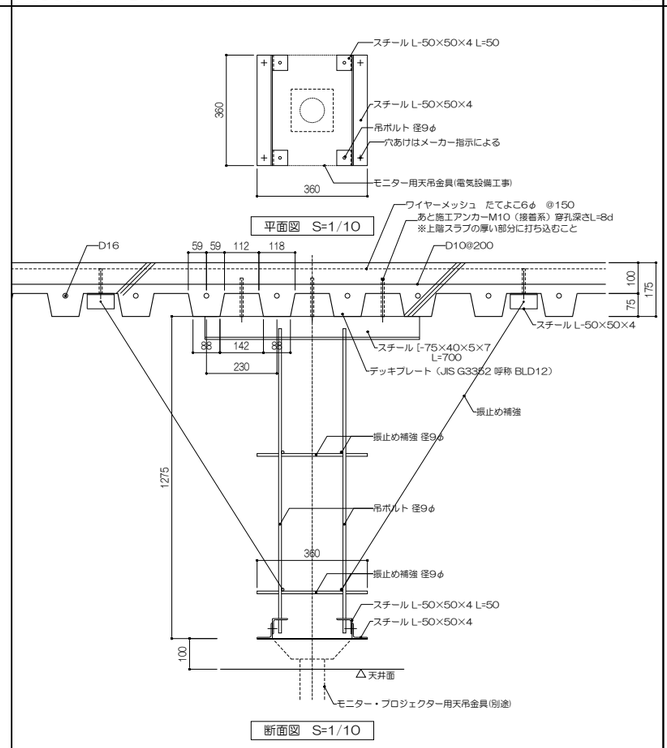
設計者				
総括責任者 赤岩重信 一級建築士 第281032号	担当者 山寺美和子 一級建築士 第306911号	担当者 山巻寶 一級建築士 第364029号	担当者 山本哲也 一級建築士 第332845号	担当者 大室真悟 一級建築士 第384799号
担当者 岡澤加代子 一級建築士 第348907号				

件名 横浜市立大学附属病院重症系病床改修工事（建築工事）		Job-No. 22060
図名 サインキープラン【新設】		意匠
縮尺 1/100(A1),1/200(A3)	日付 2023/06/30（令和5年）	23
伊藤喜三郎建築研究所		

DTリスト

分類	番号	名称
天井	【C01】	天井モニター取付補強
建具	【D01】	枠
室別詳細	(撤去F01)	ライニング
	【F01】	ライニング
	【F02】	吊戸棚幕板
	【F03】	造作流し台
	【F04】	多目的便所標準図
	【F05】	個室便所標準図
	【F06】	隔て板
部分詳細	【G01】	SSカウンター
雑詳細	【H01】	天井点検口・開口補強リスト
	【H02】	室名表示サイン
医療関係詳細	(撤去M01)	4階長後病室2～5　医療コンソール
	【J01】	HCU10　医療コンソール、
		OCU1～4　ナースコール用パネル
		(メーカー参考図)
	【J02】	HCU14～16　医療コンソール(スペーカー)(参考図)
	【J03】	HCU10～13・個室O　医療コンソール(リネン)(参考図)
		(メーカー参考図)

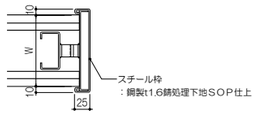
【C01】天吊モニター取付補強　S=1/20



（特記事項）
・本図様は【DT-H05】架台補強鉄骨により取付とする

【D01】一方枠　S=1/5

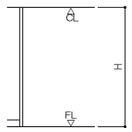
スチール枠



平面図　S=1/5

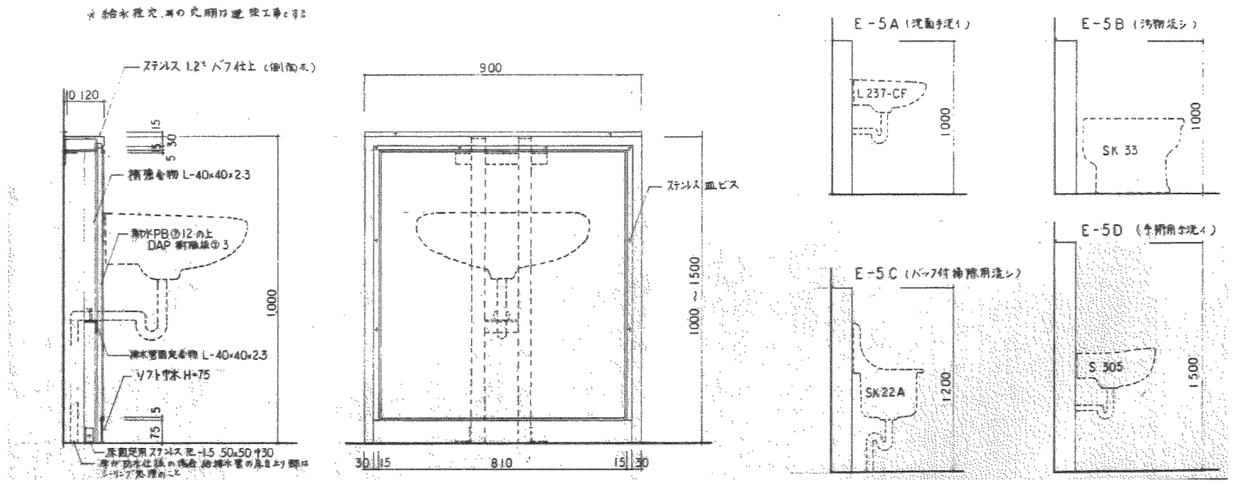
・W寸法は壁厚とする

一方枠：特記以外はH=天井高さ

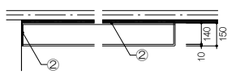


立面図　S=1/50

【撤去F01】ライニング　S=1/10、1/20



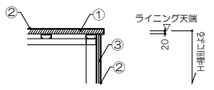
【F01】ライニング　S=1/5、1/20



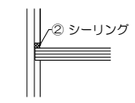
平面図

① 甲板：メラミン化粧合板ポストフォーム加工
見え掛かりの小口はメラミンコア材 t=1.2
（ライニングが天井まである場合は不要）
② シーリング W=5 D=5
③ 腰壁（側面共）：LGS下地 GB-S t=12.5 ＋ FK-C t=6
出隅及び入隅部　アルミ製見切(既製品)　指定色
④ 欠番
⑤ LGS下地材（65型）
⑥ 壁：仕上表による
⑦ 幅木：仕上表による
⑧ 取付補強 合板 t=24　H=ライニング高さ　W=ライニング有効幅
⑨ 点検口：300×300 FK-C　枠：塩ビ
注）見え掛りのボードジョイント部はアルミ首色品見切りを設ける

特記事項
※取付補強位置および詳細については、監理者、設備施工者と協議すること。

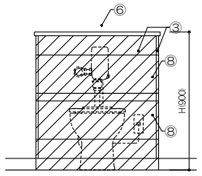


側面断面図

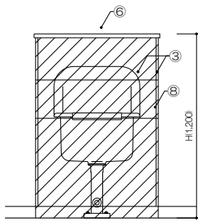


一般壁の場合

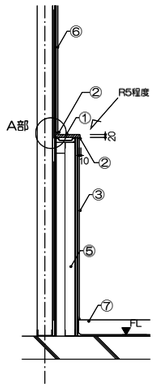
A部詳細図　S=1/5



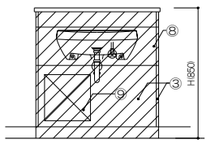
大便器立面図



汚物流し立面図

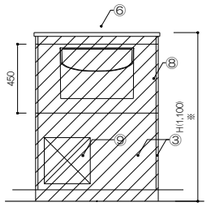


ライニング標準断面図



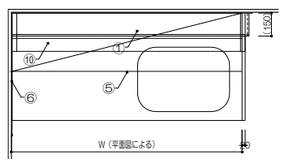
一般洗面器立面図

（右記以外の手洗い）

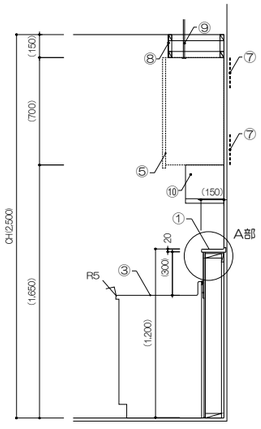


スタッフ用手洗い立面図

【F02】吊戸棚幕板　S=1/10、1/20



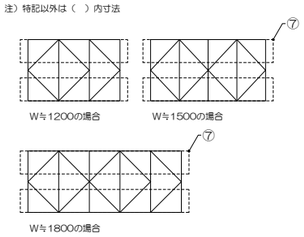
平面図



断面図

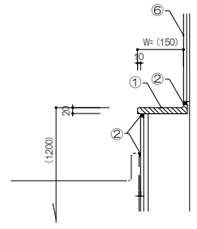
① ライニング【DT-F01】
（ライニングが天井まである場合は不要）
② シーリング W=5 D=5(3方)
③ 既製流し：サイズは平面詳細図による
④ 欠番
⑤ 既製品吊戸棚：扉部耐震ラッチ金物付き
⑥ 壁：FK-C
⑦ 補強金物：(壁)鋼板 t=1.2、W=300、L=吊戸棚Wによる
⑧ 吊戸棚幕板：GB-Rt9.5 LGS下地 仕上は同室壁仕上げによる
⑨ 吊金物：（天井）吊ボルトφ9（上部スラブまで）間隔および@900
⑩ 水切棚：ステンレス製 一段　W=吊戸棚Wによる　既製品

注）特記以外は（　）内寸法



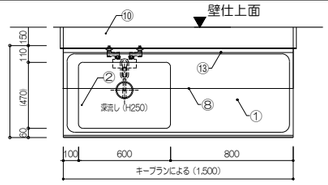
吊戸棚割付姿図

既製品吊戸棚　平面詳細W対象表
※扉の開き勝手は現場指示による

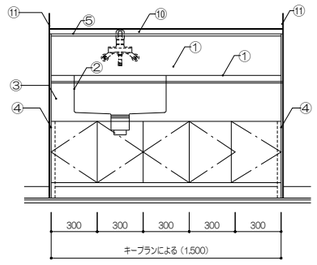


A部詳細図 S=1:10

【F03】造作流し台　S=1/10、1/20



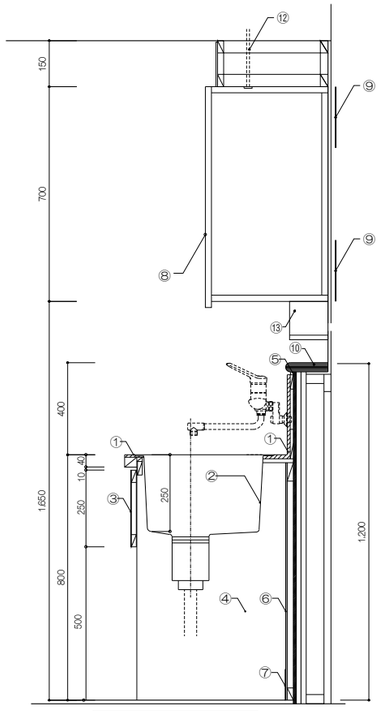
サイドシンク平面図　S=1/20



サイドシンク立面図　S=1/20

① 天板：SUS304 t=1.0折曲げ加工、下地積層合板t=18
② シンク：SUS304 t=1.0（結露防止剤吹付）
③ 幕板：メラミン化粧板張合板t20（小口：メラミンコア材）
④ 側板：メラミン化粧板フラッシュt25（小口：メラミンコア材）
⑤ シーリング
⑥ 内部：ポリ合板フラッシュt25（背面は片フラッシュ）
⑦ 幅木：メラミン化粧板フラッシュt25＋VB貼り
⑧ 既製品吊戸棚：扉部耐震ラッチ金物付き
⑨ 補強金物：(壁)鋼板 t=1.2、W=300、L=吊戸棚Wによる
⑩ ライニング：【F01】参照　点検口付き
⑪ アルミ見切り
⑫ 吊金物：（天井）吊ボルトφ9（上部スラブまで）　間隔および@900
⑬ 水切棚：ステンレス製 一段　W=吊戸棚Wによる　既製品

注）　下地、補強一式、排水トラップ50Aも、含む。



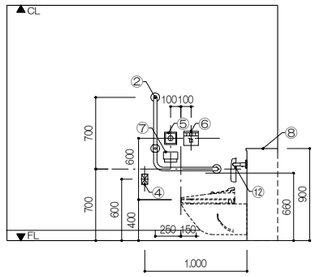
シンク部　断面図　S=1/10

株式会社　伊藤喜三郎建築研究所
一級建築士事務所
東京都知事登録番号　第22215号
設計者　赤岩重信
一級建築士登録番号　第281032号

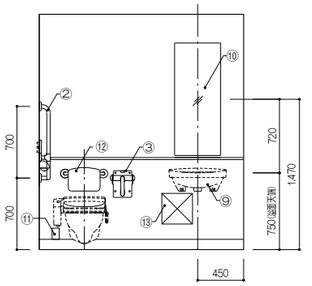
設計者				
総括責任者 赤岩重信 一級建築士 第281032号	担当者 山寺美和子 一級建築士 第309931号	担当者 山巻真 一級建築士 第364029号	担当者 山本哲也 一級建築士 第333045号	担当者 大室真悟 一級建築士 第380799号
担当者 岡澤加代子 一級建築士 第348007号				

件名 横浜市立大学附属病院重症系病床改修工事（建築工事）		Job-No. 22060
図名 部分詳細図1【撤去・新設】		意匠
縮尺 図示	日付 2023/06/30（令和5年）	24
伊藤喜三郎建築研究所		

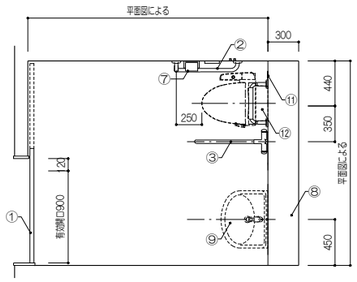
【F04】多目的便所標準図　S=1/30



立面詳細図



立面詳細図

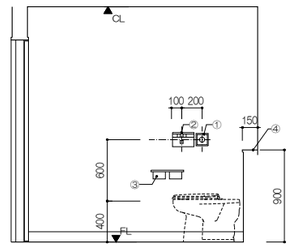


平面詳細図

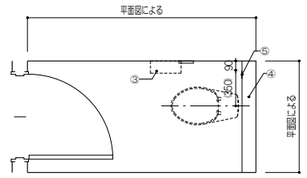
① 引き戸(建具表による)
② L型手摺：ステンレス製 SUS304 34φ
(表面処理：軟質塩ビ製)
③ 可動手摺：跳ね上げ式　ステンレス製 SUS304
(表面処理：軟質塩ビ製)
④ ナースコール(電気工事)
⑤ 洗浄ボタン(設備工事)
⑥ ウォシュレット用リモコン(設備工事)
⑦ 紙巻器(設備工事)
⑧ ライニング：【F01】参照
⑨ 洗面器(設備工事)
⑩ 車椅子用鏡：450×1100
⑪ コンセント(電気工事)
⑫ 背もたれ
⑬ 点検口：300×300　FK-C　枠：塩ビ
注）見え掛りのボードジョイント部はアルミ着色品見切りを設ける

注）手摺のLGS壁下地補強プレートは、t=1.2、400×400とする。
注）背もたれの取付下地は補強合板 t 24mm　200×600とする。

【F05】個室便所標準図　S=1/30



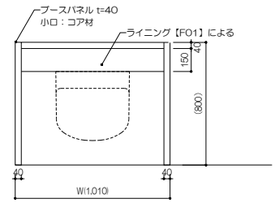
立面詳細図



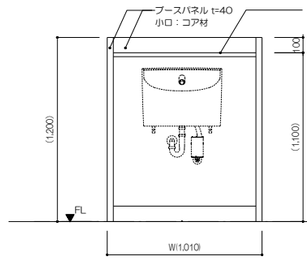
平面詳細図

① 洗浄ボタン(衛生工事)
② ウォシュレット用リモコン(衛生工事)
③ 紙巻器(機械設備工事)
下地補強プレート 300×500　St-PL t=1.2(建築工事)
④ ライニング：【F01】参照　(壁点検口300角)
⑤ コンセント(電気設備工事)

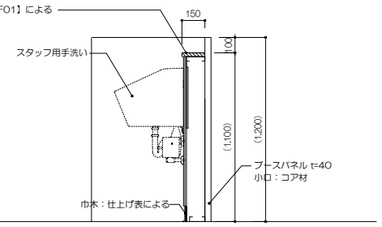
【F06】隔て板　S=1/20



平面図　S=1/20



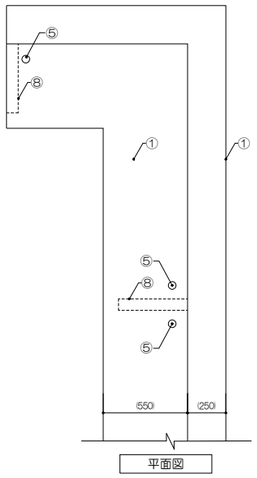
立面図　S=1/20



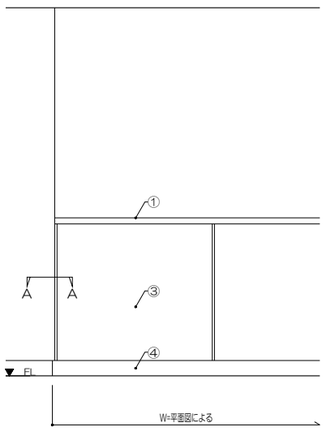
断面図　S=1/20

注）特記なき限り（　）内寸法とする

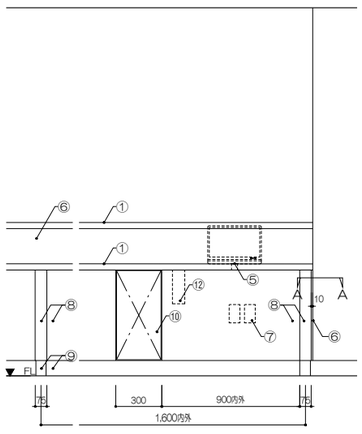
【G01】スタッフステーションカウンター　S=1/20



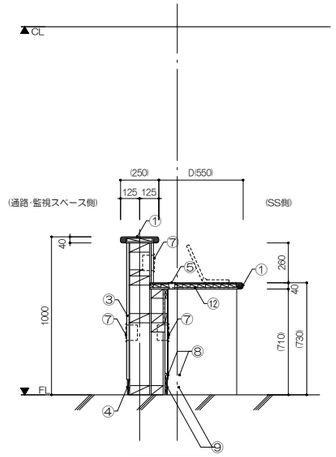
平面図



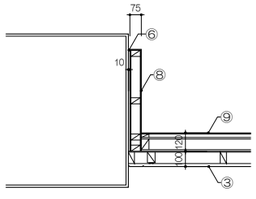
通路･監視スペース側立面図



SS側立面図



断面図



A-A断面図

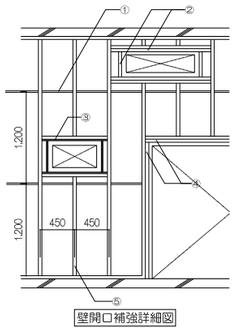
① 天板：メラミン化粧合板貼 ポストフォーム加工 t=40、下地積層合板 t=18
② 欠番
③ 腰：ポリエステル化粧板貼り　5.5mmベニヤ下地
④ 幅木：ポリエステル化粧板貼り　5.5mmベニヤ下地
⑤ 配線孔キャップ：プラスチック(既製品)
⑥ 押し縁：木+EP-G塗装
⑦ コンセント(電気工事)
⑧ 内側腰：t=4ポリエステル化粧板貼り（小口共）t=25
⑨ 内側幅木：t=5 合板下地、t=1.2 ポリエステル化粧板貼り
⑩ 点検口：t=3 合板下地、ポリエステル化粧合板貼り ビス止め
⑪ 欠番
⑫ 補強プレート：スチールプレート t=5 EP-G
⑬ 隔て板：側板、裏板：ポリエステル化粧板貼り t 40
注）特記以外は（　）内寸法

株式会社　伊藤喜三郎建築研究所
一級建築士事務所
東京都知事登録番号　第2215号
設計者　赤岩重信
一級建築士登録番号　第281032号

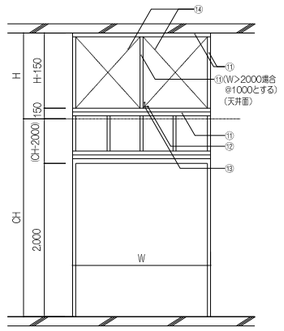
設計者				
総括責任者 赤岩重信 一級建築士 第281032号	担当者 山寺美和子 一級建築士 第309931号	担当者 山巻舞 一級建築士 第364029号	担当者 山本哲也 一級建築士 第333045号	担当者 大室真悟 一級建築士 第380799号
担当者 岡澤加代子 一級建築士 第348607号				

件名 横浜市立大学附属病院重症系病床改修工事（建築工事）		Job-No. 22060
図名 部分詳細図2【新設】		意匠
縮尺 図示	日付 2023/06/30（令和5年）	25
伊藤喜三郎建築研究所		

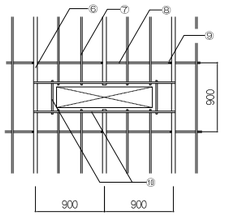
【H01】天井点検口・開口補強リスト　S=1/40



壁開口補強詳細図

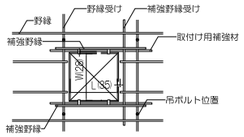


上部開口補強詳細図



天井開口補強詳細図

①振し止メ：@150C　[-25×10×1.2（H>4m）
　　[-19×12×1.2（H>4m）
②開口補強（ダクト等小規模開口）間柱　ライナーと同材
③取付補強：L-60×30×2.3
④開口補強（建具等大規模開口）
　[-60×30×10×2.3（H>4m）
　[-90×45×20×2.3（H>4m）
⑤間柱：[-65×45×10×0.8
　　[-120×45×10×0.8
⑥野縁：[-50×19×0.45



天井点検口

【共通事項】
- 天井開口補強は原則【3-41-1、2】【3-42-1】による
- その他天井点検口は【3-42-2】に従い天井開口部下地補強を行うこと
- 設置位置については監理者、設備施工者と協議をおこなうこと
- 建築工事分の開口補強については設計図より読み取ること

⑦野縁：[-25×19×0.45
⑧野縁受：[-38×12×1.1
⑨吊ボルト：9φ　@900
⑩天井開口補強（照明器具等）[-19×25×0.45
　　（ただし、点検口は[-38×12×1.1）
⑪[-100×50×20×2.3
⑫アンカーボルト9φ
⑬L-50×50×4
⑭設備用開口

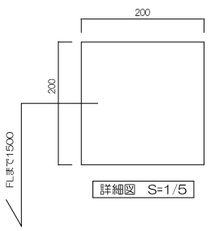
開口補強リスト

電気設備		機械設備		
開口寸法（mm）	数量	階数	開口寸法（mm）	数量
照明器具		4階	天井開口	
220　×　1,250	85		1,000 × 1,000	30
			100 × 100	7
			150 × 150	17
			200 × 200	11
			250 × 250	7
			300 × 300	4
			400 × 400	6
			450 × 450	10
			500 × 500	3

天井点検口

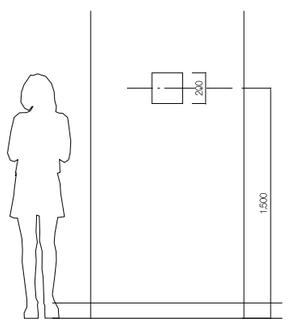
電気設備			機械設備		
階数	開口寸法（mm）	数量	階数	開口寸法（mm）	数量
4階	450 × 450(一般形)	5	3階	450 × 450(一般形)	17
	×		4階	450 × 450(一般形)	15
	×			×	
	×			×	

【H02】室名表示サイン　S=1/20、1/5



詳細図　S=1/5

本体：アクリル板 t 3.0+下地版 t 3.0
表示：シート貼り加工　シート切り文字貼り



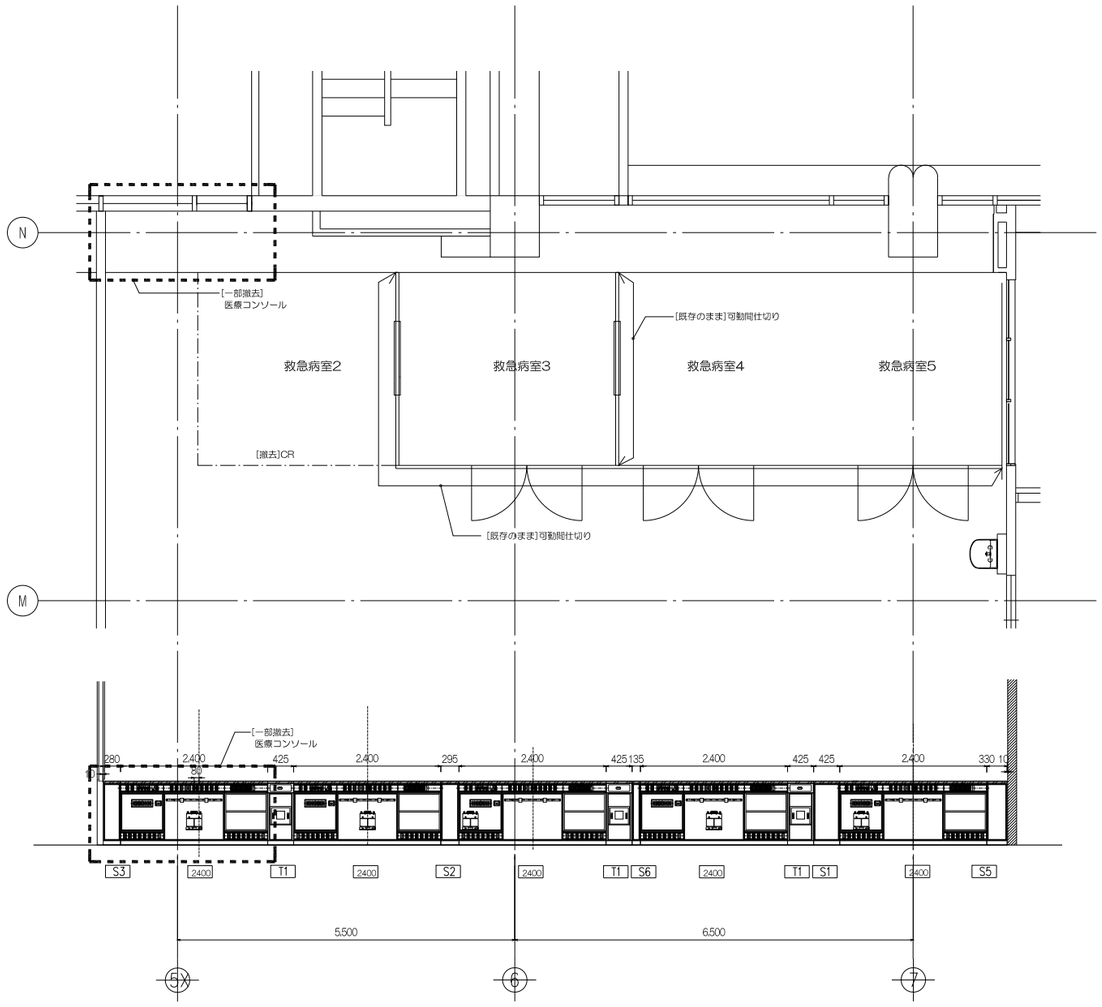
立面図　S=1/20

※25カ所新設
※表示内容は現場打合せによる

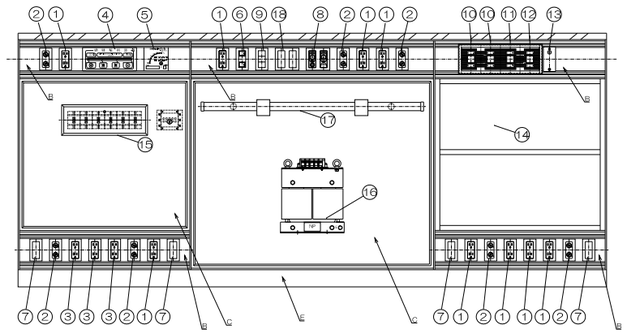
株式会社　伊藤喜三郎建築研究所
一級建築士事務所
東京都知事登録番号　第2215号
設計者　赤岩重信
一級建築士登録番号　第281032号

設計者				
総括責任者 赤岩重信 一級建築士 第281032号	担当者 山寺美和子 一級建築士 第305931号	担当者 山崎實 一級建築士 第364028号	担当者 山本哲也 一級建築士 第333845号	担当者 大家貴悟 一級建築士 第390799号
担当者 岡澤加代子 一級建築士 第348007号				

件名 横浜市立大学附属病院重症系病床改修工事（建築工事）		Job-No. 22060
図名 部分詳細図3【新設】		意匠
縮尺 図示	日付 2023/06/30（令和5年）	26
伊藤喜三郎建築研究所		

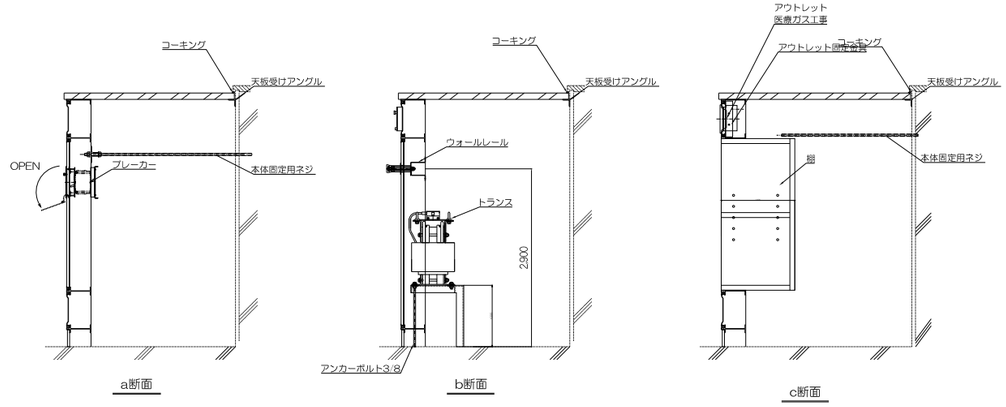


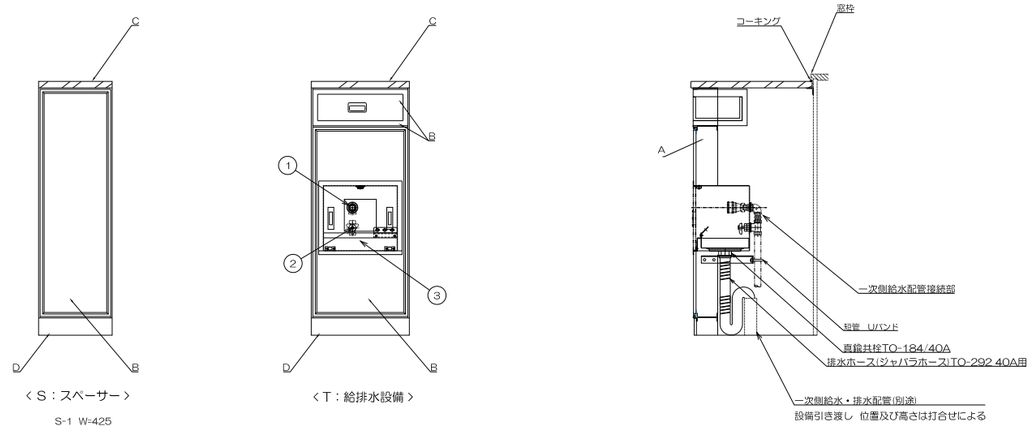
医療コンソール詳細図　S=1/10



番号	品　名	個数	備　考
1	医療用アース付ダブルコンセント	9	15A, 125V(ML1282C)茶色
2	医療用接地端子	6	ML1415　白色
3	医療用アース付ダブルコンセント	3	15A, 125V(ML1282R)赤色
4	絶縁監視装置	1	AC100V
5	電流監視装置	1	AC100V
6	処置灯用及び天井蛍光灯用スイッチ	1	開口のみ（長穴）
7	ブランクプレート	6	JISH4040 A6063-T5
8	ナースコール	1	開口のみ（2連）
9	情報端子用プレート	1	JISH4040 A6063-T5
10	酸素アウトレット	2	設備工事　開口のみ
11	空気アウトレット	1	設備工事　開口のみ
12	吸引アウトレット	1	設備工事　開口のみ
13	吸引フックベース	1	JISH4040 A6063-T5
14	棚	1	ラワン合板　メラミン貼り　色：
15	サーキットブレーカー	1	メイン(30A)-1, 分岐(20A)-5
16	アイソレーショントランス	1	5KVA 200V/100V
17	ウォールレール（フック2個）	1	JISH4040 A6063-T5
18	ブランクプレート(2連)	1	JISH4040 A6063-T5

天板詳細図





＜S：スペーサー＞

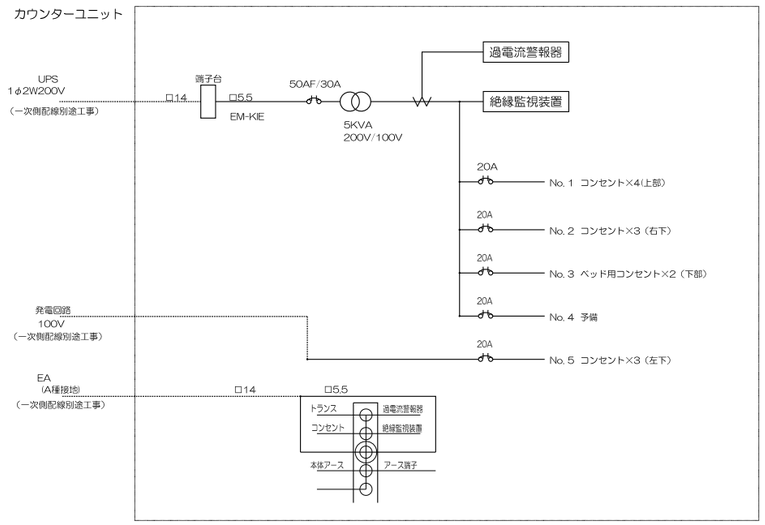
S-1　W=425
S-2　W=295
S-3　W=280
S-4　W=182
S-5　W=330
S-6　W=135

＜T：給排水設備＞

番号	品　名	個数	備　考
A	ウォール本体	1	JISH4100 A6063-T5 シルバーアルマイトクリアー塗装
B	化粧パネル	1	積層ベニヤ板　メラミン貼り　色：アイカK-6014KN
C	天板	1	積層ベニヤ板　メラミン貼り　色：アイカK-6202KN
D	巾木	1	ソフト巾木(別途)

番号	品　名	個数	備　考
1	給水カプラ	1	15A
2	給水バルブ	1	15A
3	防水パン	1	SUS304

カウンターユニット



- 接地線接続は、JIS T 1022 4.2「等電位接地」に準ずる
- 配線はEMケーブル対応規格
- 絶縁監視装置の警報は2.0mAで作動
- 過電流警報器の警報電流値は定格電流の80%

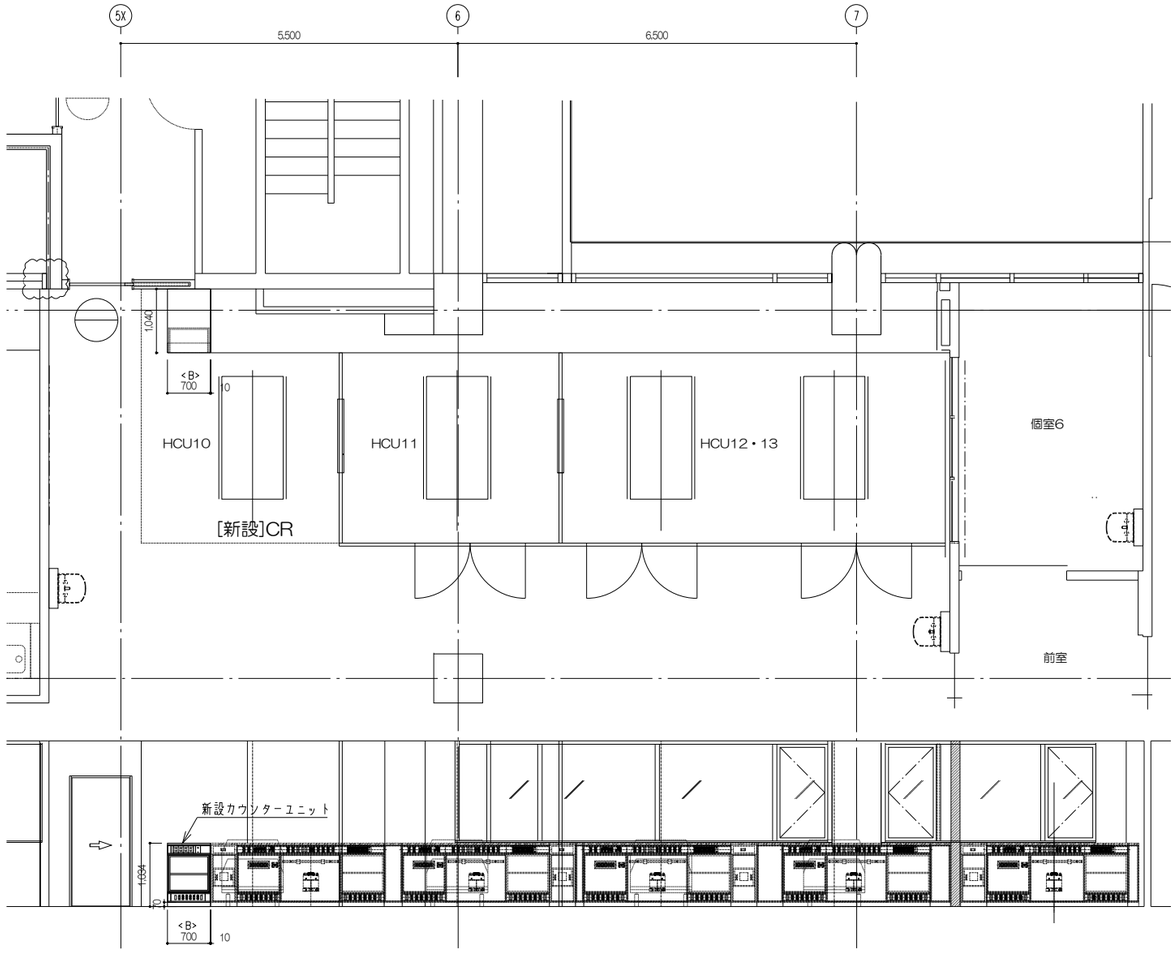
株式会社　伊藤喜三郎建築研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録番号　第2215号 設計者　赤岩重信 一級建築士登録番号　第281032号	設　計　者				件　名　横浜市立大学附属病院重症系病床改修工事（建築工事）
	総括責任者 赤岩重信 一級建築士 第281032号	担当者 山寺美和子 一級建築士 第305931号	担当者 山崎舞 一級建築士 第344929号	担当者 山本哲也 一級建築士 第332845号	担当者 大室真悟 一級建築士 第390709号
	担当者 岡澤加代子 一級建築士 第348007号				

図　名　部分詳細図4【撤去】		Job-No. 22060
縮　尺　図示	日　付　2023/06/30（令和5年）	意匠 27
伊　藤　喜　三　郎　建　築　研　究　所		

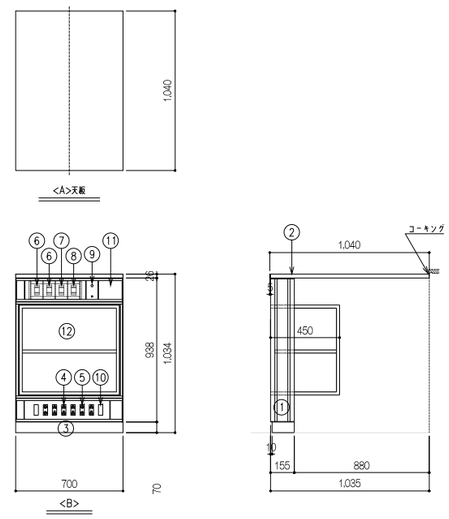
【J01】HCU10 医療コンソール、CCU1～4 ナースコール用パネル（メーカー参考図）

HCU10 医療コンソール　S=図示

改修後　HCU10　S=1/50



カウンターユニット<B>　S=1/20

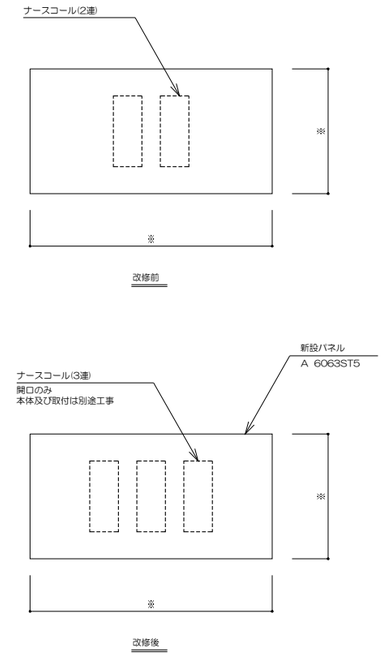


工事区分

1）各アウトレット本体及び取り付け，及びアウトレット迄の医療ガス配管接続　衛生設備工事
2）機器用端子本体及び取り付け，及び端子迄の空配管，配線及び接続　電気設備工事
3）その他弱電，医療機器等端子の本体及び取り付け，及び端子迄の空配管，配線及び接続　電気設備工事
4）取合いシリコンコーリング又は雑巾摺り　建築工事
5）カウンター巾木仕上げ　建築工事

番号	名称	数量	備考
1	本体フレーム	1S	A 6063ST5
2	天板	1	既存・・樹脂ベニヤ板 メラミン張り色：アイボK-6202KN
3	巾木	1	
4	医用アース付ダブルコンセント	4	AC125V 15A
5	医用アース端子	2	
6	医療ガスアウトレット	2	酸素(開口のみ)
7	医療ガスアウトレット	1	空気(開口のみ)
8	医療ガスアウトレット	1	吸引(開口のみ)
9	フックベース	1	(開口のみ)
10	弱電用ブランク	2	
11	ブランクプレート		A 6063ST5
12	収納棚	1	棚板2段　メラミン樹脂化粧合板

CCU1～4カウンターユニット　ナースコール用パネル　S=1/3



※寸法は現地調査にて採寸し作成
※改修カ所は計4カ所

カウンターユニット　仕様書

カウンターユニット　共通仕様書

記号	名称	規格 W	規格 H	規格 D	仕様	数量 HCU10	数量 合計	工事区分 項目	建築 建築工事	建築 ユニット工事	電気工事	衛生工事	空調工事	別途工事
<B>	カウンターユニット	700	1034	1040	(0,0,A,V,スワイドベース)×1 UPS 100V　差込式(15A×2)×4，アースターミナル×2 弱電用ブランク，収納(棚板1段)×1	1	1	カウンターユニット本体及び取付工事		○				
								同上への一次側電源の配管・配線(接続共)			○			
								同上への一次側接地線の配管・配線(接続共)			○			
								同上へのLAN用空配管及び配線・接続器具取付工事(接続共)			○			
								同上へのTV端子用空配管及び配線・接続器具取付工事(接続共)			○			
								医療ガスアウトレット・BOX，化粧パネル及びアウトレット迄の医療ガス配管接続工事				○		
								医療ガスアウトレット取付部の化粧パネル開口		○				
								弱電用の化粧パネル開口		○				

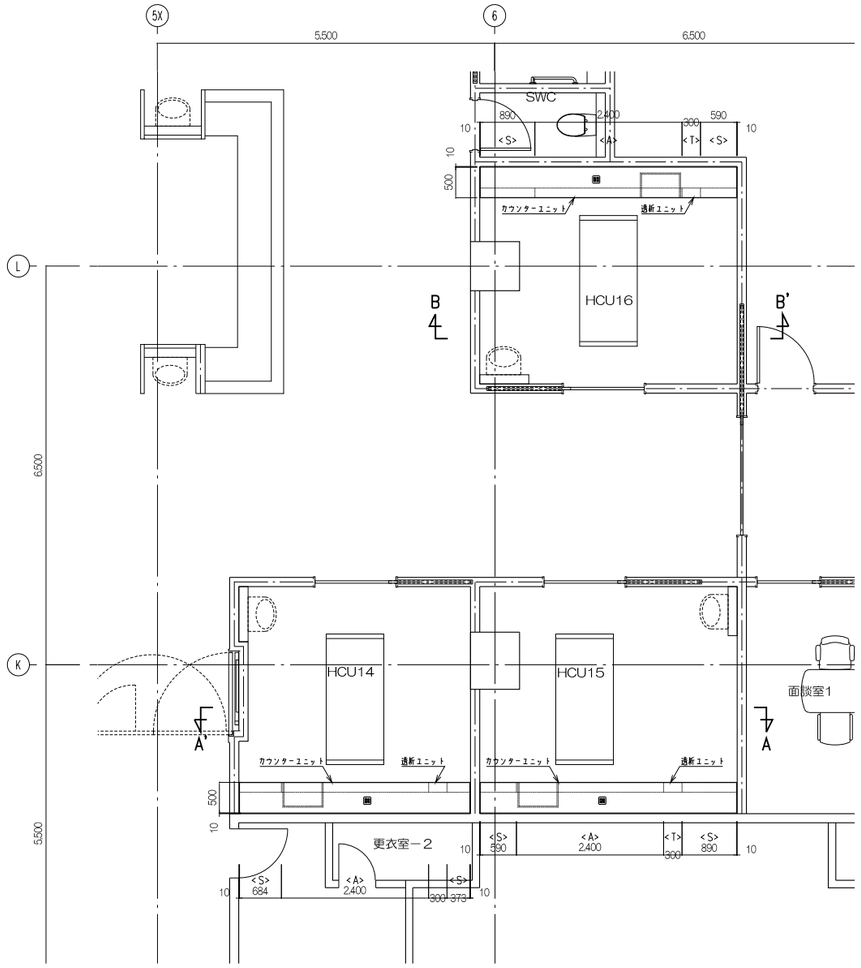
特記事項

見積区分は本仕様表に準ずる事
＊1．○印は工事区分を示す
＊2．電気設備工事においてカウンターユニットの端子台までを一次側とし，それ以降を二次側とする。
＊3．等電位接地工事は，JIS T 1022 4.1 b）に準拠し，二次側電気設備工事に含む
＊4．医用コンセントは，UPS系は緑，AC/GC系は赤とする
＊5．コンセントは，接地板付とする
＊6．カウンターユニットに設置する機器は下記の通りとし取付，配管，配線，結線は各施工業者工事とする
TV端子　・・・　電気設備工事
LAN端子　・・・　電気設備工事
映像用端子　・・・　電気設備工事
医療ガスアウトレット　・・・　衛生設備工事
＊7．提出書類等
1）本工事に関する書類は，全てA4とする
2）絶縁抵抗測定検査書
3）電流監視装置・過電流警報装置動作検査書
4）絶縁監視装置動作検査書
5）等電位接地検査書
6）機器設置検査書
7）製品検査書
6）品質機能検査
＊品質機能検査：絶縁抵抗測定，照度測定，電流監視装置・過電流警報装置動作，絶縁監視装置動作，等電位接地検査の二重確認を非接地配線方式を熟知した会社にて行うこと
7）各検査には，必要に応じて写真を提出する事
全ての施工完了後，直ちに試験成績書並びに写真等を監督員に提出する事

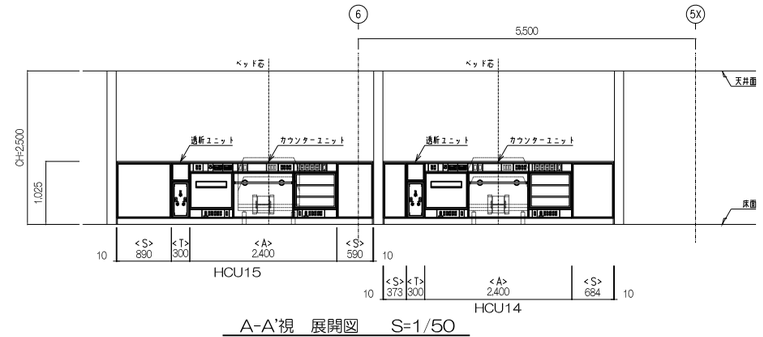
株式会社　伊藤喜三郎建築研究所
一級建築士事務所
東京都知事登録番号　第2215号
設計者　赤岩重信
一級建築士登録番号　第281032号

設計者
総括責任者 赤岩重信 一級建築士 第281032号
担当者 山寺英和子 一級建築士 第309931号
担当者 山脇潤 一級建築士 第364029号
担当者 山本岩也 一級建築士 第333045号
担当者 大室真悟 一級建築士 第380799号
担当者 岡津加代子 一級建築士 第348007号

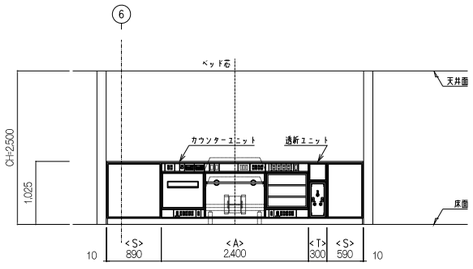
件名　横浜市立大学附属病院重症系病床改修工事（建築工事）
Job-No. 22060
図名　部分詳細図5【新設】
意匠 28
縮尺　図示
日付　2023/06/30（令和5年）
伊藤喜三郎建築研究所



HCU14～16　平面図　S=1/50

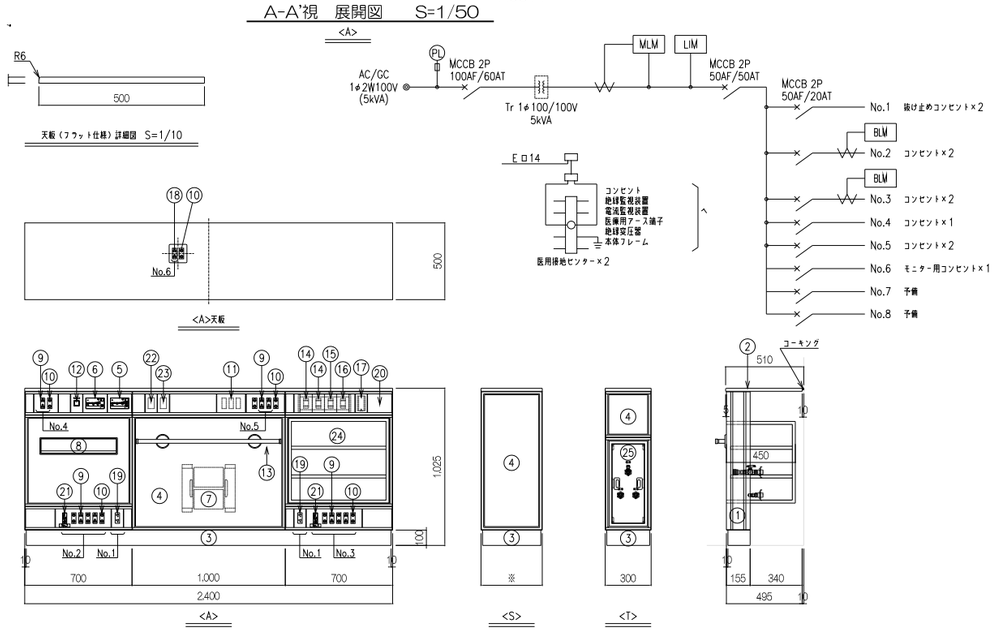


A-A'視　展開図　S=1/50



HCU16

B-B'視　展開図　S=1/50



カウンターユニット　器具図　S=1/20

工事区分

1）各アウトレット本体及び取り付け，及びアウトレット迄の医療ガス配管接続　衛生設備工事
2）1次側電源及び医用接地幹線（ロ14）の一次側配線及び接続　電気設備工事
3）ナースコール本体及び取り付け，及びナースコール迄の空配管，配線及び接続　電気設備工事
4）機器用端子本体及び取り付け，及び端子迄の空配管，配線及び接続　電気設備工事
5）その他弱電，医療機器等端子の本体及び取り付け，及び端子迄の空配管，配線及び接続　電気設備工事
6）透析用給水 20A FL+100 点検用バルブ及び透析ユニットへの接続　給排水設備工事
7）透析用排水 排水 40A 立ち上げ及び透析ユニットへの20A接続　給排水設備工事
8）取合いソリコンソーリング又は雑巾摺り　建築工事
9）カウンター巾木仕上げ　建築工事

番号	名称	数量 <A>	数量 <S>	数量 <T>	備考
1	本体フレーム	1S	1S	1S	A 6063ST5
2	天板	1	1	1	メラミン樹脂化粧合板
3	巾木	1	1	1	
4	化粧パネル（アルミエッジ付）	1S	1S	1S	メラミン樹脂化粧合板
5	絶縁監視装置（LIM）	1	－	－	2mA警報付
6	電流監視装置（MLM）	1	－	－	定格50A　警報50A　警告40A
7	絶縁変圧器（Tr）	1	－	－	1φ 100/100V 5kVA
8	ブレーカーユニット	1	－	－	メイン2，分岐8
9	医用アース付ダブルコンセント	7	－	－	AC125V 15A
10	医用アース端子	10	－	－	
11	ナースコールプレート	1	－	－	（開口のみ）
12	電源表示灯	1	－	－	AC100V（LED色：ピュアホワイト）
13	レールシステム	1	－	－	A 6063ST5
14	医療ガスアウトレット	2	－	－	酸素（開口のみ）
15	医療ガスアウトレット	1	－	－	空気（開口のみ）
16	医療ガスアウトレット	1	－	－	吸引（開口のみ）
17	スライドベース	1	－	－	（開口のみ）
18	モニター用コンセント	1	－	－	AC125V 15A
19	抜け止めコンセント	2	－	－	AC125V 15A
20	ブランクプレート				A 6063ST5
21	分岐用電流監視装置（BLM）	2	－	－	定格20A　警報20A　警告16A
22	照明スイッチ	1	－	－	（開口のみ）
23	処置灯スイッチ	1	－	－	（開口のみ）
24	収納棚	1	－	－	棚板2段　メラミン樹脂化粧合板
25	給排水バルブ	－	－	1	給水15A,排水15A

カウンターユニット　仕様書

カウンターユニット　共通仕様書

記号	名称	規格 W	規格 H	規格 D	仕様	数量 HCU14~16	数量 合計
<A>	カウンターユニット	2400	1025	500	(O,O,A,V,スライドベース)×1 絶縁変圧器（Tr）　UPS 1φ 100/100V 5kVA×1 絶縁監視装置（LIM），EPRポイント，電源表示灯，医用接地10Ω以下(ロ14) 電流監視装置（MLM）(50A警報，40A警告)×1 UPS 100V　差込式(15A×2)×7，アースターミナル×10 UPS 100V　差込式(15A×2)×1【モニター用】 UPS 100V　差込式(15A×2)×2【抜け止めコンセント】 分岐用電流監視装置（BLM）(20A警報，16A警告)×2 ナースコール，収納(棚板2段)×1	3	3
<S>	スペーサーユニット	*	1250		*W寸法は，平面図・展開図参照	6	6
<T>	透析用給排水ユニット	300	1250			3	3

項目	工事区分 建築 建築工事	工事区分 建築 ユニット工事	工事区分 電気工事	工事区分 衛生工事	工事区分 空調工事	工事区分 別途工事
カウンターユニット本体及び取付工事		○				
同上への一次側電源の配管・配線(接続共)			○			
同上への一次側接地線の配管・配線(接続共)			○			
同上へのナースコール用空配管及び配線・接続器具取付工事(接続共)			○			
同上へのLAN用空配管及び配線・接続器具取付工事(接続共)			○			
同上へのTV端子用空配管及び配線・接続器具取付工事(接続共)			○			
医療ガスアウトレット・BOX，化粧パネル及びアウトレット迄の医療ガス配管接続工事				○		
医療ガスアウトレット取付部の化粧パネル開口		○				
弱電用の化粧パネル開口		○				
スペーサーユニット本体及び取付工事		○				
透析ユニット本体及び取付工事		○				
同上への給水20A　FL+100　バルブ止め				○		
同上への排水40A　FL+100　キャップ止め				○		
同上との給水及び排水配管の接続工事				○		

カウンターユニット　仕上仕様書

名称	仕上材料	備考	工事区分 建築工事	工事区分 ユニット工事
本体フレーム	アルミニウム合金	A 6063ST5		○
設備用プレート	アルミニウム合金	A 6063ST5		○
化粧パネル	メラミン樹脂化粧合板	アルミエッジ付		○
天板	メラミン樹脂化粧合板			○
巾木			○	
取合い部シリコンシーリング		1成分形シリコンとし，防カビ剤入りとする	○	

*　カウンターユニット工事の仕様は，特記なき限り特記仕様に従う事とする

特記事項

見積区分は本仕様表に準ずる事

*1．○印は工事区分を示す
*2．電気設備工事においてカウンターユニットの端子台までを一次側とし，それ以降を二次側とする。
*3．等電位接地工事は，JIS T 1022 4.1 b）に準拠し，二次側電気設備工事に含む
*4．医用コンセント色は，UPS系は緑，AC/GC系は赤とする
*5．コンセントは，接地極付とする
*6．カウンターユニットに設置する機器は下記の通りとし取付，配管，配線，結線は各施工業者工事とする
　照明スイッチ　・・・　電気設備工事
　処置灯スイッチ　・・・　電気設備工事
　ナースコール　・・・　電気設備工事
　TV端子　・・・　電気設備工事
　LAN端子　・・・　電気設備工事
　映像用端子　・・・　電気設備工事
　空調コントロールパネル　・・・　空調設備工事
　医療ガスアウトレット　・・・　衛生設備工事
*7．提出書類等
　1）本工事に関する書類は，全てA4とする
　2）絶縁抵抗測定検査書
　3）電流監視装置・過電流警報装置動作検査書
　4）絶縁監視装置動作検査書
　5）等電位接地検査書
　6）機器設置検査書
　7）製品検査書
　6）品質機能検査
　　*品質機能検査：絶縁抵抗測定，閉度測定，電流監視装置・過電流警報装置動作，絶縁監視装置動作，等電位接地検査の二重確認を非接地配線方式を熟知した会社にて行うこと
　7）各検査には，必要に応じて写真を提出する事
全ての施工完了後，直ちに試験成績書並びに写真等を監督員に提出する事

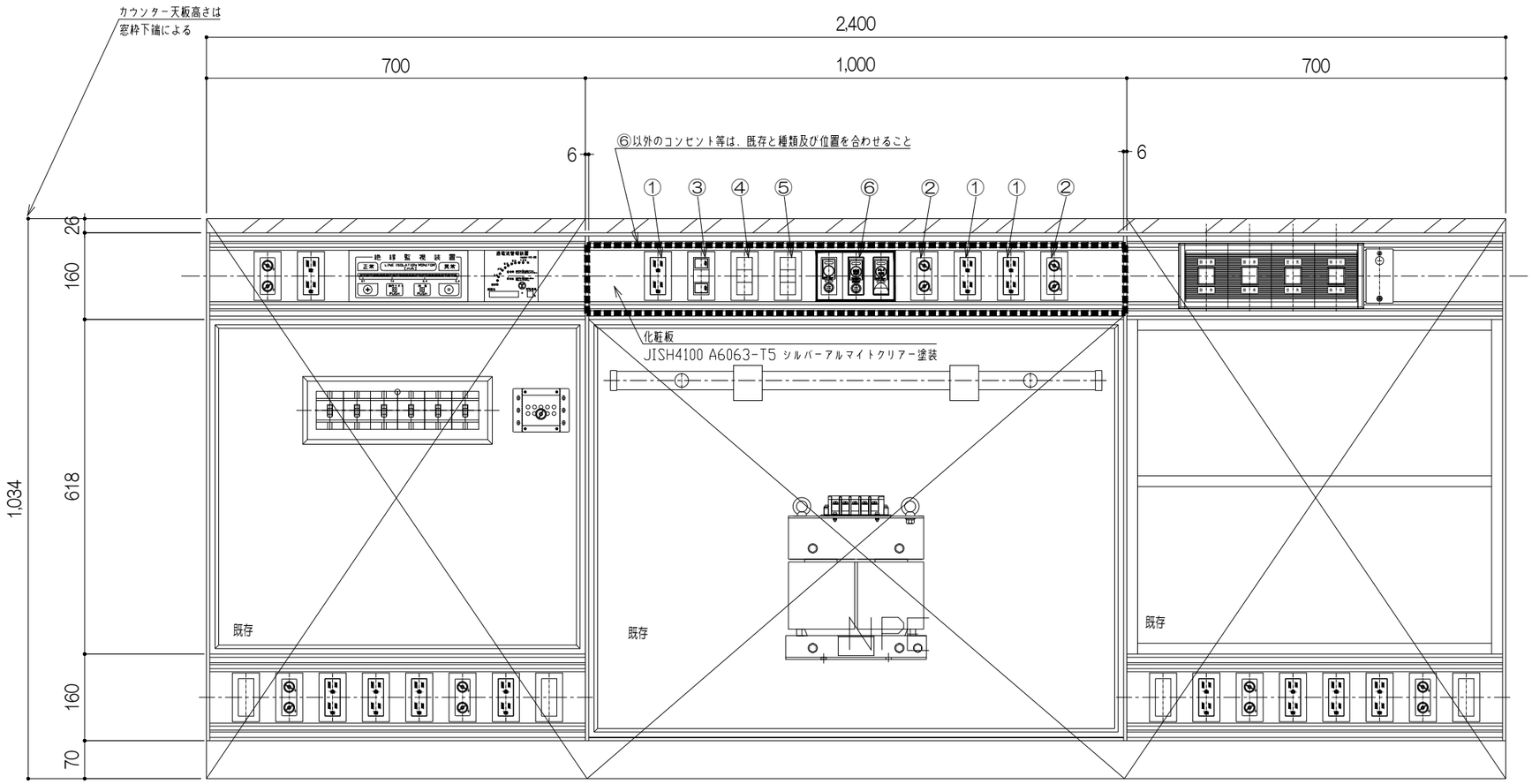
株式会社 伊藤喜三郎建築研究所
一級建築士事務所
東京都知事登録番号　第2215号
設計者　赤岩重信
一級建築士登録番号　第281032号

設計者
総括責任者 赤岩重信 一級建築士 第281032号
担当者 山寺美和子 一級建築士 第309531号
担当者 山巻潤 一級建築士 第364029号
担当者 山本哲也 一級建築士 第333043号
担当者 大室真悟 一級建築士 第380739号
担当者 岡澤加代子 一級建築士 第348007号

件名　横浜市立大学附属病院重症系病床改修工事（建築工事）
図名　部分詳細図6【新設】
縮尺　図示　日付　2023/06/30（令和5年）
伊藤喜三郎建築研究所
Job-No. 22060
意匠 29

番号	品　名
1	医療用アース付ダブルコンセント
2	医療用接地端子
3	処置灯用及び天井蛍光灯用スイッチ （配線・機器は電気工事）
4	情報端子用プレート
5	ブランクプレート
6	ナースコール　3口プレート （ナースコール本体及び取付は電気工事）

改修工事範囲を示す

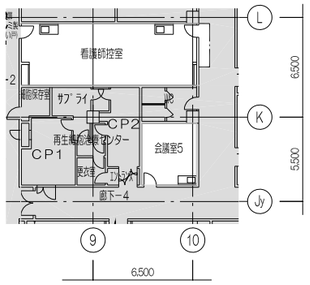


株式会社　伊藤喜三郎建築研究所
一級建築士事務所
東京都知事登録番号　第2215号
設計者　赤岩重信
一級建築士登録番号　第281032号

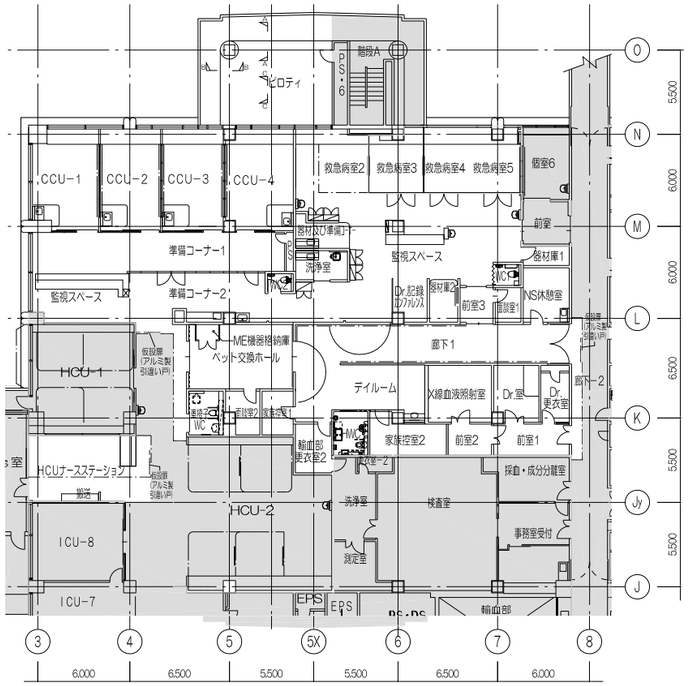
設　計　者				
総括責任者 赤岩重信 一級建築士 第281032号	担当者 山寺美和子 一級建築士 第306911号	担当者 山脇實 一級建築士 第364029号	担当者 山本哲也 一級建築士 第332845号	担当者 大室真悟 一級建築士 第390799号
担当者 岡澤加代子 一級建築士 第348907号				

件　名　横浜市立大学附属病院重症系病床改修工事（建築工事）		Job-No. 22060
図　名　部分詳細図7【新設】		意匠
縮　尺　図示	日　付　2023/06/30（令和5年）	30
伊　藤　喜　三　郎　建　築　研　究　所		

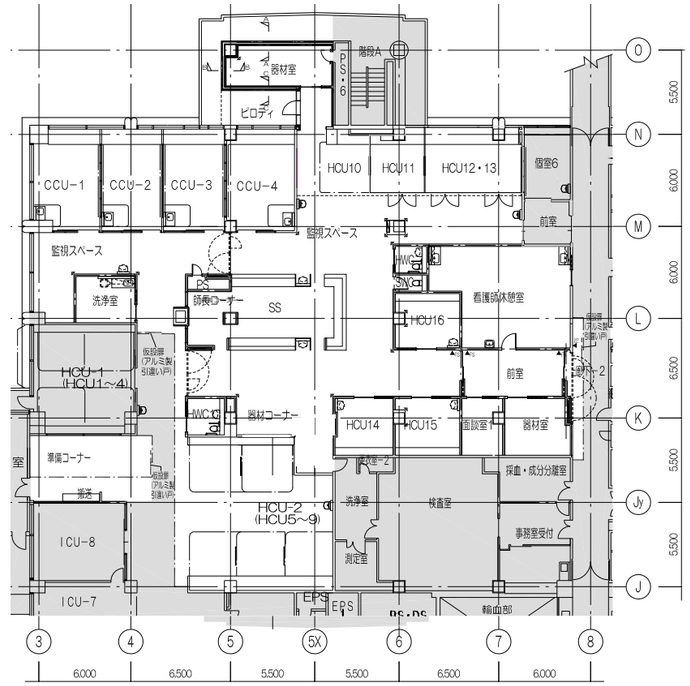
ステップ1：4階撤去・新設工事　看護師控室・会議室5（工期：４ヶ月）



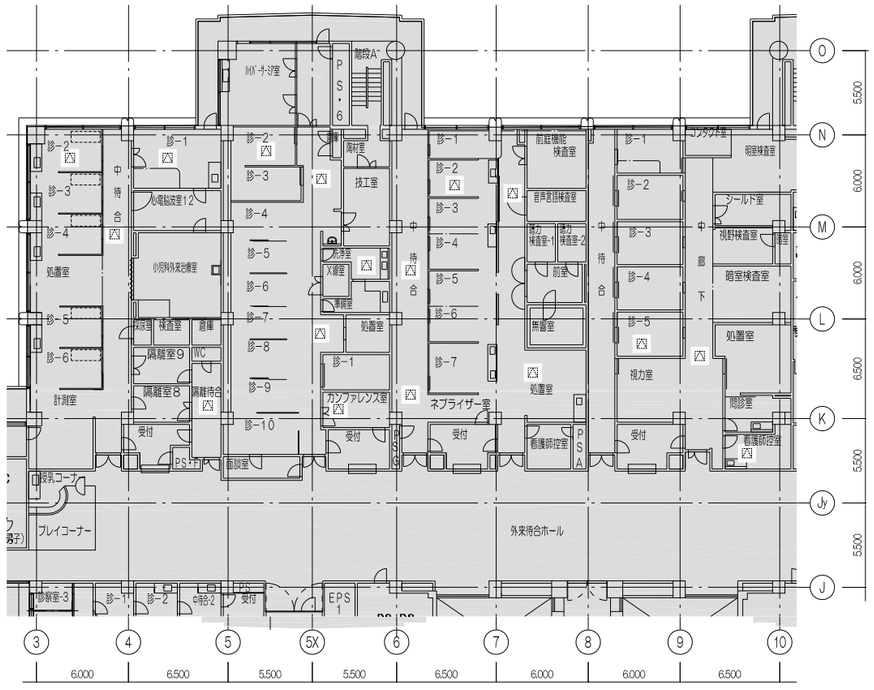
ステップ2：4階撤去・新設工事　HCU-2を除いた範囲（工期：７.５～８ヶ月）



ステップ3：4階撤去・新設工事　HCU-2及びその周辺部（工期：１～１.５ヶ月）



ステップ1：３階撤去・新設工事（１３ヶ月の工期の中で天井点検口を設置する）



【凡例】

：今回改修範囲外
※仮設間仕切りがない廊下部分の工事範囲は、簡易養生とする。
（施主と事前に調整の上、通行人等の安全を確保できる構造とすること。）

：仮設間仕切

株式会社　伊藤喜三郎建築研究所
一級建築士事務所
東京都知事登録番号　第2215号
設計者　赤岩重信
一級建築士登録番号　第281032号

設計者				
総括責任者 赤岩重信 一級建築士 第281032号	担当者 山寺美和子 一級建築士 第309931号	担当者 山巻潤 一級建築士 第364029号	担当者 山本哲也 一級建築士 第333045号	担当者 大室真悟 一級建築士 第380799号
担当者 岡澤加代子 一級建築士 第348007号				

件名　横浜市立大学附属病院重症系病床改修工事（建築工事）		Job-No. 22060
図名　工事手順図		意匠
縮尺　1/200(A1),1/400(A3)	日付　2023/06/30（令和5年）	31
伊藤喜三郎建築研究所		